

サービス部品取替手順動画一覧

| 機種 | 内 容 | 動 画 | 内 容 | 動 画 | 内 容 | 動 画 | 内 容 | 動 画 |
|----|-------------------------|---|------------------------------|---|----------------------------|---|--------------------|---|
| FZ | リップゴム交換 |  | ベース組交換 |  | ボールタップ交換 (手洗付き) |  | ボールタップ交換 (手洗なし) |  |
| | ボールタップ スピンドル交換 |  | ボールタップ ストレーナー 掃除 |  | バルブエレメント 交換 |  | ヒンジボルト組 交換 |  |
| | ノズル取替え |  | ロータンク 手洗付きから 手洗なしへ交換 |  | ロータンク 手洗なしから 手洗付きへ交換 |  | | |
| | バルブケース表組 取替え (F8-DG) |  | ストレーナー 掃除 (F8-DG) |  | 起動弁掃除 (F8-DG) |  | | |
| | ベース組交換 |  | フラッシュバルブ 交換 (F8・J8・GT) |  | | | | |
| | 洗浄便座取替え |  | | | | | | |
| F8 | | | | | | | | |

ホームページでも動画をご覧頂けます。

<http://www.daiwakasei.co.jp/products/toilet/repair/>



施工説明書・取扱説明書

FGR

| | |
|-------|------|
| 施工説明書 | P116 |
| 取扱説明書 | P124 |

FZ500、FZ400、FZ300

| | |
|-----------------|------|
| 施工説明書 | P131 |
| 取扱説明書 | P146 |
| FZに他社製便座を取付ける場合 | P153 |

FA8

| | |
|-------|------|
| 施工説明書 | P154 |
| 取扱説明書 | P158 |

GT-5、GT-3、GT-2

| | |
|-----------------------|------|
| 施工説明書 | P163 |
| 取扱説明書 | P165 |
| 既設フラッシュバルブからASD63への交換 | P166 |

APH-Z80(改造フランジ13)

P167

APH-Z81(改造フランジ579)

P167

APH-Z82(FGR・FA8用)

P168

BCV24(改装部品ジャバラセットB)

P169

BCV25(改装部品ジャバラセットC)

P170

APH-Z71(本水洗切替部品セット)

P171

洗浄ガン

P172

便槽施工上の注意

P174

NV-R、VE-R

P175

図面

| | |
|--|------|
| FGR、DAP-AC3、DAP-SP | P176 |
| FZ500、FZ400 | P177 |
| FZ300、FZ50T、FA-5T | P178 |
| FA8 | P179 |
| S-7、SW-7、DCW-KB31A、DCW-KA31A、DCW-KB32A、DCW-EA24A | P180 |
| GT、FC7 | P181 |
| JZ、JT、J8 | P182 |
| DC-166、GU、HW | P183 |
| APH-Z80、APH-Z81、BCV24、BCV25 | P184 |
| NV-R、VE-R | P185 |
| TS、TS-G、TF | P186 |

ホームページでも資料を
ご覧頂けます。



<https://www.daiwakasei.co.jp/download/manual>

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明



警告

守らないと、火災や重傷を負うことがあります。



注意

守らないと、けがをしたり家財に損害を与えることがあります。



禁止

禁止を示す記号です。



必ず実行

必ず行うことを示す記号です。



禁止

● 電源プラグ(アダプター)をぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

● 電源プラグ(アダプター)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や感電の原因となります。

● 電源プラグ(アダプター)のコードに以下のようなことはしないでください。
・重い物を載せたり、踏み込んだりすること
・加工や破損、傷つけたりすること
・無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねること
火災や感電の原因となります。

● この施工説明書以外の改造や修理はしないでください。
火災や感電、故障や漏水の原因となります。

● 浴室や表面に水滴が出る湿気の多い場所では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

● 便器は別れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。
破損部でけがをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

● オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。
便槽があふれる恐れがあります。



必ず実行

● AC100Vに接続して使用してください。
火災や故障の原因となります。

● 電源プラグ(アダプター)は、
・コードを持って抜かないでください。
・相元まで確実に差し込んでください。
・差込み部とコンセントは、定期的にホコリを取り除いてください。
火災や感電の原因となります。

● 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。

● 便器設置部の床面は、水平にしてください。
便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。

● 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。

● オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の
防臭対策をしてください。
但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して
施工してください。

● オーバーフロー用排水は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。
オーバーフロー用排水の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないうちに
排水しきれず、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

● 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

● 上水道を使用してください。

井戸水や地下水は、機器不良の原因となりますので使わないでください。保証対象外となります。

● 給水(水道)は、下記の給水条件の範囲で使用してください。

- ・給水条件
 - ・最低必要水圧:0.15MPa(流動時)
 - ・最高水圧:0.75MPa(静止時)
 - ・給水温度:40℃以下
- 水圧不足は洗浄力が悪くなり、水圧が高いと機器の故障の原因となります。

● 凍結の恐れがあるときは、バルブの水抜きを行ってください。水抜き栓を開いて完全に水を抜いて
ください。または、室内暖房など適切な処置を行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

詳細は取扱説明書P12▶

● 温水洗浄便座等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

● 製品を持ち上げるときは便器本体を持ってください。
部品がはずれ、故障やけがの原因となります。

● 直射日光が当たらないようにしてください。
センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。

● 床に便器を埋め込まないでください。
修理できなくなります。

施工の前に

梱包内容をお確かめください。



便器



床フランチ



リモコン



リモコン接続ケーブル(モール付)



ACアダプター



リモコン接続ケーブル(モール付)



木ねじ(スチール製)φ6×90
カールラック



ワン底



スタッドボルト
ナット・座金



ストレーナー・継手



アンクル止水栓(ホルナー付)



リモコン取付ブラケット



スチレーナー・継手



アンクル止水栓(ホルナー付)



ストレーナー・継手



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)



リモコン接続ケーブル(モール付)

必要な工具、別途必要なもの

■ 工具



(+)ドライバー又は電動ドライバー
※床フランチ取付ねじの締め付け用
リモコン取付ブラケットの取付け用



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け



ドライバー
止水栓の取付け

■ 部材



コーキング剤(シリコーンライント)
床フランチと導入部のコーキング用



シーリングテープ
水道管と止水栓の接続用



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け



止水栓
止水栓の取付け

コンセント

交流100Vのアース付き2口コンセントが必要です。
ACアダプターのコード長さは1.5mです。
これが届く位置にコンセントを設けてください。

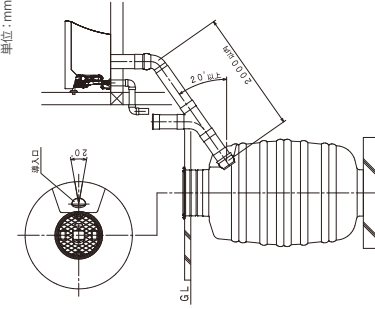


配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K6741 に準じた硬質塩化ビニル管 (塩ビ管) を使用してください。
肉厚・導入管・・・2mm 以上 (プロ-成型品継手類1.6mm 以上)
臭突管・・・1.5mm 以上 (プロ-成型品継手類1.2mm 以上)
- 導入管・導入短管は、VU100 を使用してください。また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状・構造を有するものを使用してください。
段差で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。
構引きの導入管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。
- 臭突管
 - 臭突管は必ず臭突を設置してください。
 - ①2階配管など汚水管の長さが1.5m 以上の場合
 - ②小便器を設置する場合臭突管の先端には、排気トップ (臭突フアン等) を設けてください。
排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性能のものを使用してください。
排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm 以上の高さに取り付けてください。
配管の接合部は確実に接合し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10%の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- オーバーフロー・屋外配管からの臭気上りについて (製造物責任法を考慮した注意書きについて)
オーバーフロー・配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。但し、凍結の恐れのある場所では、トラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。
オーバーフロー・配管は絶対に便槽に接続しないでください。便槽が溢れる恐れがあります。
- 上水道を使用してください。井戸水や地下水は、機器不良の原因となりますので使わないでください。
もし使用する場合は、保証対象外となります。
- 水道配管
 - 水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。
- 給水条件
 - 最低必要水圧: 0.15MPa (流動時)、最高水圧: 0.75MPa (静止時)、給水温度: 40℃以下、この範囲で使用してください。
 - 水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用 (ウォーターハンマー) の原因となります。
 - 2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えてトイレレームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

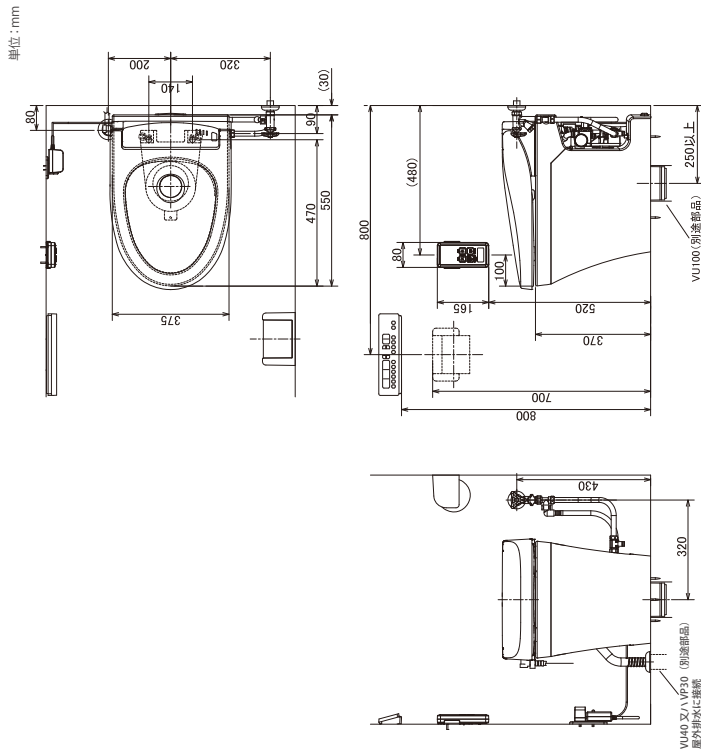
標準施工図

単位: mm



■ 便槽の容量
1人当たり1ヶ月で約100～150ℓ程度で計画ください。
但し、来客や家族数が増えること、今後、洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。
最低でも500ℓ以上の容量のものをご使用ください。

寸法図



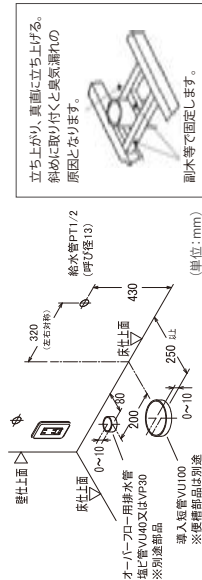
施工の手順

- | | | | |
|---------------------------------|------|---|-------|
| 1. 給排水管の位置決め | ▶ P6 | 8. リモコンの取付 | ▶ P9 |
| 2. 止水栓の取付 | ▶ P6 | 9. 電源の接続 | ▶ P10 |
| 3. ACアダプターの差し込みと 便器給水配管の方向確認 | ▶ P6 | 10. 洗浄水量調整 (洗浄するまでの時間設定、 前洗浄・検水と流水洗浄・後洗浄) の設定 | ▶ P11 |
| 4. 床フランジの取付 | ▶ P7 | 11. 自動洗浄の設定方法 | ▶ P13 |
| 5. 便器本体の据付 | ▶ P7 | 12. 便座の取付 | ▶ P14 |
| 6. オーバーフロー管の接続 | ▶ P7 | 13. 点検・試運転 | ▶ P15 |
| 7. 給水管の接続 | ▶ P8 | 14. 人感センサーのテストモード による感知距離の調整 | ▶ P16 |

5

1. 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



注意

便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。平らでないで便器のカタツキの原因となります。

2. 止水栓の取付

どちらかの部品が付属しています。



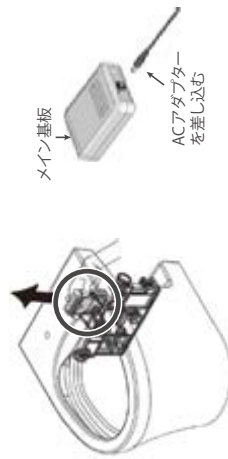
止水栓取付後、製品を接続する前にバケツ一杯分の水を排出し、配管中の異物やサビを洗い流してください。
製品内部に入ると漏水の恐れがあります。
配管を洗い流した後ストレーナーの清掃を行ってください。

詳細はP8 7. 給水管の接続 ▶

3. ACアダプターの差し込みと便器給水配管の方向確認

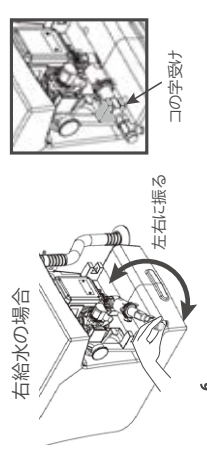
① ACアダプターの差し込み

便器背面に取り付けてあるメイン基板ケースに、ACアダプターを差し込んでください。



② 便器給水配管の方向確認

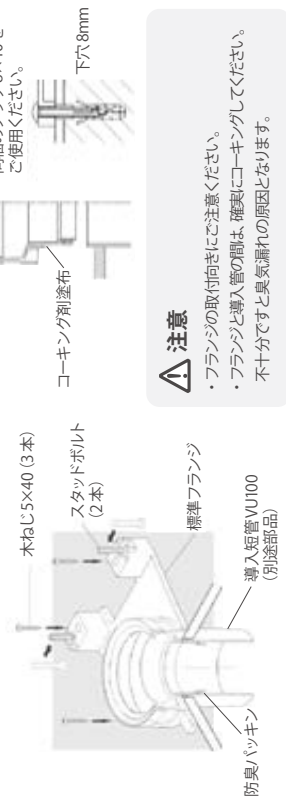
便器給水配管を左右に振り、壁の給水管の方へ向けてください。便器給水配管はコの字の受けで固定してください。
便器設置後では、壁と干渉する可能性があります。
(図は右給水の場合)



6

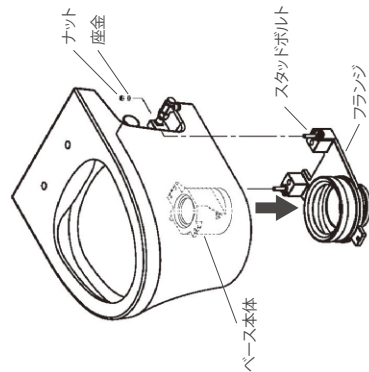
4. 床フランジの取付

床フランジ、又は改造フランジを床に取り付けてください。



5. 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。

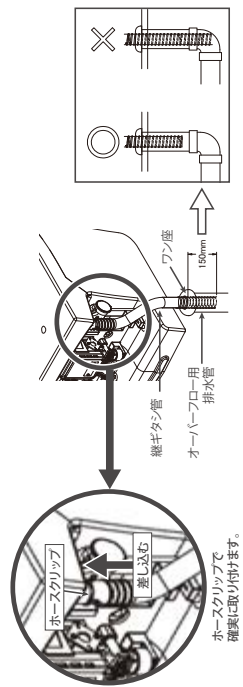


注意

- ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体とフランジを接合したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができません。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

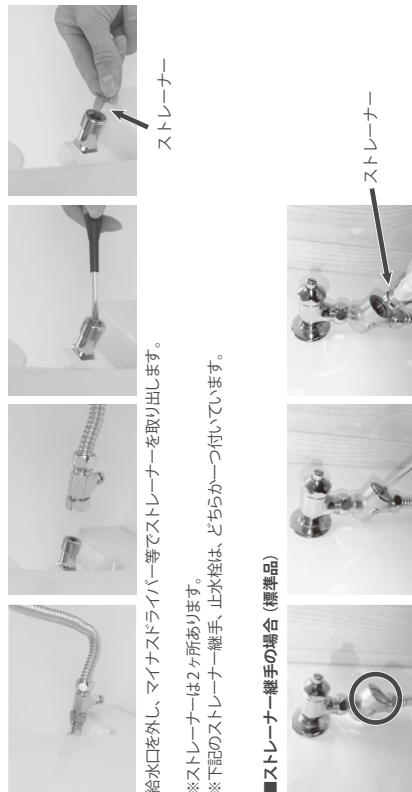
6. オーバーフロー排水管の接続

- ① 継ぎタジ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
- ② 継ぎタジ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れてオーバーフロー排水管を差し込んでください。



7. 給水管の接続

止水栓を取り付け、フレキシブル管で接続してください。



給水口を外し、マイナズドライバー等でストレーナーを取り出します。

※ストレーナーは2ヶ所あります。

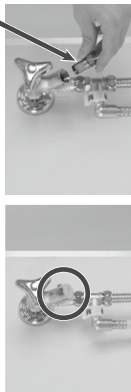
※下記のストレーナー継手、止水栓は、どちらか一つ付いています。

■ストレーナー継手の場合 (標準品)



マイナズドライバーを使用して、ストレーナーを取り外してください。

■止水栓のストレーナーの場合



止水栓の下にあるストレーナーは手で回すと取り外せます。

！必ず実行

ストレーナーを確認してください。
止水栓を開け何度か試運転して通水したあと、
ストレーナーを掃除してください。

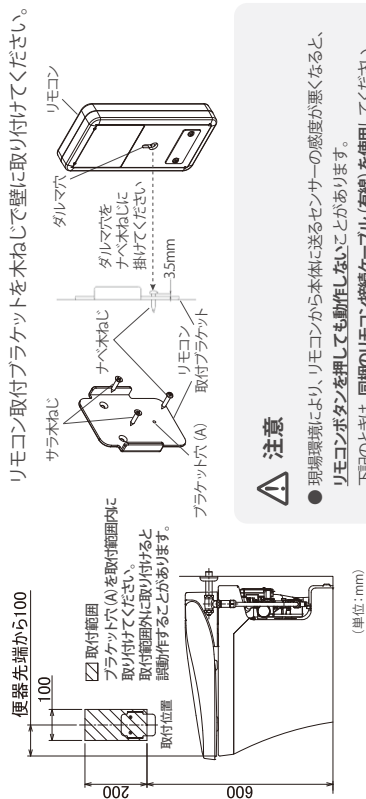
8. リモコンの取付

リモコン取付ブラケットを便座に取付付けてください。
左側の壁に取り付ける場合はスイッチ切替が必要です。【詳細はP13 11.自動洗浄の設定方法▶】

必ず実行

リモコンの取付位置が決まっています。周りに手すり等の障害物がないことを確認し、必ず取付範囲内に取付付けてください。

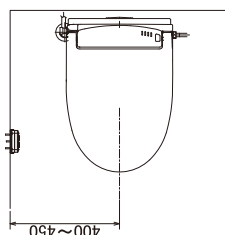
リモコンで動かなかったり、自動洗浄が誤動作する原因となります。



リモコン取付ブラケットを木ねじで壁に取り付けてください。

注意

- 現場環境により、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動作しないことがあります。
下記の場合は、**同梱のリモコン接続ケーブル（有線）**を使用してください。
 - ・床や壁が黒又は暗い色のとき
 - ・リモコンが施工取付範囲外になるとき（自動洗浄も使えません）
 - ・リモコンの下にペーパーホルダーや手すりなど、物がある場合
 - ・壁から便器中心までの距離が400～450mm以外の寸法のととき
 - ・ひとつのトイレブース内に複数台設置するとき（混線の可能性があります）
- 壁から便器中心までの距離が450mmを超えると、自動洗浄が反応しない場合があります。その場合、リモコンの押しボタンで操作してください。
- DCW4B31など便座本体右側に操作部がある場合、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなります。その場合、リモコン接続ケーブルを使用するか、左壁にリモコンを取り付けてください。



【注意】

- 斜線範囲内に掃除用具などを置かないでください。
- リモコンの下にペーパーホルダーや手すり、棚などを取付けないでください。矢印方向にセンサーが出ています。
- 棚手すりなどがある場合、誤動作防止のため、リモコンは対向する壁面へ設置してください。同一壁面に設置される場合は、リモコンを有線接続し、自動洗浄をOFFにして、押しボタンで使用してください。

リモコン接続ケーブル（有線）を使用する場合

リモコン接続ケーブル（有線）を取り付けてください。乾電池は不要になります。床や壁の色が暗い色の場合や所定の位置にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル（有線）を使用してください。但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の人数センサーが反応しないため、自動洗浄OFFでご使用ください。

リモコン



リモコン下部の差し込み口に、有線ケーブルを差し込みます。

メイン基板ケース



メイン基板ケースの差し込み口に、有線ケーブルを差し込みます。

モールの使用方法



リモコン接続ケーブルを壁面に沿って配線し、図のようにモールド固定してください。モールドはリモコン取付位置に合わせ、適切な長さでカットしてください。モールドは内径6mm以上のものであれば、別メーカー品も使用可能です。

乾電池（無線）を使用する場合

付属の単3アルカリ乾電池4本を入れてください。リモコン接続ケーブル（有線）を使用する場合は、乾電池不要です。



乾電池の（+）（-）を確認して正しく入れてください。

間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破裂したり、故障したりする恐れがあります。

注意

新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
正しく入れないと、回路基板が故障する恐れがあります。

9. 電源の接続

付属のACアダプターをコンセントに接続してください。通電すると、フラッパー（排出弁）が「回開閉」して通電したことをお知らせします。
それ以外の動作をしたときは、配線が外れている可能性がありますので確認してください。



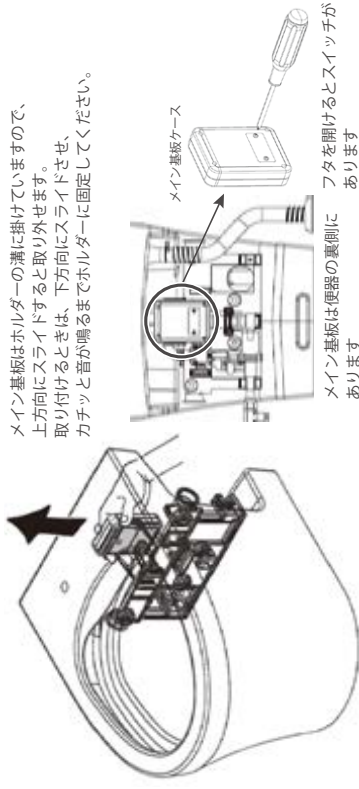
10. 洗浄水量調整 (洗浄するまでの時間設定、前洗浄 (補水) と溜水洗浄 (後洗浄) の設定)

■ 水量調整初期設定

洗浄水量は、以下のように設定しています。(流水時 (動水圧) が0.2MPa以上のとき)

| | 工場出荷時設定 | |
|-----|---------|-------|
| | ポリューム | 水量 |
| 大洗浄 | 3 | 500cc |
| 小洗浄 | 2 | 350cc |
| 前洗浄 | 4 | 500cc |

メイン基板はホルダーの溝に掛けていますので、
上方向にスライドすると取り外せます。
取り付けるときは、下方向にスライドさせ、
カチッと音が鳴るまでホルダーに固定してください。



メイン基板は便器の裏側に
あります
フタを開けるとスイッチが
あります

■ 洗浄水量を増減したいとき

前洗浄 (補水) 小洗浄 大洗浄 洗浄するまでの時間

セレクトスイッチ (ss)

増やしたいとき 時計回り
減らしたいとき 反時計回り

| 切り替え不可 | SS | 前洗浄 (補水) | 溜水洗浄 (後洗浄) |
|---------------|-----|----------|------------|
| OFF | OFF | 工場出荷 | 工場出荷 |
| ON | ON | 工場出荷 | 工場出荷 |
| ポリューム | ON | 4 | 200cc (固定) |
| ONにした 時の水量 | ON | 500cc | 200cc (固定) |

■ 洗浄水量のポリューム表

流水時 (動水圧): 0.2MPa以上または、静止時 (静水圧): 0.25MPa以上

| 工場出荷時 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| ポリューム | 200cc | 280cc | 350cc | 500cc | 580cc | 650cc | 760cc | 880cc | 980cc | 1,100cc | 1,110cc |
| 大洗浄 | 200cc | 280cc | 350cc | 500cc | 580cc | 650cc | 760cc | 880cc | 980cc | 1,100cc | 1,110cc |
| 小洗浄 | 0cc | 70cc | 280cc | 360cc | 500cc | 590cc | 730cc | 860cc | 980cc | 1,090cc | 1,110cc |
| 前洗浄 | 0cc | 70cc | 280cc | 360cc | 500cc | 590cc | 730cc | 860cc | 980cc | 1,090cc | 1,110cc |
| 後洗浄 | | | | | | 200cc | | | | | |

流水時 (動水圧): 0.15～0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

| | 4 | 3 | 5 | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 大洗浄 | 4 | 3 | 5 | | | | | | | | |
| 小洗浄 | 4 | 3 | 5 | | | | | | | | |
| 前洗浄 | 4 | 3 | 5 | | | | | | | | |
| 後洗浄 | | | | | | | | | | | |

■ 洗浄するまでの時間

立ち上がったから洗浄するまでの時間

| ポリューム | 洗浄するまでの時間 |
|-------|-----------|
| 1 | 3秒 |
| 3 | 5秒 |
| 5 | 8秒 |
| 7 | 11秒 |
| 10 | 15秒 |

← 工場出荷時

■ 自動洗浄の動作

便座に座って

| | |
|--------|--------|
| 6秒以下 | 洗浄しません |
| 6秒～30秒 | 小洗浄 |
| 30秒以上 | 大洗浄 |



「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。その時は工場出荷時のポリュームに戻してください。

■ コードの格納

便器背面のメイン基板ケースから出ているコードを便器内部に押し込んでください。
出たままにすると、リモコンのセンサーが反応しないことがあります。

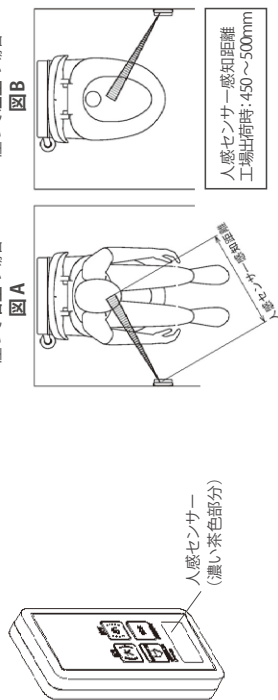


11. 自動洗浄の設定方法

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

① 左右壁取付位置の確認

工場出荷時は、便座に座って右壁取付 (図A) で設定しています。



② 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付 (図B) の場合、切り替えスイッチを左側に切り替えてください。



ねじを2本外して裏フタを外してください

注意

スイッチを左右に切り替える場合は、確実に切り替えてください。センサーが反応しない恐れがあります。

便器自動洗浄の切り替えスイッチ

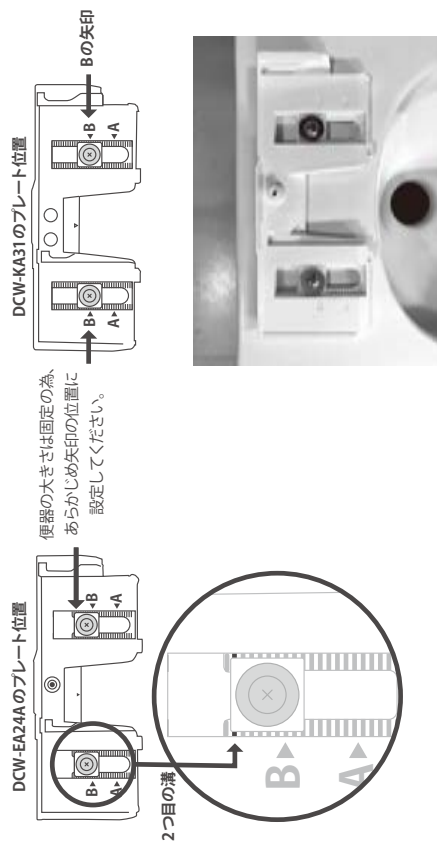
| 便器自動洗浄 | ON | OFF | ON |
|---------|----|-----|----|
| 壁取付位置 | 左壁 | — | 右壁 |
| スイッチの位置 | | | |

注意

本製品は、精密機械につき使用環境によっては誤動作が生じることがあります。誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。

- 自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにしてご使用ください。
- 暗い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。そのときは押しボタンで操作してください。
- 人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
- トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作 (誰もいないのに動く) することがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- リモコン取付けの反対壁がタイルなど反射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」にしてください。
- 人感センサーの濃い茶色部分を傷つけたり汚したりしないでください。
- 水がかかると、茶色部分には設置しないでください。
- 人感センサーが感知したままの状態が長く、乾電池の消耗が早くなります。
- ドアの開閉で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

12. 便座の取付

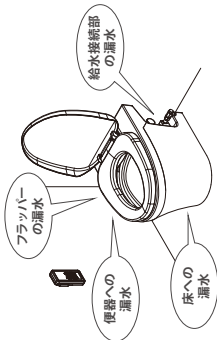


便器本体に DCW-EA24A 用の
固定プレートを取り付けた様子

13. 点検・試運転

止水栓（元栓）を開き、リモコンの各ボタンを操作してフラッパーの開閉や洗浄水の流れ、各部の漏水の有無を点検してください。

通水後 1 回目の洗浄の際、配管内の空気が抜け、大きな音が鳴りますが、異常ではありません。



① 自動洗浄設定の場合は、便座に座って下表の動作を確認してください。

② リモコンの4つのボタンが正常に動作するかを確認してください。

便座に座って

| 6秒以下 | 洗浄しません |
|--------|--------|
| 6秒～30秒 | 小洗浄 |
| 30秒以上 | 大洗浄 |

便座から立ち上がって洗浄するまでの時間は、工場出荷時11秒に設定しています。
変更するときは、P12の「洗浄するまでの時間」の調整を行ってください。

⚠ 注意

「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。
その際は工場出荷時のポリウレームに戻してください。

❗ 必ず実行

施工後、お客様へ下記の説明をお願いします。
暗い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。その場合は手動ボタンで操作してください。
凍結する地域の方は、取扱説明書の「凍結のおそれがあるとき/水抜き」の水抜きの説明をお願いします。



■ トイレ洗浄用ラベル

洗浄便座のリモコンに区別するため、「トイレ洗浄用」のラベルを同梱しています。必要なのは見えやすい位置に貼ってください。

⚠ 注意

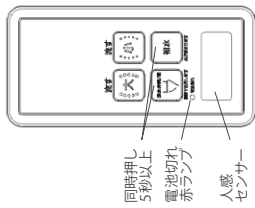
正常に動かないとき
リモコンボタンを押しても動かないときや異常な動作をしたときはACアダプターの電源を抜いて5秒後に電源を入れてください。リセットされて正常に戻ります。

14. 人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

壁から便器中心までの距離が400～450mmの場合、自動洗浄の人感センサー感知距離の調整は不要です。
自動洗浄が正常に作動しないとき、テストモードにして調整ください。

① テストモードの入リ方

リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入ります。
同時押しなので、排水弁開/閉が補水のどちらかが動作しますが、問題ありません。
テストモードに入り、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。



② 人感センサー感知距離の確認と調整方法

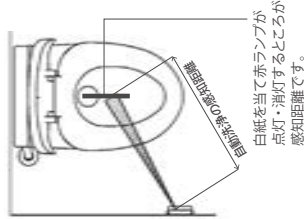
白紙(A4サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前のところにかざして赤ランプが点灯することを確認してください。
点灯しないときは、テストモードに入っていないか、自動洗浄切替スイッチがOFFになっているかを確認してください。

人感センサーは右図のように、斜め方向に出ています。
その方向の便器中心付近に白紙を当て前後に移動しながら赤ランプを見てください。

赤ランプが切れる場所が感知距離になります。

調整後、便座に座り上半身を動かして「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。

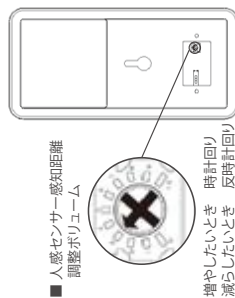
テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。



③ テストモードの解除方法

以下のいずれかの方法で解除できます。

- ・リモコンの排水弁開/閉ボタンと補水ボタンを5秒以上同時押しする。
- ・5分以上経過すると、自動解除します。
- ・無線の場合、乾電池を外して入れ直す。
- ・有線の場合、有線ケーブルを抜く。



❗ 必ず実行

工事完了後、取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。



本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
〒810-0012 TEL092 (521) 1800
サービス 福岡県大宰府市大字北谷1123
〒818-0014 TEL092 (921) 7888

GRACE オート洗浄トイレ FGR11 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないように安全にお使いいただくための注意事項を挙げております。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

用語および記号の説明

| | | | | | |
|---|-----------|-------------------------------|---|-------------|----------------|
|  | 警告 | 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。 |  | 禁止 | 禁止を示す記号です。 |
|  | 注意 | 守らないと、けがをしたり家財に損害を与えることがあります。 |  | 必ず実行 | 必ず行うことを示す記号です。 |



禁止

- 電源プラグ(アダプター)をぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源プラグ(アダプター)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)のコードに以下のようなことはしないでください。
 - ・重い物を載せたり、踏み込んだりすること
 - ・加工や破壊、傷つけたること
 - ・無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねること感電や火災の原因となります。
- この取扱説明書以外の改造や修理はしないでください。
特に電気部の分解修理は危険です。火災や感電、故障や漏水の原因となります。
- 便器の中にタバコの吸ガラや捨ててください。
火災や感電、故障や漏水の原因となります。
- 浴室や表面に水滴が出る湿気の多い場所では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
- 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩酸、クレンザー、ベンジン、シンナー類、うじ殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- トイレスタンプの洗剤は使用しないでください。
トイレスタンプの洗剤は、部品が変形や変質して故障の原因となります。
- 便器の中に熱湯をかけないでください。
ゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。
- 便フタや便座を背もたれや鏡台として使ったり、衝撃を加えるような開閉はしないでください。
便フタや便座が割れてケガの原因となります。
- 節湯水洗便器は、汲み取り式です。便桶の容量を確認の上、汲み取ってください。
使用している便桶の容量と節湯水洗便器の容量が合わないときは、便桶が一杯になっていないゆえに、点検し早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。
- 長期使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。
- 幼児、お年寄り、身体の不自由な方が使用るときは、周りの方が常に注意をしてください。
- 便器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。
破損部でけがをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。
- オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。
便槽があふれる恐れがあります。

お手入れのしかた ▶ P6

凍結の恐れがあるとき/水抜き ▶ P12



必ず実行

- AC100Vに接続して使用してください。
火災や故障の原因となります。
- 電源プラグ(アダプター)は、
 - ・コードを持って抜かないでください。
 - ・根元まで確実に差し込んでください。
 - ・差込み部とコンセントは、定期的にホコリを取り除いてください。
火災や感電の原因となります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。
- 便器設置部の床面は、水平にしてください。
便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。
- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水流便器は、便槽に接続する便器です。
- オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。
但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。
- オーバーフロー用排水は、塩ビ管 VU40 又は VP30 で必ず配管してください。
オーバーフロー用排水の内径が 20mm より小さいと便器が故障して給水が止まらなとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。
- 上水道を使用してください。
井戸水や地下水は、機器不良の原因になりますので使わないでください。保証対象外となります。
- 給水(水道)は、下記の給水条件の範囲で使用してください。
 - ・給水条件
 - ・最低必要水圧: 0.15MPa (流動時)
 - ・最高水圧: 0.75MPa (静止時)
 - ・給水温度: 40℃以下流量不足は洗浄力が弱くなり、水圧が低いと機器の故障の原因となります。
- 凍結の恐れがあるときは、バルブの水抜きを行ってください。
水抜き栓を開いて完全に水を抜いてください。
または、室内暖房など適切な処置を行ってください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。
- 漏水洗浄便座等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。
- 洗浄ガン使用の場合、使用後は必ず洗浄ガン止水栓を閉めてください。
洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたりしないでください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。
- 製品を持ち上げるときは便器本体を持ってください。
部品がはずれ、故障やけがの原因となります。
- 直射日光が当たらないようにしてください。
センサーが誤動作したり、プラスチック部が変色することがあります。
- 床に便器を埋め込まないでください。
修理できません。

凍結の恐れがあるとき/水抜き ▶ P12

お手入れのしかた

便器のお手入れ

- ・中性洗剤で掃除をしてください。
- ・ボウル面に水を弾く場合、掃除することで改善されます。



便座のお手入れ

- 柔らかい布で水拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ固く絞ってから拭いてください。
- そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。

フラッパー（排水弁）のお手入れ

フラッパーは専用ブラシと中性洗剤で週1〜2回程度掃除してください。特にゴム部品の先端と裏側はよく掃除をしてください。汚れていると水が漏まらなくなります。



■フラッパーの開き方

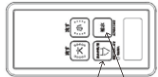
「排水弁開閉」ボタンを1回押すと排水弁が全開します。全開している間に掃除をしてください。

もう1回押すと閉まります。

また、全開から3分経過すると、自動で閉じます。

■掃除の時の水の流し方

「排水」ボタンを押すと水だけが流れます。



ストレーナーの掃除

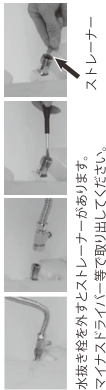
ハルプのゴミ詰りによる漏水を防ぐため、給水口にストレーナーを付けています。水の出口が悪くなったときは、ゴミを取り除いてください。

※ストレーナーは2ヶ所あります。(P4参照)

※ストレーナー：籠手、止水栓は、どちらか一つ付いています。



■水抜き栓のストレーナー



水抜き栓を外すとストレーナーがあります。マイナスインドライバー等で取り出してください。

■止水栓のストレーナーの場合



止水栓の下にあるストレーナーは手で回すと取り外せます。

年に一度の清掃をおすすめします。

便槽についての注意

！必ず実行

マンホールのフタは、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。転落事故の原因となります。また、お子様にさわらせないでください。

禁止

通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。車などがある場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。便槽に圧力がかり破損したり、マンホールが歪れて転落事故の原因となります。便槽の中へ薬品類、殺虫剤（うじ殺し含む）、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。便槽に変形、亀裂が原因で漏水の原因となります。

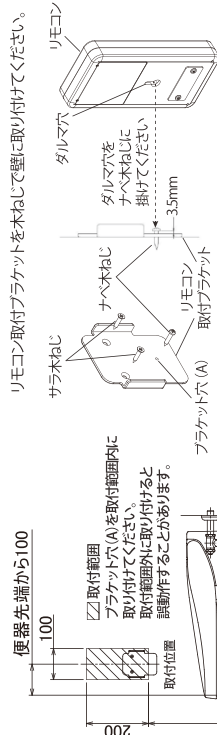
リモコン①取付位置

リモコン取付ブラケットを便座に座って右側の壁に取り付けてください。左側の壁に取り付ける場合はスイッチ切替が必要です。 リモコン②自動洗浄の設定方法 ▶P8

！必ず実行 リモコンの取付位置が決まっています。周りに手すり等の障害物がないことを確認し、必ず取付範囲内に取付けてください。

リモコンで動かなかったり、自動洗浄が誤動作する原因となります。

リモコン取付ブラケットを木ねじで壁に取り付けてください。

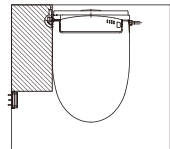


△注意

- 現場環境により、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなると、リモコンボタンを押しても動かないことがあります。下記のときは、**同梱のリモコン接続ケーブル（付属）**を使用してください。
 - ・床や壁が湿気や汗、油、色などのとき
 - ・リモコンが施工取付範囲外になるとき（自動洗浄も使えません）
 - ・リモコンの下にペーパーホルダーや手すりなど、物がある場合
 - ・壁から便器中心までの距離が400〜450mm以内の寸法の場合
 - ・ひとつのトイレブース内に複数台設置するとき（混雑の可能性がります）
- 壁から便器中心までの距離が450mmを超えると、自動洗浄が反応しない場合があります。その場合、リモコンの押しボタンで操作してください。
- DQ4-K31 など便座本体右側に操作部がある場合、リモコンから本体に送るセンサーの感度が悪くなります。その場合、リモコン接続ケーブルを使用するか、左側にリモコンを取り付けてください。

【注意】

- 斜線範囲内に掃除用具などを置かないでください。矢印方向にセンサーが出ています。
- リモコンの下にペーパーホルダーや手すり、棚などを取付けないでください。



- 棚手すりなどがある場合、誤動作防止のため、リモコンは向する壁面へ設置してください。同一壁面に設置される場合は、リモコンを有線接続し、自動洗浄をOFFにして、押しボタンで使用するでください。

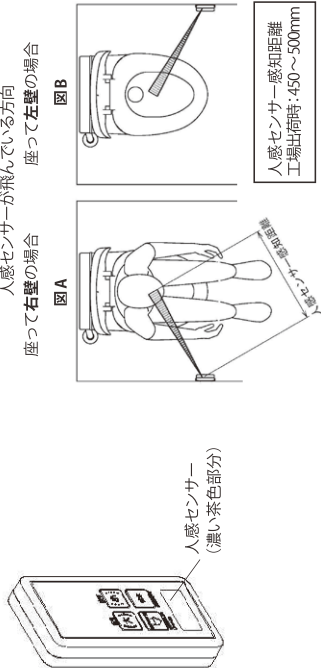


リモコン②自動洗浄の設定方法

自動洗浄にする場合は、下記の手順で設定を行ってください。

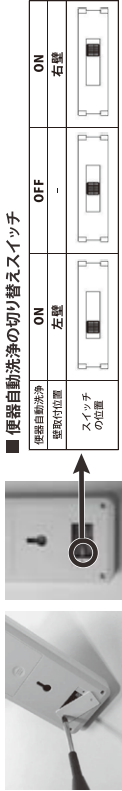
① 左右壁取付位置の確認

工場出荷時は、便座に座って右壁取付 (図A) で設定しています。



② 左壁取付の切り替え

便座に座って左壁取付 (図B) の場合、切り替えスイッチを左側に切り替えてください。



注意 スイッチを左右に切り替える場合は、確実に切り替えてください。センサーが反応しない恐れがあります。

リモコン③電源接続

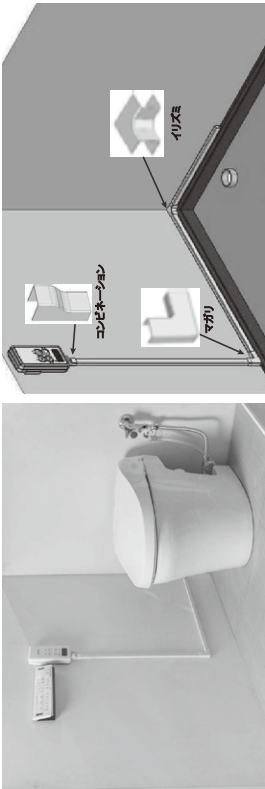
リモコン接続ケーブル (有線) を使用する場合

リモコン接続ケーブル (有線) を取り付けてください。乾電池は不要になります。床や壁の色が暗い色の場合にリモコンを取り付けられない場合、リモコン接続ケーブル (有線) を使用してください。但し、所定の位置にリモコンを取り付けられない場合は自動洗浄の有感センサーが反応しないため、自動洗浄 OFF でご使用ください。

■ リモコン接続ケーブル (有線) の取り付け方



■ モールの使用方法



乾電池 (無線) を使用する場合

付属の単三アルカリ乾電池4本を入れてください。リモコン接続ケーブル (有線) を使用する場合は、乾電池は不要です。



注意

乾電池の (+) (-) を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。正しく入れないと、回詰塞がが故障する恐れがあります。

洗浄水量調整方法

洗浄するまでの時間設定、前洗浄（補水）と溜水洗浄（後洗浄）の設定

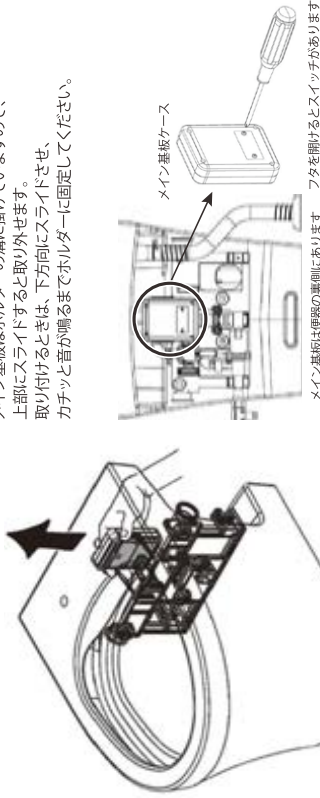
■ 水量調整初期設定

洗浄水量は、以下のよう設定しています。（流水時（動水圧）が0.2MPa以上のとき）

| | 工場出荷時設定 | |
|-----|---------|-------|
| | ポリューム | 水量 |
| 大洗浄 | 3 | 500cc |
| 小洗浄 | 2 | 350cc |
| 前洗浄 | 4 | 500cc |

メイン基板の取付・取外し

メイン基板はホルダーの溝に掛けていますので、上部にスライドすると取り外せます。
取り付けるときは、下方向にスライドさせ、カチッと音が鳴るまでホルダーに固定してください。



メイン基板は便器の裏側にあります フタを開けるとスイッチがあります

■ 洗浄水量を増減したいとき

前洗浄（補水） 小洗浄 大洗浄 溜水するまでの時間

増やしたいとき 時計回り
減らしたいとき 反時計回り

セレクトスイッチ（SS）

| | | |
|-----------|---------|-----------|
| SS | 前洗浄（補水） | 溜水洗浄（後洗浄） |
| OFF | 工場出荷 | 工場出荷 |
| ON | | |
| ポリューム | 4 | 500cc |
| ONにした時の水量 | 500cc | 200cc（固定） |

⚠ 注意

必要以上に水を使わないでください。

簡易水洗トイレは少量の水で洗浄するため、便器に溜まる水は少なくついています。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便器に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から排水水を捨てるとその分排水量が増えるのでご注意ください。



※溜水が分かりやすいように、着色しています。

■ 洗浄水量のポリューム表

流水時（動水圧）：0.2MPa以上 または、静止時（静水圧）：0.25MPa以上

| 工場出荷時 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| ポリューム | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 大洗浄 | 200cc | 280cc | 350cc | 500cc | 580cc | 650cc | 760cc | 880cc | 980cc | 1,100cc | 1,110cc |
| 小洗浄 | 200cc | 280cc | 350cc | 500cc | 580cc | 650cc | 760cc | 880cc | 980cc | 1,100cc | 1,110cc |
| 前洗浄 | 0cc | 70cc | 280cc | 360cc | 500cc | 590cc | 730cc | 860cc | 980cc | 1,090cc | 1,110cc |
| 後洗浄 | 200cc | | | | | | | | | | |

流水時（動水圧）：0.15～0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

| | | |
|-----|-----|-----|
| 大洗浄 | 小洗浄 | 前洗浄 |
| 4 | 3 | 5 |

| ポリューム | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大洗浄 | 130cc | 190cc | 280cc | 360cc | 450cc | 520cc | 610cc | 700cc | 780cc | 890cc | 900cc |
| 小洗浄 | 130cc | 190cc | 280cc | 360cc | 450cc | 520cc | 610cc | 700cc | 780cc | 890cc | 900cc |
| 前洗浄 | 0cc | 60cc | 200cc | 290cc | 400cc | 490cc | 610cc | 710cc | 790cc | 890cc | 990cc |
| 後洗浄 | 150cc | | | | | | | | | | |

■ 洗浄するまでの時間

立ち上がりから洗浄するまでの時間

| ポリューム | 洗浄するまでの時間 |
|-------|-----------|
| 1 | 3秒 |
| 3 | 5秒 |
| 5 | 8秒 |
| 7 | 11秒 |
| 10 | 15秒 |

← 工場出荷時

■ 自動洗浄の動作

便器に座って

| | |
|--------|--------|
| 6秒以下 | 洗浄しません |
| 6秒～30秒 | 小洗浄 |
| 30秒以上 | 大洗浄 |

⚠ 注意

「洗浄するまでの時間」を短くすると座っている途中で流れることがあります。
その時は工場出荷時のポリュームに戻してください。

凍結の恐れがあるとき / 水抜き

トイレ室内が0℃以下になると、水が凍結して機器が破損する恐れがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

室内暖房

トイレ室内を暖房してください。
温水洗浄便座については、付属の取扱説明書をご確認ください。

水抜き

下記の手順で水抜きをしてください。



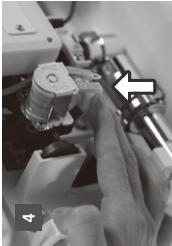
止水栓を閉める。



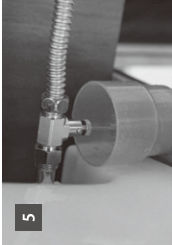
容器(コップ等)を用意する。



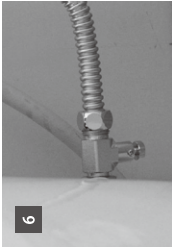
水抜き栓を開く。開けても水は出ません。



手動レバーハンドルを持ち上げレバーを開く。開くと、水が出ます。



完全に水が抜けたことを確認してください。約1分かかります。



水抜き栓を開める。

使用再開するときは、止水栓を全開にします。
通水後1回目の洗浄の際、配管内の空気が抜け大きな音が鳴りますが、異常ではありません。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

■ 便器が凍結した場合

40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。

■ 配管が凍結した場合

ドライヤー等で解凍してください。凍結破損することがあります。
解凍後、漏水する場合、止水栓を締めてアフターメンテナンスを依頼してください。

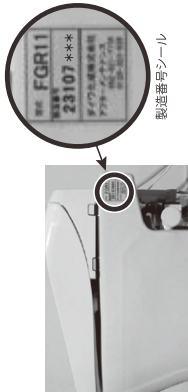
長期間使用しないとき

旅行や長期間不在のとき、長期間使用しないときは次のことを行ってください。不在中に漏水等が起きた場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

- ① 止水栓を閉め、水抜きをしてください。 水抜き ▶ P12
- ② アダプターをコンセントから抜いてください。
温水洗浄便座等は各々の説明書をお読みください。

メンテナンス部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、弊社までご相談ください。



製造番号シール

製造番号は便器に座った左側にあります。

仕様

| | |
|----------|--|
| 製品寸法 | 幅375mm×奥行550mm×高さ370mm |
| 排水芯 | 250mm以上 |
| 材質 | 便器本体:衛生陶器 |
| 定格電源 | 便器本体:交流100V、ACアダプター 6V 2.8A 無線使用時(リモコン:単3アルカリ乾電池×4本付) |
| 電源コードの長さ | 1.5m |
| 給水条件 | 最低必要水压:0.15MPa(流動時) 最高水压:0.75MPa(静止時) 給水温度:40℃以下 |
| 周囲使用温度 | 0～40℃ |
| 重量 | 25.5kg |
| 標準水量 | 小便:約350cc、大便:約500cc |

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|----------------|--------------------|---|
| 水が出ない | 断水している | 近くの蛇口で水が流れるか確認してください |
| | 止水栓が開まっている | 止水栓を開いてください |
| | 電源が繋がっていない | ACアダプターの接続を確認してください 電源に電気が来ているか確認してください |
| | ストレーナーのゴミ詰まり | ストレーナーの掃除をしてください ▶ P6 |
| | リモコンの乾電池切れ | 単3アルカリ乾電池4本を交換してください |
| 水が止まらない | 電磁バルブのゴミ詰まり | 止水栓を閉めメンテナンスを依頼してください |
| 床に漏水 | 小便の飛び散り、もしくは漏水 | 床を拭いて小便がどうかの確認してください または漏水箇所を特定しメンテナンスへ依頼してください |
| 汚物が排出しない | 便器と便槽の配管詰まり | 市販のパイプクリーナー等で詰まりを取り除くか、 お買い上げ店又は専門業者に依頼してください |
| 便器に水が溜まらない | フラッパーに汚物、尿石が付着している | フラッパーの掃除をしてください |
| フラッパーが正常に動作しない | ACアダプターの接続不良 | ACアダプターを一度抜き差ししてフラッパーが動作するか確認してください |
| 自動洗浄がきかない | リモコンの乾電池切れ | 単3アルカリ乾電池4本を交換してください |
| | 人感センサーが感知していない | リモコンが正しい位置に取り付いているか確認してください また暗い上着の場合、反応しないときがあります ▶ P7 |
| リモコンのボタンがきかない | リモコンの乾電池切れ | 単3アルカリ乾電池4本を交換してください |
| | リモコンセンサーが感知していない | リモコンが正しい位置に取り付いているか またはリモコン接続ケーブルが有線になっている |
| | 電源が入っていない | ACアダプターの接続を確認してください |

人感センサーのテストモード

人感センサーのテストモードによる感知距離の調整

壁から便器中心までの距離が400～450mmの場合、自動洗浄の人感センサー感知距離の調整は不要です。
自動洗浄が正常に作動しないとき、テストモードにして調整ください。

① テストモードの入り方

リモコンの排水弁開/閉ボタンと排水ボタンを5秒以上同時押しするとテストモードに入ります。
同時押しなので、排水弁開/閉が排水のどちらかが動作しますが、問題ありません。
テストモードに入ると、人感センサーが感知すると「電池切れ」赤ランプが点灯します。

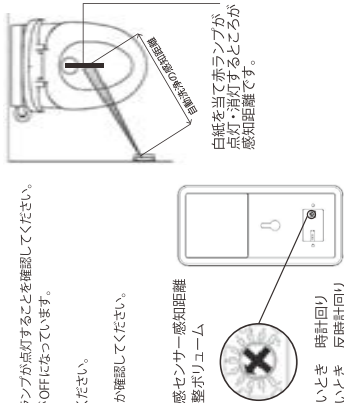
② 人感センサー感知距離の確認と調整方法

白紙(A4サイズ程度)を人感センサーの10cm程度前のところにかざして赤ランプが点灯することを確認してください。
点灯しないときは、テストモードに入っていないか、自動洗浄切替スイッチがOFFになっています。
人感センサーは、右図のように斜め方向に出ています。
その方向の便器中心付近に白紙を当てると赤ランプが点灯して移動しなくなります。
赤ランプが切れる場所が感知距離になります。
調整後、便座に座り上半身を動かして「電池切れ」赤ランプが点灯しているか確認してください。
テストモード中は、リモコンボタン操作はできません。

③ テストモードの解除方法

- 以下のいずれかの方法でできます。
- ・リモコンの排水弁開/閉ボタンと排水ボタンを5秒以上同時押しする。
 - ・5分以上経過すると、自動解除します。
 - ・無線の場、乾電池を外して入れ直す。
 - ・有線の場、有線ケーブルを抜く。

■ 人感センサー感知距離調整ポリューム



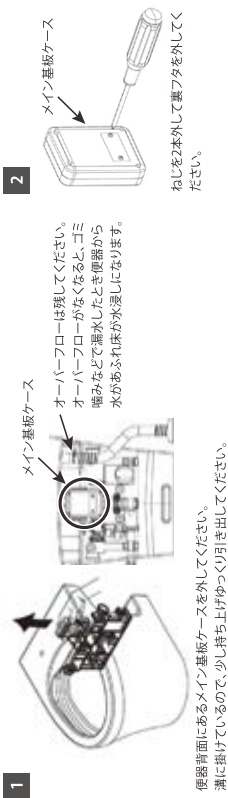
注意

本製品は、精密機械につき使用環境によっては誤動作が生じることがあります。
誤動作が生じないよう、取付前に必ず確認してください。

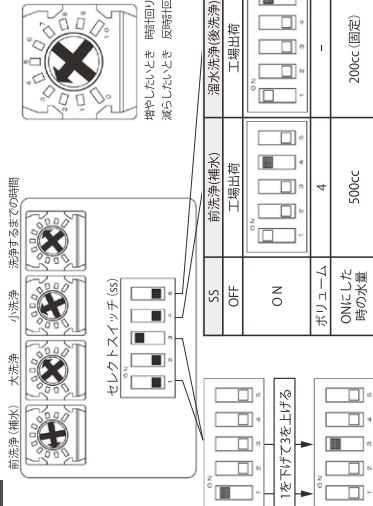
- 自動洗浄で誤動作がある場合、自動洗浄をOFFにしてご使用ください。
- 暗い色の上着のとき自動洗浄のセンサーの感度が悪くなり反応しない場合があります。そのときは押しボタンで操作してください。
- 人感センサー感知距離範囲内に障害物がないようにしてください。
- トイレに窓や明かり取りがあり、日光が入る場合、誤動作（誰もいないのに動く）することがあります。そのときは、窓をカーテンやブラインドなどで遮光するか自動洗浄をOFFにしてください。
- リモコン取付けの反対壁がタイルなど反射しやすい素材のときは、自動洗浄を「OFF」にしてください。
- 人感センサーの濃い茶色部分を傷つけないでください。
- 水がかかるような場所には設置しないでください。
- 人感センサーが感知したままの状態が長く、乾電池の消耗が早くなります。
- リモコンの期間で自動洗浄することがあります。そのときは、リモコンの取付位置や感知距離調整を行ってください。それでも解消しないときは、自動洗浄をOFFにして押しボタンで使用してください。

水洗便器への切り替え方法

下水道がきたとき、水洗便器に切り替えることができます。工場出荷時は、スイッチ切り替後「大洗浄5L」になるよう設定しています。



3 セレクトスイッチを切り替えてください。



| | ポリューム | 水量 |
|-----|-------|---------|
| 大洗浄 | 1 | 5,000cc |
| 小洗浄 | 7 | 2,000cc |
| 前洗浄 | 4 | 500cc |

■ 洗浄水量のポリューム表

流水時(動水圧):0.2MPa以上 または、静止時(静水圧):0.25MPa以上

| ポリューム | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 大洗浄 | 4,670cc | 5,000cc | 5,360cc | 5,980cc | 6,350cc | 6,800cc | 7,450cc | 8,050cc | 8,510cc | 9,240cc | 9,240cc |
| 小洗浄 | 1,070cc | 1,160cc | 1,340cc | 1,440cc | 1,550cc | 1,740cc | 1,910cc | 2,000cc | 2,240cc | 2,380cc | 2,400cc |
| 前洗浄 | 0cc | 130cc | 310cc | 420cc | 500cc | 580cc | 720cc | 830cc | 980cc | 1,080cc | 1,100cc |
| 後洗浄 | | | | | | | | | | | 200cc |

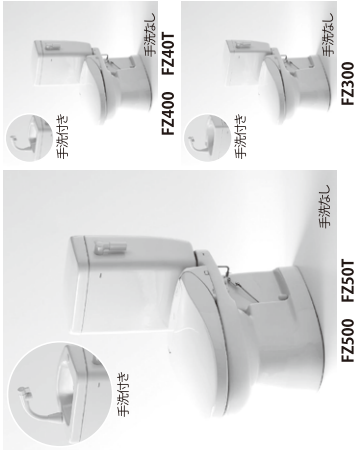
流水時(動水圧):0.15～0.2MPa未満のとき、以下の設定にしてください。

| ポリューム | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 大洗浄 | 4,040cc | 4,260cc | 4,740cc | 5,230cc | 5,480cc | 5,940cc | 6,910cc | 7,450cc | 7,910cc | 7,970cc | 7,970cc |
| 小洗浄 | 950cc | 970cc | 1,130cc | 1,280cc | 1,390cc | 1,520cc | 1,640cc | 1,740cc | 1,920cc | 2,060cc | 2,070cc |
| 前洗浄 | 0cc | 90cc | 270cc | 380cc | 430cc | 510cc | 630cc | 730cc | 820cc | 930cc | 950cc |
| 後洗浄 | | | | | | | | | | | 150cc |

施工業者様用

ソフィアシリーズ FZ500 FZ50T
簡易水洗トイレ FZ400 FZ40T
クリーンフラッシュ FZ300

施工説明書



施工手順を動画で見る (QRコードを参照)

簡易水洗トイレから簡易水洗トイレへ

施工手順を動画で見る (QRコードを参照)

簡易水洗トイレから簡易水洗トイレへ

施工説明書ダウンロード

PDFデータ

もくじ

| 施工の前に | 施工手順 |
|---------------------------------|-----------------------------|
| ● 特に注意していただきたいこと..... 2 | ● 便器本体の据付..... 24 |
| ● 梱包内容の確認..... 4 | ● オーバーフロー管の接続 (床接続)..... 24 |
| ● 必要な工具、別途必要なもの..... 4 | ● オーバーフロー管の接続 (壁接続)..... 25 |
| ● 配管上の注意事項..... 5 | ● ロータンクの取付..... 26 |
| ● 標準施工図..... 6 | ● ロッドの接続..... 26 |
| ● 寸法図..... 7 | ● 止水栓位置と給水管長さの確認..... 27 |
| ● 【既設】洋風簡易水洗トイレの確認..... 8 | ● 給水管の接続..... 28 |
| ● 床フランジの選定..... 10 | ● 普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付..... 28 |
| ● オーバーフロー排水位置の確認..... 12 | ● 調整と点検..... 29 |
| 施工手順 | 施工後 |
| ● 施工手順..... 13 | ● 引き渡し..... 32 |
| ● 【新設】給排水管の位置決め..... 14 | |
| ● 【既設】和式簡易水洗トイレからの取替..... 15 | |
| ● 【既設】非水洗 (洋式) トイレからの取替..... 16 | |
| ● 【既設】非水洗 (和式) トイレからの取替..... 17 | |
| ● 【既設】洋式簡易水洗トイレからの取替..... 18 | |
| ● 床フランジの取付 ①..... 20 | |
| ● 床フランジの取付 ②..... 22 | |

施工の前に

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

| 用語および記号の説明 | |
|---------------|-------------------------------|
| ⚠ 警告 | 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。 |
| ⚠ 注意 | 守らないと、ケガをしたり家財に損害を与えることがあります。 |
| 🚫 禁止 | 禁止を示す記号です。 |
| ❗ 必ず実行 | 必ず行うことを示す記号です。 |
| 🚫 禁止 | 風呂、シャワーなどの水場での使用禁止 |

⚠ 警告

● 浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

| | |
|--|---|
| ● 必ず実行 ● 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。 簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。 | ● 禁止 ● この施工説明書以外の改造や修理はしないでください。 火災や感電、故障や漏水の原因となります。 |
| ● 必ず実行 ● 施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。 漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。 | ● 必ず実行 ● 給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。 給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当たり動かなくなります。 その場合、水が出続けます。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。 ボールタップを真つすぐ直し、座付ナットを締めます。 |
| ● 必ず実行 ● オーバーフロー用排水管は、便槽に接続しないでください。 便器が故障して、給水が止まらないとき便槽があふれる恐れがあります。 | |

梱包内容をお確かめください。

● **！**必ず実行
オーバーフロー用排水管は、塩ビ管 VU40 又は VP30 で必ず配管してください。

オーバーフロー用排水管内径が 20mm より小さいと、便器が故障して給水が止まらなとき排水しきれず、床が氷浸しになり家財を濡らす原因となります。

● **！**必ず実行
止水栓がロータングクのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水管 (サブライ管) のツバのないう止水栓側の接続には注意してください。

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水管の止水栓側の差込が小さいと配管が抜け、家財を濡らす原因となります。

● 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
資格のない人が電気工事をすることは法的に認められていません。

● **！**必ず実行
便器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時の破損がないかを点検してください。

破損部でケガをしたり、漏水して家財を濡らす原因となります。

● **！**必ず実行
床に便器を埋め込まないでください。

修理できなくなります。本水洗替ができなくなります。

● **！**必ず実行
便器設置部の床面は、水平にしてください。

便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。また、洗浄力が弱くなる恐れがあります。

● **！**必ず実行
凍結の恐れのあるときは、注意してください。

凍結防止ヒーターの利用、ロータングクの止抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。

詳細は取扱説明書 P12 ▶

※温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

必要ない



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用

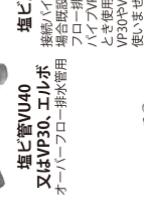


（－）ドライバークラス
止水栓の開閉



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用



（－）ドライバークラス
止水栓の開閉



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用



（－）ドライバークラス
止水栓の開閉



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用



（＋）ドライバークラス
電動ドライバークラス

床下フランジ取付木はじ締めが付け用

This image displays the various components of a toilet, organized into three rows. The top row shows the main toilet body, the water tank, and the toilet bowl. The middle row contains the flush valve lever, the flush valve cap, and the flush valve nut. The bottom row includes the flush valve bolt, the flush valve nut, and the flush valve cap. Each part is accompanied by a label in Japanese.

| 部品名 (Part Name) | 写真 (Image) |
|------------------------------|------------|
| 便器本体 (Toilet Body) | |
| タンク (Tank) | |
| 手洗付用フタ (Flush Valve Cover) | |
| 化粧キャップ (Decorative Cap) | |
| タンク取付ナット (Tank Mounting Nut) | |
| スタッドボルト (Stud Bolt) | |
| 木ねじ (Wood Screw) | |
| カーブルプラグ (Carbur Plug) | |
| 継ぎタシ管 (Joining Pipe) | |
| ワン座 (One Seat) | |

■ 部材

配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K 6741に準じた硬質塩化ビニル管（塩ビ管）を使用してください。
肉厚：導入管・導入短管・・・2mm以上（ブロー品継手類1.6mm以上）
臭突管・・・1.5mm以上（ブロー成形品継手類1.2mm以上）
- 導入管・導入短管は、VU100を使用してください。また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
段差で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。
- 横引きの導入管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。
- 臭突管
次の場合は必ず臭突を設置してください。
①2階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合
②小便器を設置する場合
臭突管の先端には、排気トップ（臭突ファンなど）を設けてください。
排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性能のものを使用してください。
排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
- 配管の接合部は確実に密着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10ℓの水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- オーバーフロー－屋外配管からの臭気上りについて（製造物責任法を考慮した注意書きについて）
オーバーフロー－配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。
- 但し、凍結の恐れのある場所では、トラップ内の水やオーバーフロー－管先端の凍結に十分注意して施工してください。
- オーバーフロー－配管は絶対に便槽に接続しないでください。便槽がふれる恐れがあります。
- 上水道を使用してください。井戸水や地下水は、機器不良の原因になりますので使わないでください。
- もし使用する場合、保証対象外となります。
- 水道配管
水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。
- 給水条件
使用水道圧範囲：0.05MPa～0.75MPaの範囲で使用してください。
- 水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用（ウォーターハンマー）の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

標準施工図

■便槽の容量

1人当たり1ヶ月で約100～150ℓでご計画ください。
但し、来客や家族数が増えること、今後、洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。最低でも500ℓ（NV-R5は490ℓ）以上の容量のものをご使用ください。

【例】4人家族で簡易水洗トイレを使用の場合
100ℓ/月・人×4人＝400ℓ
（洗浄便座をご使用の場合は120ℓ/月・人×4人＝480ℓ）

便槽サイズを調べる

家族人数や使用状況に応じた便槽容量を自動で計算します。

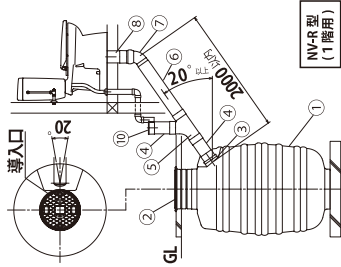


■NV-R便槽配管部品一覧

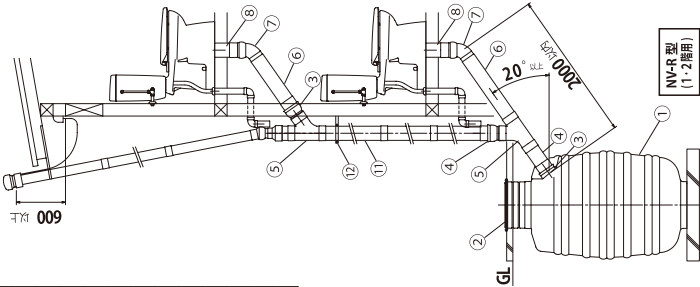
| 番号 | 品名 | 品番 | 1階専用 | 1・2階併用 |
|----|-----------------------|------------|------|--------|
| ① | 槽本体 | | 1 | 1 |
| ② | マンホール（樹脂）340ロック式ノーマーク | BM340VR | 1 | 1 |
| ③ | 導入自在ソケット107（R用） | B31403R | (1) | 2+(1) |
| ④ | 導入短管S付L22 | BU5100×22 | 2 | 2 |
| ⑤ | 導入チーズ（R用） | B31104R | 1 | 2 |
| ⑥ | 導入管L65 | BU100×65 | 1 | 2 |
| ⑦ | VU自在エルボ（R用） | B31302R | 1 | 2 |
| ⑧ | 導入短管L30 | BU100×30 | 1 | 2 |
| ⑨ | 導入管VU100L100 | BU100×100 | | |
| ⑩ | 導入口キャップR114 | B32106 | 1 | 1 |
| ⑪ | 導入管S付L100 | BU5100*100 | | 3 |
| ⑫ | 振れ止め金具114 | B32903R | | 1 |
| ⑬ | 短管VU100L5 | BU100×5 | | 2 |

導入自在ソケット107（R用）の(1)は、本体取付け出荷

単位：mm



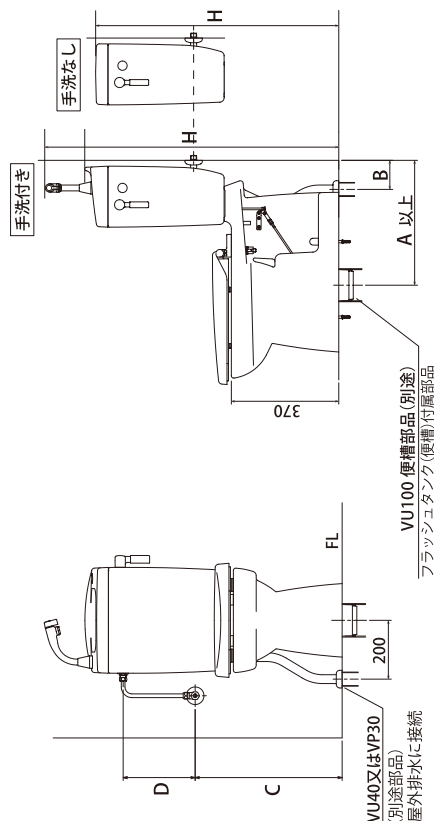
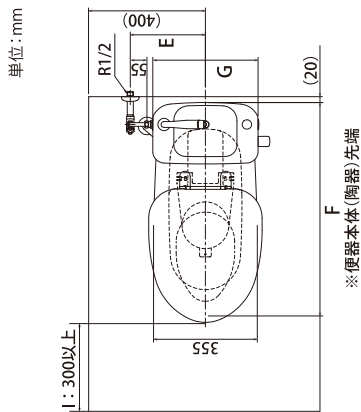
NV-R型
(1・2階用)



NV-R型
(1階用)

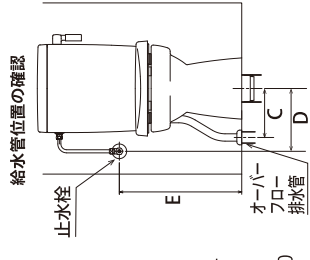
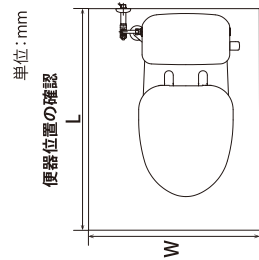
寸法図

| | 型 式 | |
|------|-------------|-------------|
| | FZ500/FZ50T | FZ400/FZ40T |
| A | 460mm | 430mm |
| B | 100mm | 80mm |
| C | 500mm | 400mm |
| D | 245mm | 260mm |
| E | 257mm | 274mm |
| F | 760mm | 730mm |
| G | 360mm | 380mm |
| 手洗付き | フタ上 | 875mm |
| H | 手洗水栓上 | 1,011mm |
| 手洗なし | | 845mm |



【既設】洋風簡易水洗トイレの確認

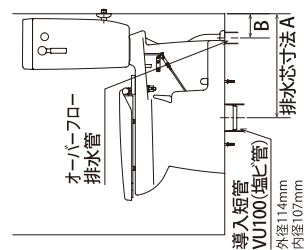
今使っている既設洋風簡易水洗トイレの寸法を確認してください。



排水芯寸法 A の確認方法

いずれかの方法で「排水芯寸法 A」を確認してください。

- 便器を取り外して壁から導入短管 VU100 の中心までの寸法を測定します。一番正確な確認方法です。 p9 を参照 ▶
- 既設便器のメーカーと型式 (品番) を調べ「当社製簡易水洗トイレの排水芯寸法表」で確認します。
- 取設便器のメーカーに問合せて確認します。



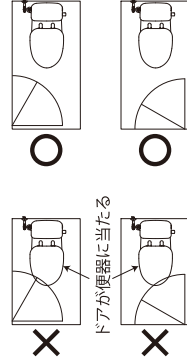
当社製簡易水洗トイレの排水芯寸法表を確認する



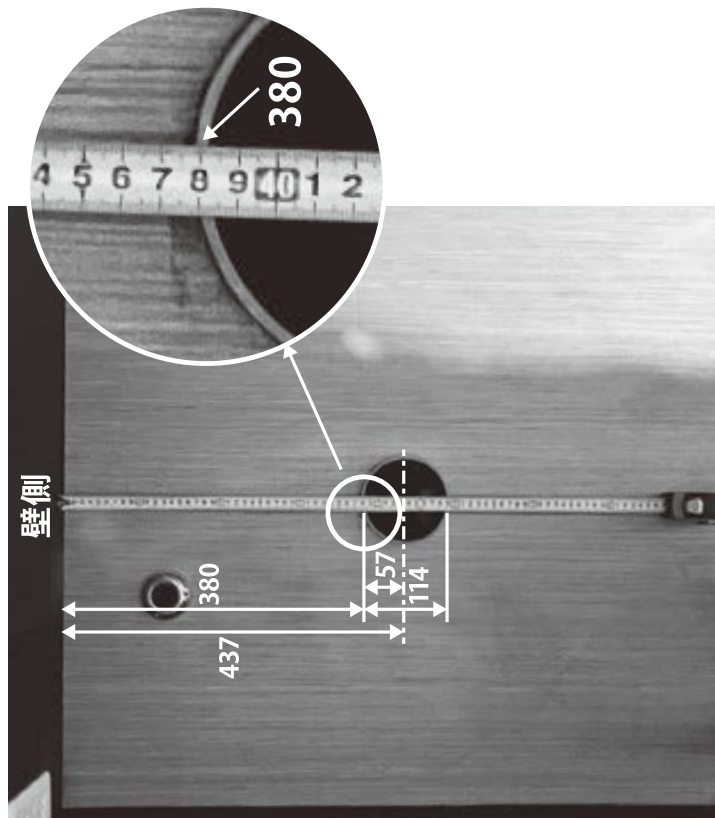
- [注意]
- L, W が最小寸法より小さい場合は、狭いトイレ用の機種 FA8、または FOR が適しています。
 - オーバーフロー排水位置と給水位置は、標準寸法以外の設置にも対応できます。

内開きドアの場合

ドアが内開きの場合は、ドアを開いた時に便器に当たらないかを必ず確認してください。



壁から導入短管 VU100 の中心までの正確な測り方



※寸法は現場によって異なります。

① 便器と床フランジを取り外し、導入短管 VU100 の壁から一番近い先端(外径)の寸法を読み取ります。

② 計算式「①寸法+57※」で、中心寸法を計算します。

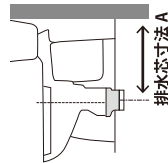
【例】 $380 + 57 = 437$ → 排水芯寸法 A: 437mm

※ VU100 外径 114mm の半径 $(114 \div 2 = 57)$

外径寸法は規格で決まっています。

床フランジの選定

既設トイレの「排水芯寸法」が標準寸法以上であれば、同梱の標準フランジで取り付けできます。
また、標準寸法以下の場合は、機種と床フランジを選定してください。



- ① 後ろの壁から排水管の(便槽から立ち上がっている配管)中心までの距離(排水芯寸法 A)を調べます。
- ② 現場の排水芯寸法 A に合った改造フランジをお選びください。
排水管はそのまま便器の取替えができます。

| 床フランジ | | | |
|-----------------|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 標準フランジ (A97411) | 10・30mm 改造フランジ 13 (APH-Z80) | 30・50mm 改造フランジ 579 (APH-Z81) | 50・70・90mm 改造フランジ 579 (APH-Z81) |

■ FZ500・FZ50T のとき

| 現場の排水芯 | 460 | 450 | 430 | 410 | 390 | 370 (mm) |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 標準フランジ A97411 (※標準付属品) | | | | | | |
| 改造フランジ 13 APH-Z80 | | | | | | |
| 改造フランジ 579 APH-Z81 | | | | | | |

例 1) 既設の排水芯寸法 A が 400mm の場合

- FZ500 を設置するには「改造フランジ 579 を使って 70mm 偏芯」させて取り付けます。
- FZ400 を設置するには「改造フランジ 13 を使って 30mm 偏芯」させて取り付けます。
- FZ300 を設置するには「改造フランジ 13 を使って 10mm 偏芯」させて取り付けます。

■ FZ400・FZ40T のとき

| 現場の排水芯 | 430 | 420 | 400 | 380 | 360 | 340 (mm) |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 標準フランジ A97411 (※標準付属品) | | | | | | |
| 改造フランジ 13 APH-Z80 | | | | | | |
| 改造フランジ 579 APH-Z81 | | | | | | |

例 2) 既設の排水芯寸法 A が 500mm、そのまま便器を設置するとロータンクと壁との間が開き、手前が狭くなる場合

- FZ500 を設置するには「改造フランジ 13 を反転して使用し-30mm 偏芯」させて取り付けます。
- FZ400 を設置するには「改造フランジ 13 を反転して使用し-50mm 偏芯」させて取り付けます。

■ FZ300 のとき

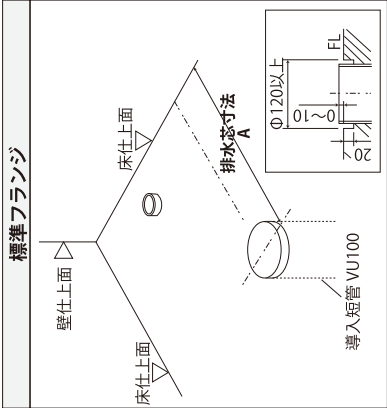
| 現場の排水芯 | 410 | 400 | 380 | 360 | 340 | 320 (mm) |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 標準フランジ A97411 (※標準付属品) | | | | | | |
| 改造フランジ 13 APH-Z80 | | | | | | |
| 改造フランジ 579 APH-Z81 | | | | | | |

[注意]

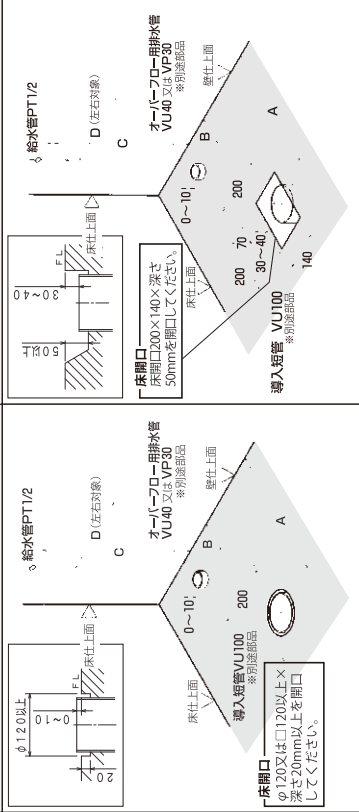
- ・改造フランジをご使用になった場合、本水洗への切り替えを行う際には配管位置変更の工事が必要になります。
- ・改造フランジ 579 は反転できません。

床フランジの床開口

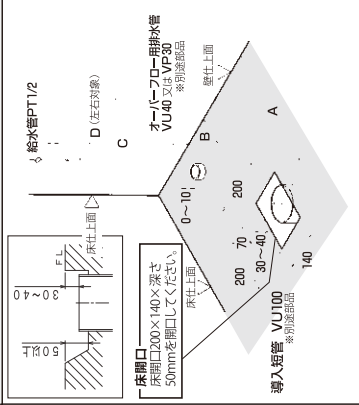
床フランジによって床の開口が異なります。標準フランジの場合は、開口はそのままで設置できます。



改造フランジ13



改造フランジ579



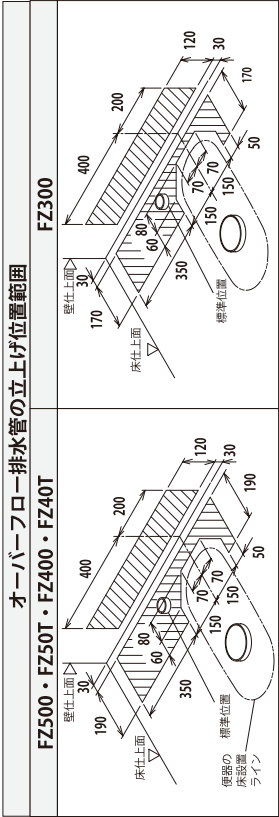
床がコンクリートやタイルの状況で、改造フランジ579をご使用になる場合、床の開口工事に専用の工具が必要となります。コンクリートドリルが無い場合は、標準フランジ、または改造フランジ13で設置できる機種をご使用ください。

オーバーフロー排水位置の確認

該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

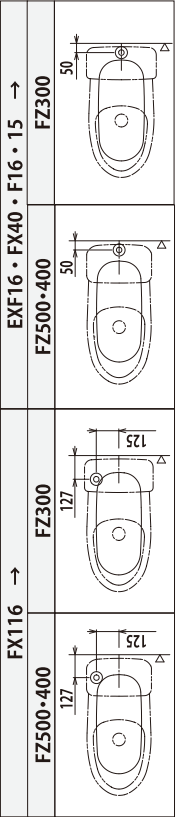
■ オーバーフロー排水管の位置がそのまま施工できる場合

オーバーフロー排水管の位置を確認してください。
下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、そのまま施工できます。
※ オーバーフロー排水管：塩ビ管VU40(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)



既設のオーバーフロー排水管の塩ビ管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付風の接続パイプで施工してください。

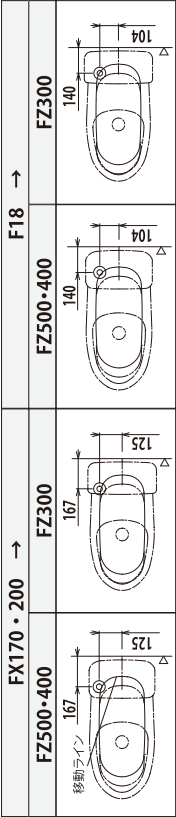
ダイワ化成の旧商品のオーバーフロー排水管の標準位置



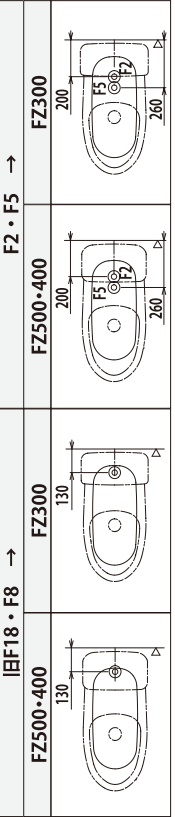
■ オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

下記のいずれかを選定してください。

1. 既設のオーバーフロー排水管が便器に当たる場合「改造フランジ」を使って便器を手前に移動してください。



2. 既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、改造フランジも使用できません。寸法通りに新規配管を設けてください。



【新設】トイレ

【既設】和式簡易水洗トイレ

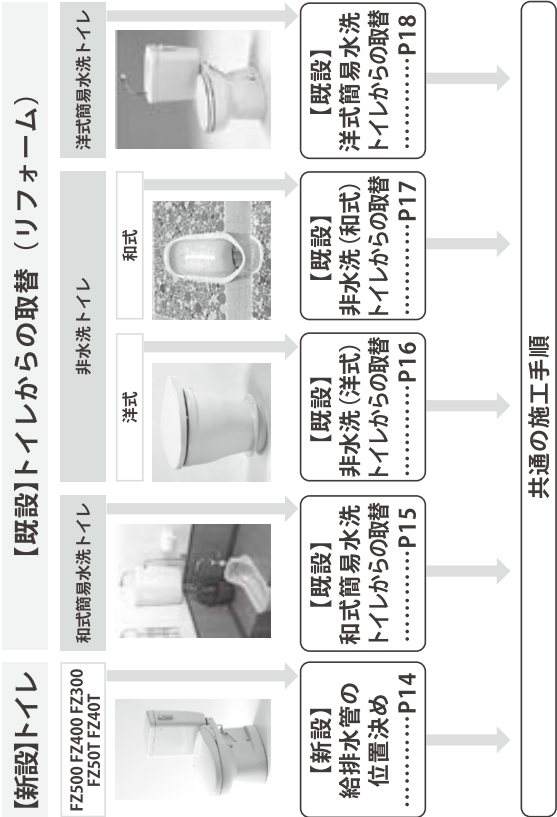
【既設】非水洗トイレ

【既設】洋式簡易水洗トイレ

【新設】トイレ

施工手順

施工の種類によって下記の施工手順の流れに沿って施工してください。

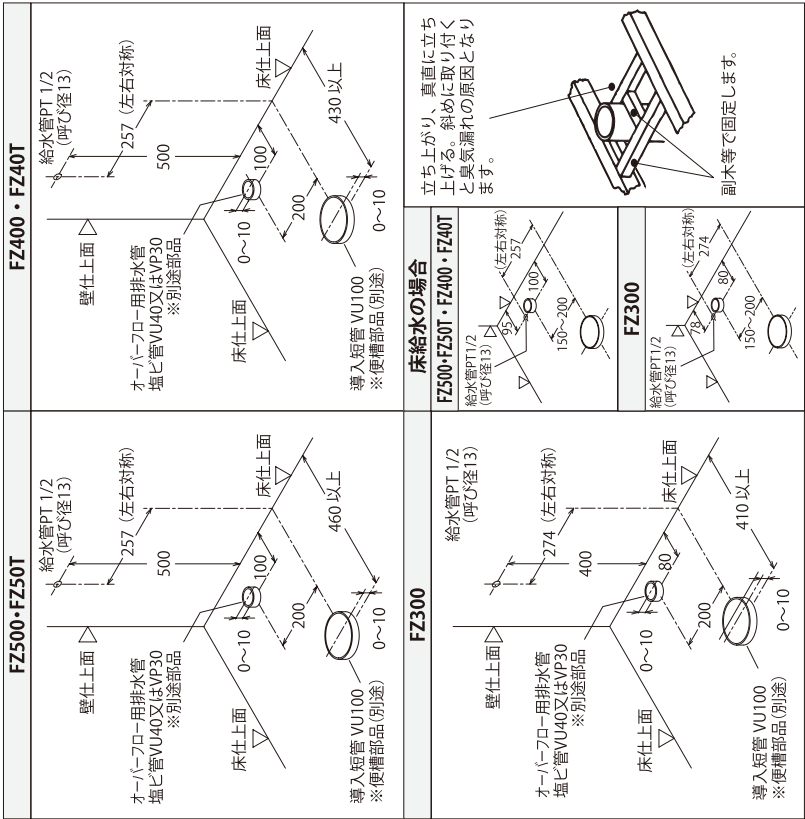


- 床フランジの取付 ① P20
- 床フランジの取付 ② P22
- 便器本体据付 P24
- オーバーフロー管の接続（床接続） P24
- オーバーフロー管の接続（壁接続） P25
- ロータックの取付 P26
- ロッドの接続 P26
- 止水栓位置と給水管長さの確認 P27
- 給水管の接続 P28
- 普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付 P28
- 調整と点検 P29
- 引き渡し P32

【新設】給排水管の位置決め

トイレ新設の場合に参照してください。リフォームは、15ページ以降を参照してください。

新築や増築で新たに配管する場合の施工手順です。下記の施工手順の流れに沿って施工してください。
導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めます。



必ず実行

オーバーフロー排水管は、塩ビ管VU40又はVP30で必ず配管してください。
オーバーフロー排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水されず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

【既設】和式簡易水洗トイレからの取替

はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

1. 既設便器の撤去

- ①給水管を取り外してください。
- ②ロータンクの水を抜いてください。
- ③洗浄管を取り外してください。
- ④ロータンクを取り外してください。
- ⑤便器を取り外してください。

2. 床と腰壁の撤去

- ①床と腰壁を撤去してください。
- ②施工枠のフランジと導入短管の接続を外してください。
- ③施工枠を取り外してください。



3. 配管工事

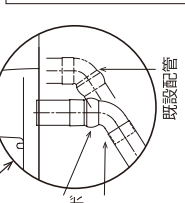
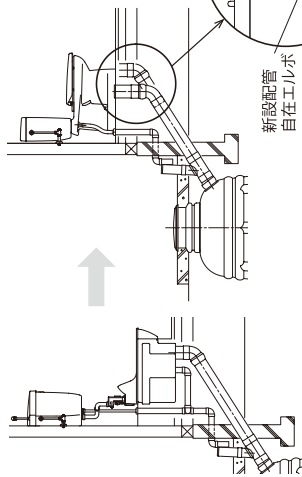
- ①導入短管VU100の立上り位置と高さを確認してください。

・壁から導入短管中心位置
(排水寸法A)の確認

(排水寸法A)に合わせ横引き管をカットし立上げ直してください。

- ・床仕上面からの導入短管立上り高さの確認

- ②オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③給水管位置の確認をしてください。



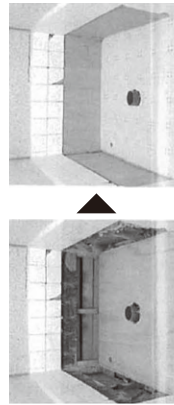
！必ず実行

オーバーフロー排水管は、塩ビ管 VU40 又は VP30 で必ず配管してください。

オーバーフロー用排水管の内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらなとき排水されず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。

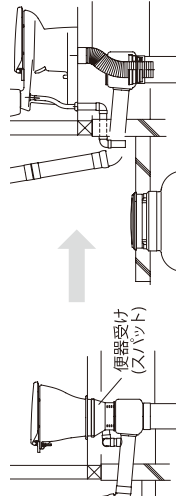


【既設】非水洗（洋式）トイレからの取替

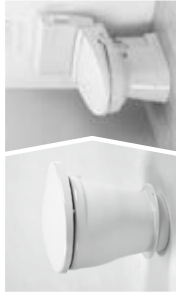
はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

1. 既設便器の撤去

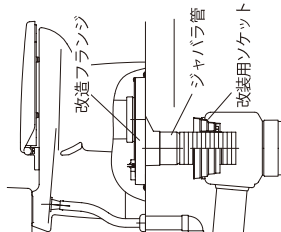
- ①便器を取り外してください。
- ②便器受け(スバット)を取り外してください。



施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)



■ 改造フランジと併用



2. 汚水配管
改造部品ジャバラセットB又は改造部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改造フランジと併用することで偏芯量が少なくなり施工しやすくなります。

■ 交換部品

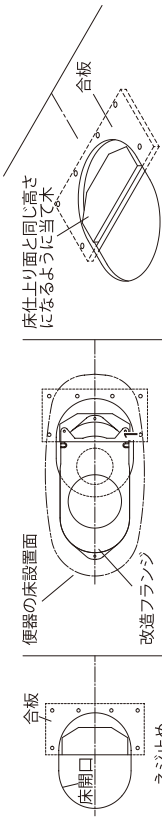


！必ず実行

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。

3. 床の工事

床の撤去、張り替えを行ってください。又は、FZ500Iは、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。床開口の位置によっては、改造フランジを使えば床工事が不要になります。但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

【既設】非水洗トイレ

【既設】非水洗（和式）トイレからの取替

はじめに10ページ以降の「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。

1. 既設便器の撤去

- ① 便器を取り外してください。
- ② 便器受け(スパット)を取り外してください。

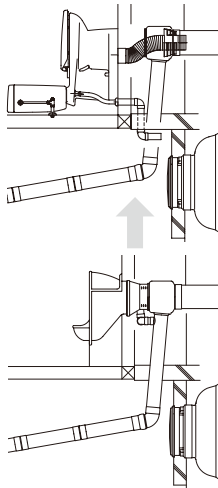
2. 床と腰壁を撤去してください。



施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)

3. 給排水配管

- ① 汚水配管
改裝部品ジャバラセットB又はCを
使って無臭便槽配管と床フランジと
接続してください。改造フランジと
併用することで偏芯量が少なく
施工しやすくなります。
- ② オーバーフロー排水配管の配管を行っ
てください。VU40又はVP30
- ③ 給水配管を行ってください。

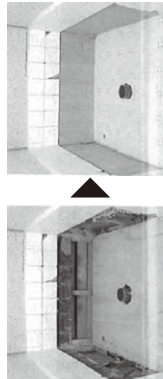


！ 必ず実行

- 便器の汚水配管は、必ず便槽に接続して
ください。
 - オーバーフロー排水配管は、必ず便槽に接続する便器です。
又はVP30で必ず配管してください。
- 簡易水洗トイレは、便槽に接続する便器です。
オーバーフロー排水配管は、塩ビ管VU40
又はVP30で必ず配管してください。
オーバーフロー排水配管の内径が20mm
より小さいと、便器が故障して給水が止ま
らないとき排水しきれず、床が水浸しに
なり家財を濡らす原因となります。

4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。

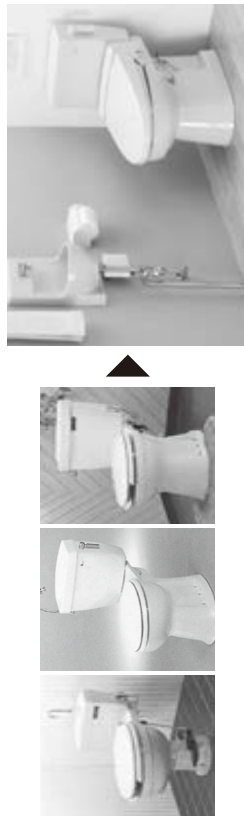


20 ページの「床フランジの取付①」へすすんでください。

【既設】洋式簡易水洗トイレ

【既設】洋式簡易水洗トイレからの取替

はじめに8ページ以降の「【既設】洋風簡易水洗トイレの確認」「床フランジの選定」「オーバーフロー排水位置の確認」を確認してください。



1. 既設便器の撤去

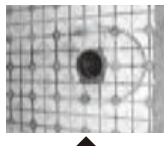
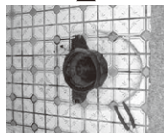
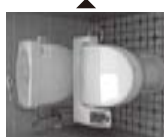
リフォームの場合、既設便器を取り外してください。

施工手順を
動画で見る
(QRコードを参照)



■ 撤去手順

- ① 止水栓を開め
てください。
- ② 便座とタンクフタ
を外してください。プラスチック
ロータングの水を
抜いてください。
- ③ 給水管を外し、ロータングを
外してください。プラスチック
製のロータングは取り外さな
くても作業できます。
- ④ 便器を外して
ください。
- ⑤ 床フランジを外
してください。



■ 床フランジの取り外し方




既設便器の床フランジが接着されていてそのまま取り外せないとき、次の方法で外してください。



- ① マイナスドライバやバーを床フランジと床の間に
差し込んで床フランジを持ち上げるようにこねてくさ
い。それでも外れないときは、ハンマーで回転方向に
叩いて外してください。

- ② 塩ビ管内径カッター（インナーカッター）をお持ちの
方は、塩ビ管の内側から床フランジを床面で切断して
ください。塩ビ管の内側に残った部分は、④の手順で
取り除いてください。

③ ①で外れない、または②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。
機種やメーカーによって取り外し方が異なります。横からノコギリで床フランジを切断します。

| クリーンブラッシュ F2・F5 他社品 | クリーンブラッシュ F18・FX30・FX40・EX-F16・ FX116・FX200・FX170・E16X・ F8DG・F8CAG | クリーンブラッシュ F15・F16・F8・F8C・ID F18・ EX-F16 |
|--|---|---|
|  マイナスイライバーを床フランジの下に入れ、持ち上げるように切断します。 【注意】床をキズ付けないように注意してください。 |  |  |



④ 導入短管 VU100 の内側にある残材をマイナスイライバーとハンマーで取り外します。

【注意】
塩ビ管が欠けたり割れたした場合、漏水や臭気漏れしないように補修してください。

【注意】
塩ビ管まで切らないように注意してください。



⑤ 新しい床フランジにコーキング剤を塗布して取り付けてください。塗布量は、全周太さ 5 ～ 10mm 程度

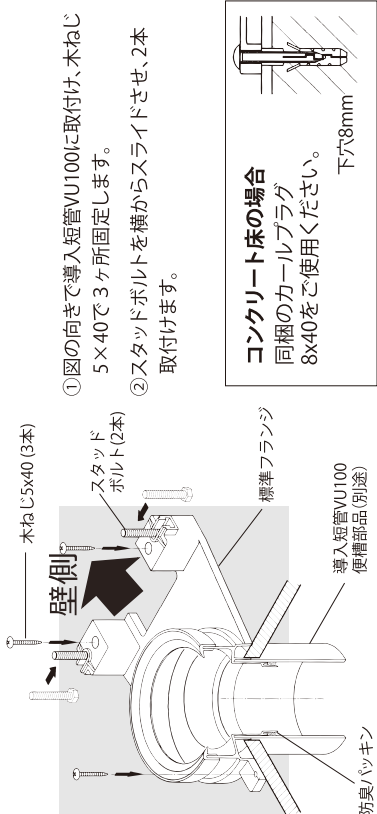
【注意】
既設の便器が和式の場合は、15 ページの「和式簡易水洗トイレからの取替」から行ってください。

20 ページの「床フランジの取付 ①」へすすんでください。

床フランジの取付 ①

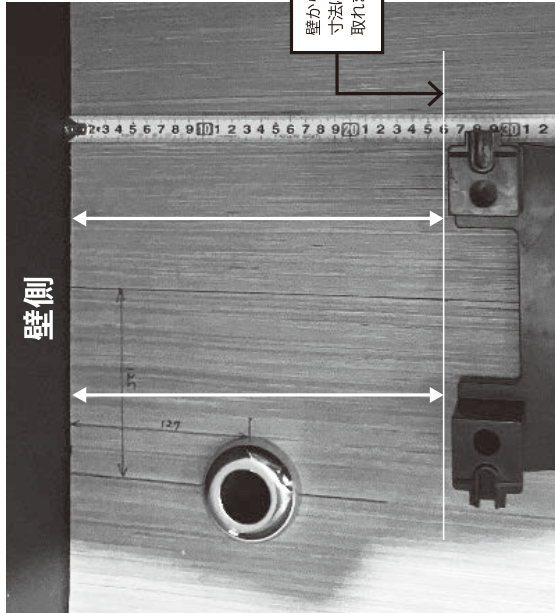
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

■ 標準フランジ



■ 設置時の注意

壁 平行



【新設】トイレ

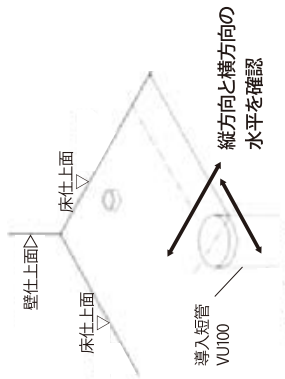
【既設】和式簡易水洗トイレ

【既設】非水洗トイレ

【既設】洋式簡易水洗トイレ

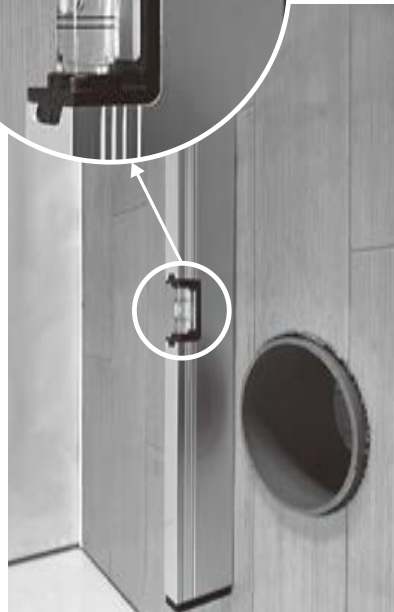
床フランジの取付 ②

床水平

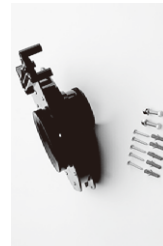


❗必ず実行

便器設置部の床面は、水平にしてください。
便器のカタッキや洗浄不良の原因となります。



■ 別売品



改造フランジ13
APH-Z80 (FZシリーズ用)



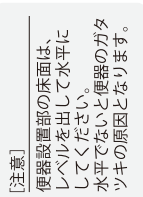
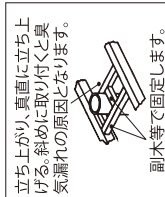
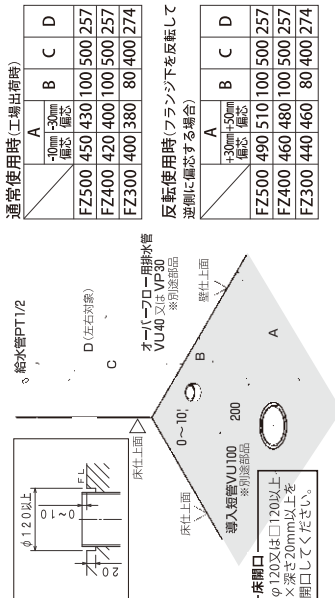
改造フランジ579
APH-Z81 (FZシリーズ用)

改造フランジの取付は、P22 または P23 を参照してください。

改造フランジ13 施工説明書

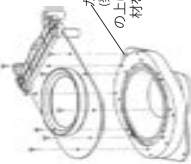
■ 給排水管の位置決めと改造フランジの取付

① 導入短管VU100・オーバーフロー用排水管・給水管の位置を決めてください。

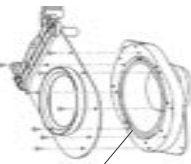


② 改造フランジの備芯量を決めてください。備芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材 (シリコーンシーラント) を全周充填してからタッピングネジ4×12 (8本) を止めてください。床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。

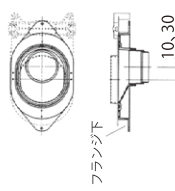
10mm備芯の時



30mm備芯の時

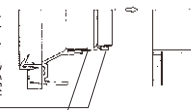


改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば、逆方向にも備芯できます。

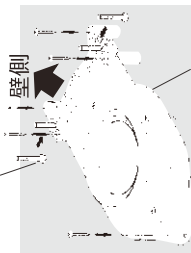


③ 改造フランジを取り付けてください。

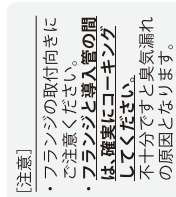
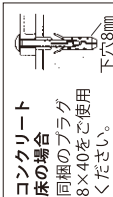
コーキング別添布 防臭パッキン



木ねじ5×40(5本) スタッドボルト(2本)



1. 図の向きで取付け、木ねじ5×40で4ヶ所固定します。
2. スタッドボルトを横からスライドさせ、2本取付けます。



【新設】トイレ

【既設】和式簡易水洗トイレ

【既設】非水洗トイレ

【既設】洋式簡易水洗トイレ

【新設】トイレ

【既設】和式簡易水洗トイレ

【既設】非水洗トイレ

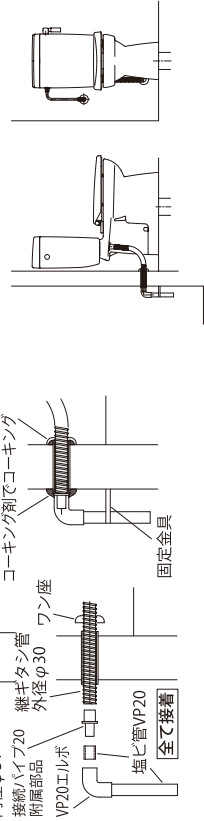
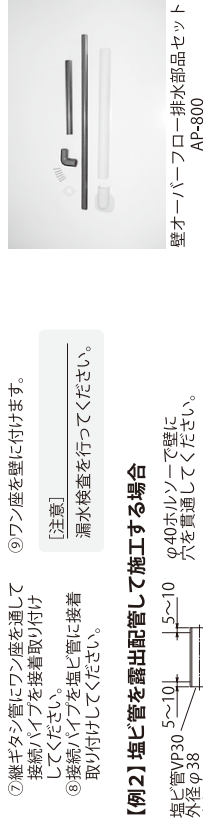
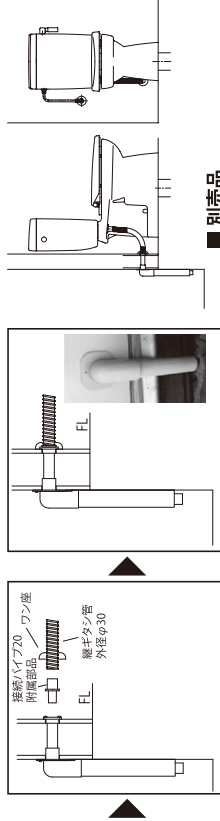
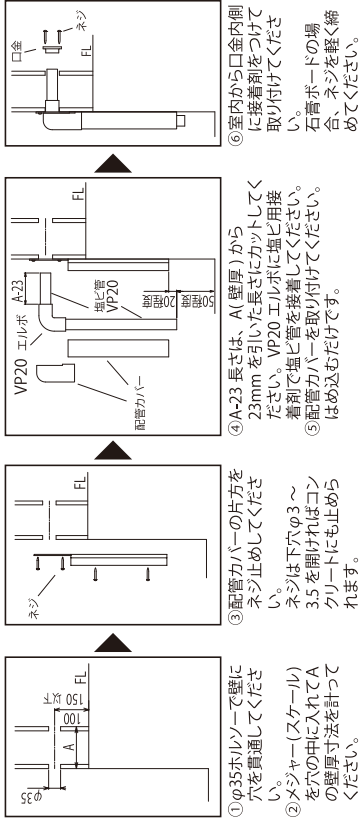
【既設】洋式簡易水洗トイレ

オーバーフロア管の接続（壁接続）

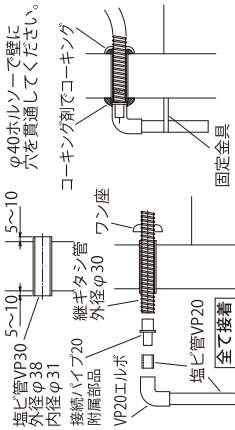
■ 壁にオーバーフロア排水管を新設する場合

既設のオーバーフロア排水管が使えないとき、屋外に面した壁に設けてください。オーバーフロアの内径は、約φ20以上必要です。

【例1】別売品の壁オーバーフロア排水部品セット／AP-800を使って施工する場合

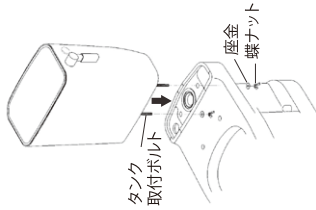


【例2】塩ビ管を露出配管して施工する場合



ロータンクの取付

- ①便器にタンクをのせてください。
- ②蝶ナットと座金で締め付けてください。片方を一気に締め付けしないでください。
- ③締め付け後、タンクにガタツキがないことを確認してください。



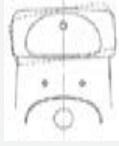
【注意】

- ・タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ロータンクの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当てないようにゆっくりと差し込んでください。陶器が破損する恐れがあります。

FZ300

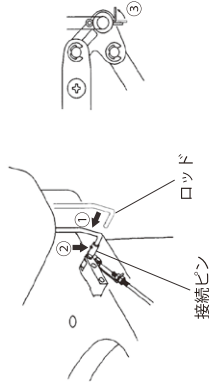
【注意】

取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合わなくなります。



ロッドの接続

- ①付属の割りピンを取り外し、ロッドと接続ピンの穴を合わせてください。
- ②割りピンを穴に差し込んでください。
- ③割りピンの先端をペンチ等で広げてください。



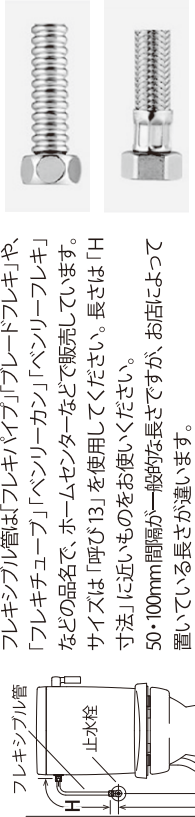
【注意】

必ず、割りピンの先端を広げ、ロッドが抜けないことを確認してください。抜けると、レバーハンドルを操作してもフラップパーバルブが開きません。

止水栓位置と給水管長さの確認

■フレキシブル管の場合

止水栓位置を確認し、フレキシブル管の長さは「H寸法」を測定してください。



新しい便器を設置前に「H寸法」は出せますが、便器を設置した後に「H寸法」を測定してフレキシブル管を購入、取り付けするほうが正確に寸法を出せるので、こちらをおススメします。専用のパイプカッターやツバ出し工具をお持ちの場合は、長さを合わせて加工してください。

■給水L管の場合

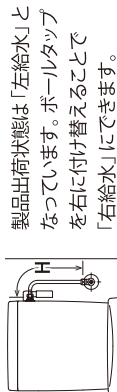
トイレ新設の場合はアングル止水栓にすることで、配管をきれいな仕上がりすることができます。

■別売品

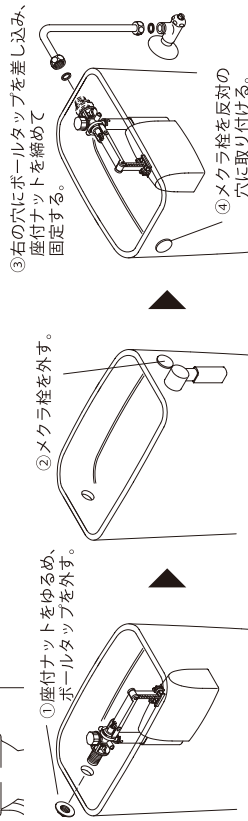
アングル止水栓
AP-300/95 (FZ500・400用)
AP-300/80 (FZ300用)

■右給水の場合

右給水



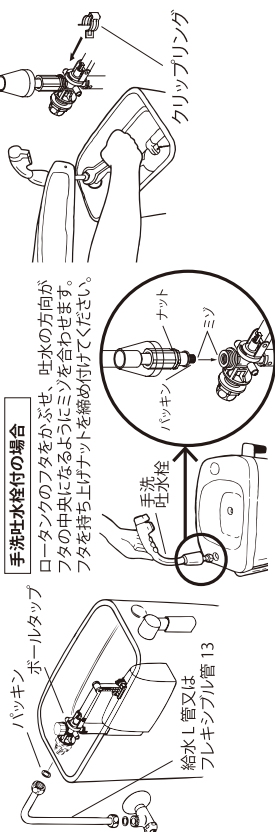
製品出荷状態は「左給水」となっています。ボールタップを右に付け替えることで「右給水」にできます。



③ 右の穴にボールタップを差し込み、座付ナットを締めて固定する。
④ メクラ栓を反対の穴に取り付ける。

給水管の接続

アングル止水栓（別売品）を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



■交換部品

金属製ナットのネジと樹脂のネジを水平にして手締めでねじ込み、最後にスパナで締め付けるようにしてください。斜めにねじ込むと、ネジ山を傷めたり、ネジがなめる原因になるため、慎重に作業を行ってください。ネジがなめると漏水の原因となります。その場合は、部品交換をしてください。

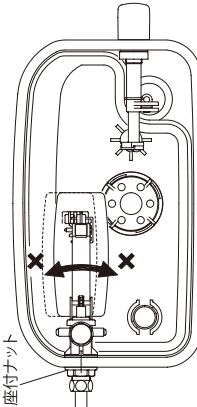


ボールタップ DK(手付)
A12208

FZ300

給水管（フレキシ管）の無理な接続はしないでください。ロータンクに力加わり、タンクが変形してフタにカタツキが注します。

【注意】



【注意】ボールタップ取り付け上の注意

ボールタップを右給水にする時や外して再度取り付けする時、必ず、ロータンクの**水がない状態**で行ってください。ロータンクに水がある状態でボールタップを斜めにして浮玉（フロート）の中に水が入るように取り付けると、止水しなくなりオーバーフローしてしまいます。

！必ず実行

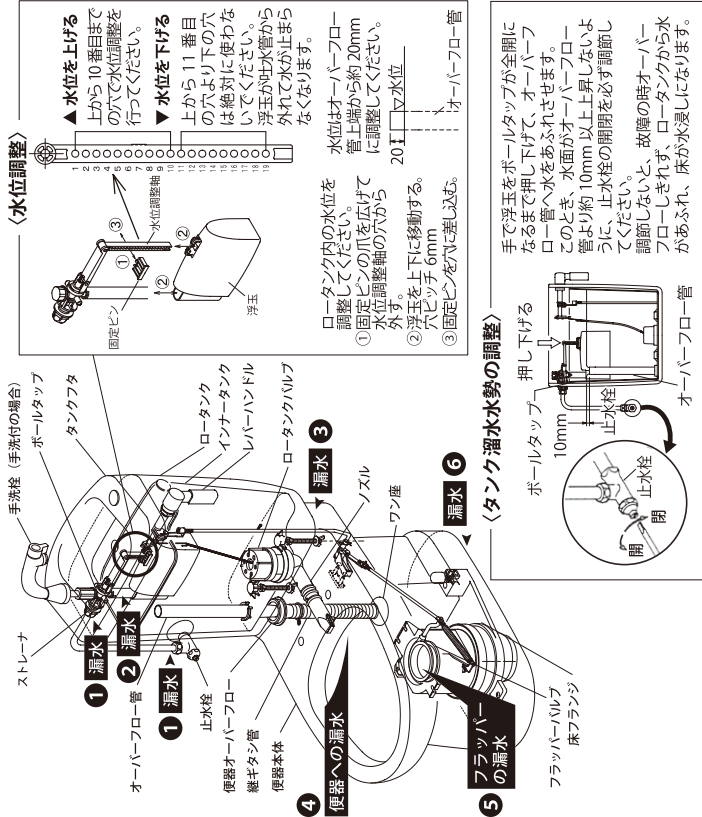
給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共同して浮玉がタンク壁に当たり、動かなくなります。その場合、水が出続けます。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。ボールタップを買った直ぐ直し、座付ナットを締めます。

普通便座・暖房便座・洗浄便座の取付

製品についている説明書を読んで取り付けてください。

調整と点検

ボールタップの水位調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。
レバーハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。



| No. | チェック項目 | 結果 |
|-----|--|----|
| 1 | 止水栓からの漏水はありませんか？ | |
| 2 | ボールタップは止水されていますか？ | |
| 3 | 便器とロータンクからの漏水はありませんか？ | |
| 4 | ロータンクバルブからの漏水はありませんか？ | |
| 5 | フラッパーの漏水はありませんか？（洗浄ボウル面の水位は下がっていませんか？） | |
| 6 | 床への漏水はありませんか？ | |

引き渡し

取扱説明書に従って取扱方法をお客様にご説明ください。
施工説明書、取扱説明書、保証書（別添付）に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。

| 施工日 | 施工店名 | 担当者 |
|-----|------|-----|
| | | |

お客様用

簡易水洗トイレ FZ500 FZ400 FZ300
クリーンフラッシュ FZ50T FZ40T

取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。



- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本書は、必要となすきすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
- 転居時に残される場合は、本書を次の入居の方へ必ずお渡しください。

もくじ

| | |
|--|----|
| ● 安全にお使いいただくために..... | 2 |
| ● 各部の名称とその役目 | 5 |
| ● ご使用前の準備と確認..... | 6 |
| ● ご使用方法 | 6 |
| ● お手入れのしかた..... | 7 |
| ● 故障・異常の見分け方と対処方法..... | 8 |
| ● 部品の点検、交換のしかた①..... | 9 |
| ● 止水栓の開閉方法/ロータンの水抜き ボールタップの部品交換/フタのすらし方 | 10 |
| ● 部品の点検、交換のしかた②..... | 10 |
| ● リップゴムの交換/ロータンの交換/ロータンの点検、部品交換 | 11 |
| ● 部品の点検、交換のしかた③..... | 11 |
| ● 手洗栓コマの交換/ロッットの接続 | 12 |
| ● 凍結のおそれのあるとき | 13 |
| ● 長期使用しないとき | 13 |
| ● 仕様 | 13 |
| ● 交換部品について | 14 |
| ● 水洗便器についての注意 | 15 |
| ● 便槽についての注意 | 15 |
| ● アフターサービスと保証 | 16 |

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないように安全にお使いいただくための注意事項を挙げております。
ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

用語および記号の説明

警告 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。

注意 守らないと、ケガをしたり家財に損害を与えることがあります。

禁止 禁止を示す記号です。

必ず実行 必ず行うことを示す記号です。

警告

● 便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。
火災や漏水の原因、便器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

注意

● 洗浄ガン使用の場合、使用後は必ず洗浄ガン用止水栓を閉めてください。
洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったりねじったり曲げたり、傷つけたりしないようにしてください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。

● 洗浄栓の金具を持って無理に動かさないでください。
手洗栓の固定が折れ、漏水の原因となります。

● 便フタや便座、ロータンを背もたれや踏台として使ったり、衝撃を加えないでください。
便フタや便座が割れてケガの原因となります。ロータンの給水配管から漏水して家財を濡らす原因となります。

● 洗浄ガン使用のときは、手で静かに操作してください。
レバーハンドルに無理な力を加えたり、衝撃を与えたり、足で操作したりするとケガや故障の原因となりますので、手で静かに操作してください。
また、レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

注意

- 市販の洗剤、薬品の使用で便座やプラスチック製のロータンクなどのプラスチック製品が割れることがあります。

掃除の時に市販の洗剤や薬品を使用すると、便座やプラスチック製のロータンクなどのプラスチック製品が割れることがあります。

この現象を「ケミカル・ストレス・クラック」と言います。

誤ってかかった場合は、すぐに水拭きしてください。

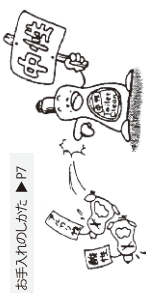


ケミカル・ストレス・クラックとは

洗剤や薬品と応力の両方がそがっつてはじめて発生します。洗剤や薬品だけでは発生しません。また、応力のかけ方やプラスチックの割れ目によって割れに至るまでの経路や箇所が異なります。すなわち、応力が少なく角度が浅いほど割れるまでの期間は長くなります。こういった割れの原因は、市販の洗剤や薬品に界面活性剤や溶剤が含まれているためです。

- 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。
酸性、アルカリ性の洗剤、漂白剤、塩素剤、塩酸、クレンザー、ベンジジン、シンナー類、うし殺し、殺虫剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

お手入れのしかた ▶ P7



- 投げ込み式、置くだけ、トイレスタンプ等の洗剤剤、芳香剤は使用しないでください。
便器やロータンクのプラスチック・ゴム部品が変形・変質して、故障の原因となります。



- 便器やロータンクなど機器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対に触らないでください。
破損部でケガをすることがありますので、早急に交換してください。



- 止水栓を開めた後、再び開く場合は必ず最初の位置に戻してください。

最初の位置に戻さないで、ボールタップの吐水量が増えオーバーフローしきれない場合、漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

止水栓の開閉方法 ▶ P9



- 長時間使用しないときは、止水栓を閉めて水抜きをしてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

長期間使用しないとき ▶ P13



- 凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。
凍結による破損で漏水し、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるとき ▶ P12

必ず 実行

このようなこともご注意ください。

- ロータンク内に物やゴミを入れないでください。
ロータンクの中に物やゴミが入ると、それがロータンクバルブにかみ込み、水が便器に流れ続けます。便器がオーバーフローして排水が溢れつづかない場合、便器から水があふれ、床が水浸しになる恐れがあります。

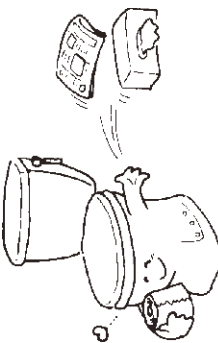
1ヶ月に1〜2回は、ロータンクのフタをあけて物やゴミが入っていないかを点検してください。



- 手洗器で雑巾などを洗ったり、泥まみれの手を洗わないでください。
ロータンクバルブにゴミや泥がつかみ込まれ、漏水の原因となります。また、排水などでロータンクに水を漏らすときも、きれいな水を入れてください。



- 紙は必ず市販のトイレトイレットペーパーを使用してください。
ティッシュペーパーや安い紙（新聞紙、雑巾など）などは水に溶けにくいので、排水管が詰まる原因となりますので使用しないでください。また、生ゴミなども便器へ捨てないでください。



- 簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を確認の上、汲み取ってください。
使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をおおめの上、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯になつていないかを点検し、早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、後場等にはお問合せください。



- 本水洗切替をされるときは、本水洗切替部品セットの説明書をよく読んで行ってください。
事故や故障して漏水した場合、家財を濡らす原因となります。

- 便座・便フタカバーを普通便座、暖房便座に取り付けると倒れることがあります。

その時は、便座カバーのみで使用するが、便座のヒンジをスライドさせ、便座を少し手前に出して倒れにくくしてください。

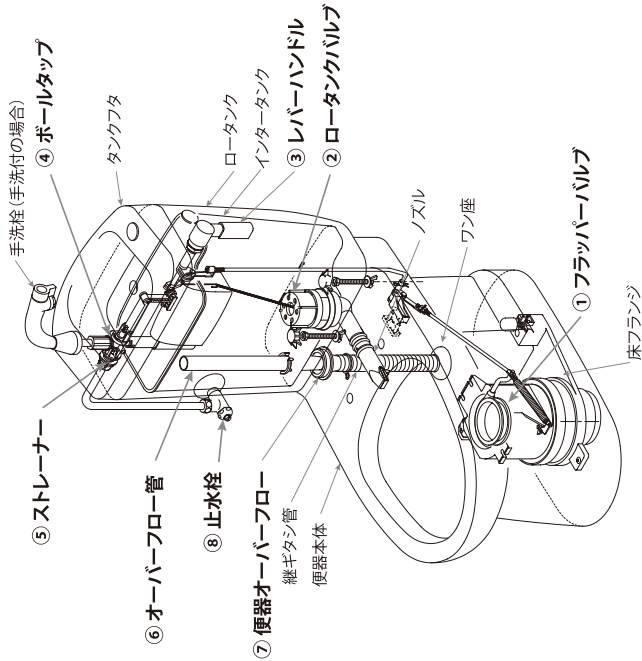
便座の出し方、取り付け方 ▶ P7

- 幼児、お年寄り、身体のご不自由な方が使用するとき、周りの方が常に注意をしてください。

- 便器の中に熱湯をかけないでください。
ゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

- 断水時などロータンクにバケツなどで直接水を入れるとき、ロータンク（外タンク）とインナータンク（内タンク）の間に水がたまり、床に水が漏れします。

各部の名称とその役割



| | |
|--------------|---|
| ① フラップバルブ | 汚物の排出弁と水を溜めて便槽からの臭気を遮断する役目をします。フラップバルブは、バネによって閉じられています。 |
| ② ロータンクバルブ | レバーハンドルを操作すると、バルブが開いて便器に水を流す役目をします。 |
| ③ レバーハンドル | フラップバルブとロータンクバルブを開閉する役目をします。事前に引くと、排出・洗浄をし、押すと便器に水を溜めます。 |
| ④ ボールタップ | ロータンクに水を溜める役目をします。一定の高さまで水が溜まると浮力でボールタップの弁を閉じ水を止めます。 |
| ⑤ ストレーナー | 水道管内のゴミや砂を取り除いてボールタップやロータンクに水を送る役目をします。 |
| ⑥ オーバーフロー管 | ボールタップが故障し、水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する役目と、オーバーフロー管を引き抜くことによりロータンクの水を抜く役目をします。 |
| ⑦ 便器オーバーフロー管 | ロータンクバルブがゴミづまりや故障を起こし、便器への水が止まらなくなったとき、ここから屋外に排出する役目をします。但し、便器オーバーフローの穴の大きさは、直径cmです。これを超える排出量は、排出しきれませんのでご注意ください。 |
| ⑧ 止水栓 | 便器の元栓の役目と水勢を調整する役目をします。ロータンクへの水を止めるときは、この止水栓を開めてください。 |

5

ご使用前の準備と確認

で使用前に

便器を取り付けて最初にご使用されるときは、次のことを確認してください。

- 止水栓が開いているか。
- ロータンクに水が溜まっているか。

禁止

必要以上に水を使わないでください。

便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分汲み取り量が増えますのでご注意ください。

便座などの使用方法

便座の交換方法は、各便座の取扱説明書をご確認ください。

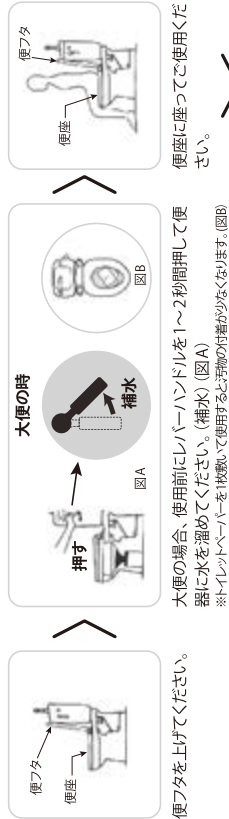
便座を交換する際、便器を設置した状態での交換が難しい場合は一度便器を外してから行ってください。

必ず実行

暖房便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いてくる説明書をよく読んでご使用ください。

ご使用方法

便器の使い方



便フタを上げてください。

大便の場合、使用前にレバーハンドルを1～2秒間押し便器に水を溜めてください。(補水) (図A)

※トイレットペーパーを複数枚使用すると汚物の付着が少なくなります。(図B)

手洗の使い方

手洗の水は自動的に出て止まりませんので、吐水栓レバーを開閉してご使用ください。



注意

レバーハンドル操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

使用後、レバーハンドルを1～2秒間引いてください。汚物が排出し、水が流れてきます。レバーハンドルは手を添えて戻してください。

※排出洗浄後、防臭のため便座に少し水が溜まります。

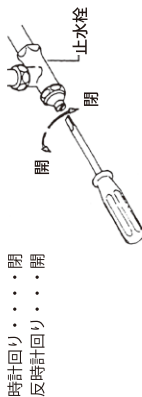
6

故障・異常の見分け方と対処方法

7

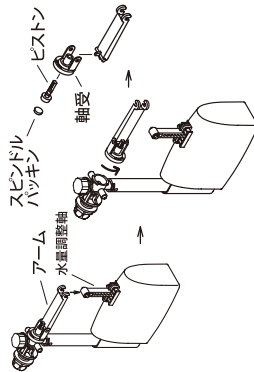
部品の点検、交換のしかた ①

止水栓の開閉方法



ボールタップの点検、部品交換

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗栓付の場合は、手洗栓を外してください。
- ③ ロータンクのフタをはずしてください。
- ④ ロータンクの水を少し抜いてください。
- ⑤ アームと水量調整軸を外してください。
- ⑥ 軸受を反時計回りに90度回転して抜いてください。
- ⑦ スピンドルパッキンに傷やいたみ、ゴミかみ込みが無いかを点検してください。
- ⑧ ゴミかみ込みがある場合は、ゴミを取り除いてください。
- ⑨ 傷やいたみがある場合は、スピンドルパッキンの部品交換してください。



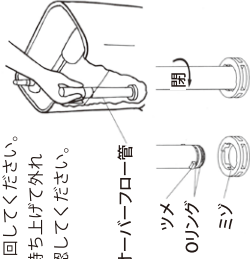
| | |
|--|--|
| ■ 交換部品 A12208 ボールタップDK (手付) | |
| ■ 交換部品 A12038 ボールタップDK (手無) | |
| ■ 交換部品 A44304 スピンドルパッキン (FZ) | |

⚠ 注意

- ・フタを開けたまま長時間放置しないでください。
- ・フタに物を置いたり、荷重をかけないでください。

ロータンクの水抜き

- ① 止水栓を開めてください。
- ② 手洗栓付の場合は、フタをずらしてください。
- ③ ロータンクのフタをあけてください。
- ④ オーバーフロー管を回し、引き抜いてください。水が屋外に排出されます。
- ⑤ オーバーフロー管の取付は、ツメの位置を合せて差し込み、回してください。そのままに持ち上げて外れないことを確認してください。

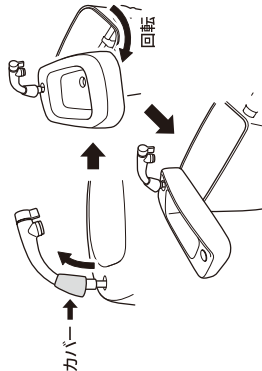


⚠ 注意

差し込む時、Oリングがめくれ
ないように注意してください。

フタのずらし方 (手洗ありの場合)

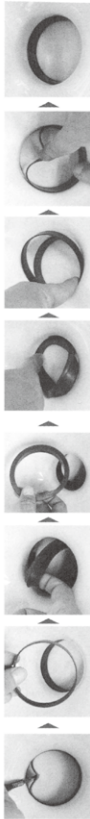
- ① カバーを上にならずします。
- ② フタを少し持ち上げるように回転させながら手前へずらします。
- ③ フタが安定して乗るところに置いてください。



部品の点検、交換のしかた ②

リップゴムの交換

- 消耗品であるフラッパーのリップゴムは、便器を外さず上から交換できます。
- ① マイナスドライバーでリップゴム押さえを外す。
 - ② リップゴムを外す。
 - ③ 溝にはめ込むように新しいリップゴムを取り付ける。
 - ④ リップゴム押さえを取り付ける。
 - ⑤ 水を溜めて漏水の確認をする。
- 漏水した場合は、リップゴムとリップゴム押さえが均等に取り付かないと漏水するようになります。リップゴム押さえを均等になるように手直してください。



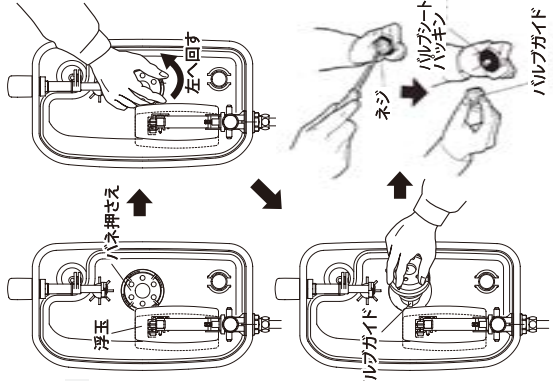
■ 交換部品
A90402
リップゴムG組

リップゴム
amazon で提供中

リップゴム
交換方法を
動画で見る

ロータンクバルブの点検、部品交換

- ① 止水栓を開めてください。止水栓の閉鎖方法▶P9
- ② ロータンクのフタをあけてください。
- ③ ロータンクの水抜きをしてください。ロータンクの水抜き▶P9
- ④ バネ押さえを反時計回りに回し持ち上げて外してください。その時、ボールタップの浮玉が邪魔な場合は、浮玉を外してから行ってください。
- ⑤ クサリを持って引き上げてください。
- ⑥ プラスドライバーでネジを外して、バルブガイドを外してください。
- ⑦ バルブシートパッキンに傷やいたみ、ゴミのかみ込みがないかを点検してください。
- ⑧ 傷やゴミのかみ込みがある場合は、裏返しにして使用してください。
- ⑨ いたんでいる場合は、部品交換してください。



組立は、逆の手順で行ってください。

■ 交換部品
A44608
バルブシートパッキンH



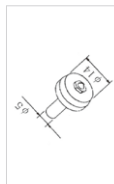
部品の点検、交換のしかた ③

手洗栓コマの交換

- ① 止水栓を開めてください。
- ② ツマミを開いて水を抜いてください。
- ③ キャップを外し、プラスチックバーでネジを外して、吐水栓レバーを外してください。
- ④ 自在スパナでスピンドルボックスを回して外してください。
- ⑤ コマを取り出してください。
- ⑥ 傷やいたみ、ゴミかみがないかを点検してください。
- ⑦ ゴミかみがある場合は、コマを取り除いてください。
- ⑧ 傷やいたみがある場合は、市販のコマと交換してください。

組立は、逆の手順で行ってください。

■ 交換部品



A12801
コマ

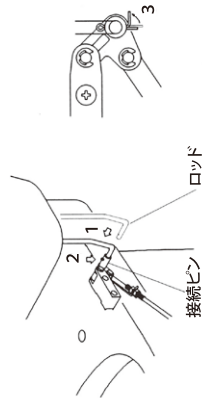


A12322
手洗スピンドル組

ロッドの接続

レバーハンドル側のロータンク下部にロッドを割りピンで接続する場合があります。
もし、割りピンが付いていない場合は、代りに針金等を使って接続してください。
接続しないと、レバーハンドルを操作してもフラップバルブが開きません。

[注意] 必ずロッドが抜けないことを確認してください。
抜けると、作動不良となります。



⚠️ 注意

上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき

⚠️ 注意

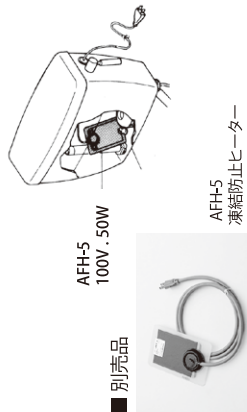
トイレ室内が0℃以下になると、水が凍結して機器が破損する恐れがあります。
次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1. 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。
温水洗浄便座については、付属の取扱説明書をご確認ください。

2. 凍結防止ヒーターの利用

別途凍結防止ヒーターをご使用いただき、ロータンク内に入れて凍結防止してください。
給水管や手洗栓には、市販の水道凍結防止ヒーター（テープヒーター）を巻きつけてご使用ください。



❗️ 必ず実行

- 説明書をよく読んでご使用ください。
- ・ヒーター部をロータンクの水に沈めてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 - ・使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。ロータンク内の水が温まり、タンクフタの裏側から水滴が落ちることがあります。

3. 水抜き

● 水抜き又は水抜き止水栓を取り付けてください。

- ① 水抜き又は水抜き止水栓を開めてください。
- ② 手洗付の場合は、手洗栓のハンドルを回して全開にしてください。
- ③ ロータンクの水抜きを行ってください。

- ロータンクの水抜き ▶ P9 フタのずらし方 (手洗ありの場合) ▶ P9
- ④ 水抜き止水栓の場合、止水栓から水を抜いてください。
 - ⑤ 便器内に溜っている水もレバーハンドル操作をして排出してください。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

● 便器、ロータンクが凍結した場合

40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると便器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますのでご注意ください。

● 給水管、手洗栓等が凍結した場合

お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき



注意 旅行や長期間不在するときは次のことを行ってください。
不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

長期間使用しないとき

- ① 止水栓を開めてください。止水栓の開閉方法▶ P9
- ② ロータンクの水抜きをしてください。ロータンクの水抜き▶ P9

再び使用する場合

- ① ロータンクの水抜きを元に戻してください。ロータンクの水抜き▶ P9
- ② 止水栓を開いてください。止水栓の開閉方法▶ P9
- ③ ロータンクの中に水が溜まったことを確認してください。



暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

| | FZ500 FZ50T | FZ400 FZ40T | FZ300 |
|-------------------|--|--|--|
| 外観寸法 | 幅360mm 奥行760mm (手無)高さ845mm (手付)875mm | 幅360mm 奥行730mm (手無)高さ845mm (手付)875mm | 幅380mm 奥行712mm (手無)高さ745mm (手付)795mm |
| 重量 | 約40kg | 約38kg | 約24kg |
| 便器本体 | 陶器 | | |
| 材質 | ロータンク 陶器 | | PP樹脂 |
| 普通便座・暖房便座 洗浄便座 | PP樹脂 | | |
| 水量 | 約350cc | | |
| ロータンク容量 | 約10ℓ | | 約7ℓ |

交換部品について

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

| 主な取替、修理部品 | 材質 | 使用箇所 |
|------------|--------|--------------------|
| リップゴム | ゴム | フラップ・バルブの水溜め部のパッキン |
| フラップ・ディस्क | プラスチック | フラップ・バルブの水溜め部の弁 |
| バルブシートパッキン | ゴム | ロータンクバルブのパッキン |
| スピンドルパッキン | ゴム | ボールタップのパッキン |

- 製品の保定期間 補修用性能部品の最低保定期間は、製造打ち切り後 6年です。
※保証期間内でも消耗部品の取り替え、および注意事項をお守りいただかなかった場合の修理は有料となります。
- 部品の保定期間 最低保定期間経過後については、当社までご相談ください。

製造番号について

製造番号はロータンクのフタを取った内側にあります。



ロータンク陶器製

ロータンク樹脂製

交換部品



リップゴム
amazon で提供中



A90402
リップゴムG組

リップゴム
交換方法を
動画で見る



A90304
フラップ・ディस्क組D



ボールタップ
スピンドル
交換方法を
動画で見る



A44304
スピンドルパッキン(FZ)

A44608
バルブシートパッキンH

水洗便器についての注意（本水洗に切り替えた場合）

FZ500・FZ400・FZ50T・FZ40Tは別売の本水洗切替部品セットAPH-Z71を使用することで水洗便器に改造できます。

■ 別売品



APH-Z71
本水洗切替部品セットFZ
(FZ500、400用)



▶
本水洗への
切替え方法を
動画で見える

- 節水のためにロータンク内にベットボトルやビンなどの異物を入れないでください。
内部金具に干渉して故障の原因となります。また、洗浄水量不足により、便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。
- 便器に新聞紙・紙おむつ・ティッシュペーパー・生理用品などを流さないでください。必ずトイレットペーパーをご使用ください。
便器詰まり・汚水配管詰まりなどを起こし、排水しきれずに便器からあふれ家財を濡らす原因となります。
- トイレットペーパーの使いすぎにご注意ください。
大量のトイレットペーパーを一度に流すと詰まることがあります。特に、ダブルのトイレットペーパーを使用してしまうと詰まることがあります。その場合、シンクの下のトイレットペーパーをお勧めします。また、その際はトイレットペーパーの使用量を少なくしてください。
- 便器が詰まった場合、市販の吸引器（ラバーカップ）を使って取り除いてください。また詰まったままレバーを操作して洗浄水を流さないでください。
便器が詰まったまま洗浄水を流すと、便器から汚水があふれ家財を濡らします。
- 凍結のおそれのある場合、12ページの「凍結のおそれのあるとき」の処置をしてください。

便槽についての注意

⚠ 警告

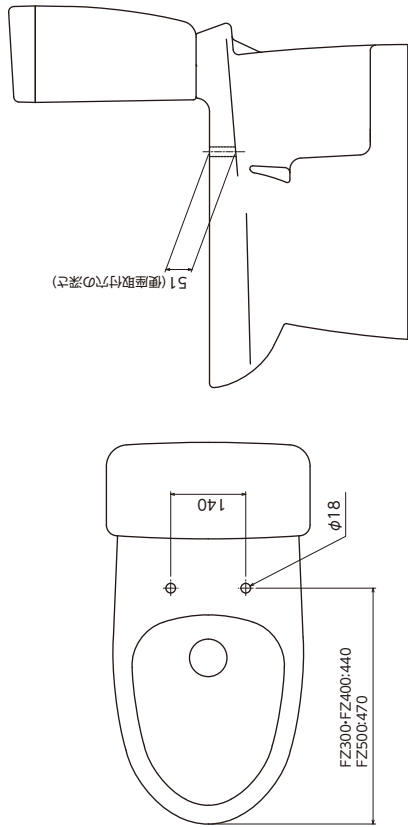
マンホールのフタは、必ず閉めてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にさわらないでください。

⚠ 注意

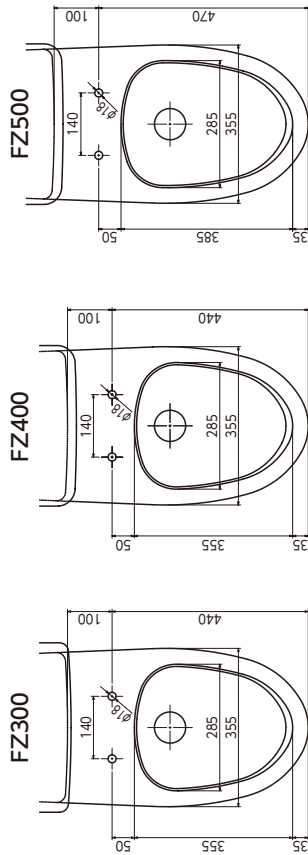
通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。
車などのかかる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。
便槽に圧力がかかり変形したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。
便槽の中へ薬品類、殺虫剤（うじ殺し含む）、洗剤、芳香剤等を投入しないでください。
便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

FZシリーズへの他社洗浄便座の取付けをご検討のお客様へ

FZシリーズは便座のナット取付部分が厚い為、洗浄便座に付属の取付ボルトではお取付できない場合があります。
下記の図面寸法を参考に洗浄便座のメーカーにお問合せください。



■ FZ便器寸法（詳細）

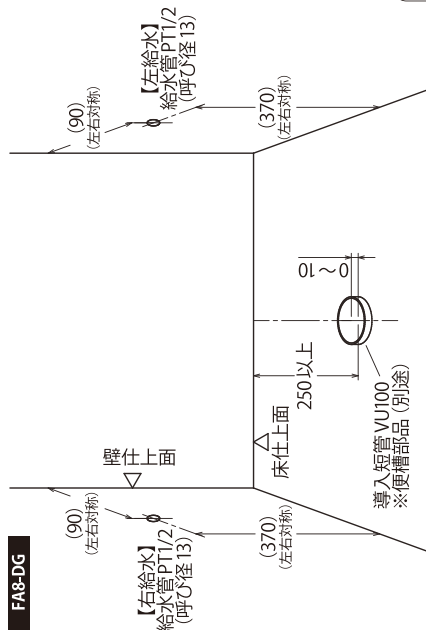


施工の手順

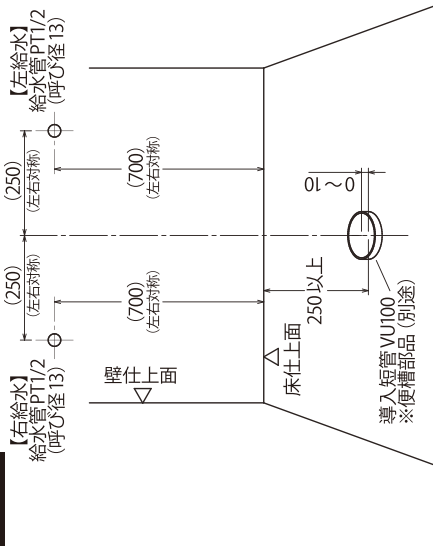
1. 給排水管の位置決め

(単位:mm)

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。

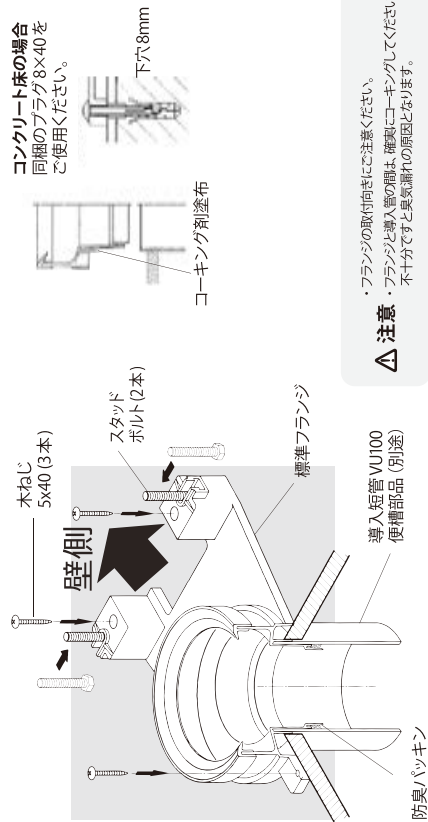


FA8-CFG



2. 床フランジの取付

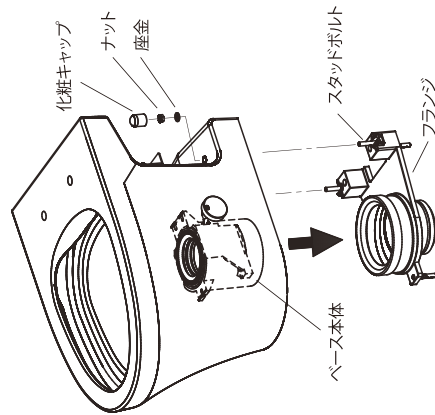
床フランジ、又は改造フランジを床に取り付けてください。



△ **注意** ・フランジの取付向きにご注意ください。
・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
不十分ですと臭気漏れの原因となります。

3. 便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。



△ 注意

- ・ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体とフランジを接触したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

[注意]

便器本体の据え付け後、水平であることを確認してください。水平でない場合は、床フランジが正しく取付できていない可能性があります。



FA8-DG

4. 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けてください。

- ① +ドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。
- ② 電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。取り付ける位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分の2位にねじ込み込んでおきます。次に、電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。
- ③ 基板と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向がありますのでご注意ください。

■右給水の場合

バルブ本体を固定している6本のねじを外し、バルブ本体を反転してねじを締め付けてください。

【注意】 タッピングねじのため、ねじが空転しないよう注意してください。

5. 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本を入れてください。

- ① 電池のフタを親指で少し押しながら横にスライドして開いてください。
- ② 電池ボックスを手前に引き出してください。
- ③ 付属のアルカリ乾電池4本を電池ボックスに入れてください。

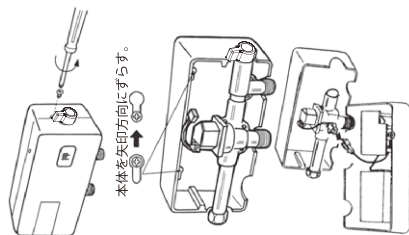
- 【注意】
- ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・乾電池の(+) (-) を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。また、便器への水が放出しになることがあります。

6. フレキシブル管と洗浄ガンの接続

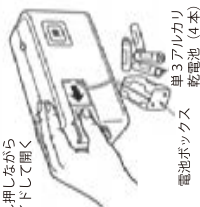
① 電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ1000mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものを请使用ください。

② フレキシブル管の振れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。

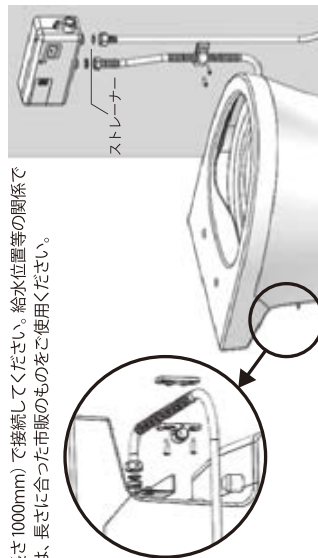
③ 電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。その時、必ずストレーナーを入れてください。



親指で少し押しながら横にスライドして開く



単3アルカリ乾電池 (4本)



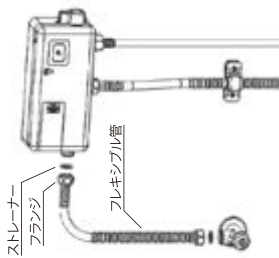
7. 止水栓とフレキシブル管の接続

止水栓と電磁バルブをフレキシブル管で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものを请使用ください。

■FA8-DG-STを購入された場合

- ① 止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ② 止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものを请使用ください。

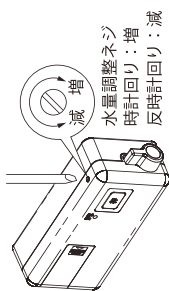
【注意】 電磁バルブとフレキシブル管の間には必ずストレーナーを入れてください。



8. 水量の調節

電磁バルブの水量は350cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

【注意】 ドライバーで強く押ししたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



9. 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

●電磁バルブの押しボタンを押して

- ① フラップの開閉状態
- ② 便器への洗浄水の流れ状態
- ③ 各部の漏水の有無

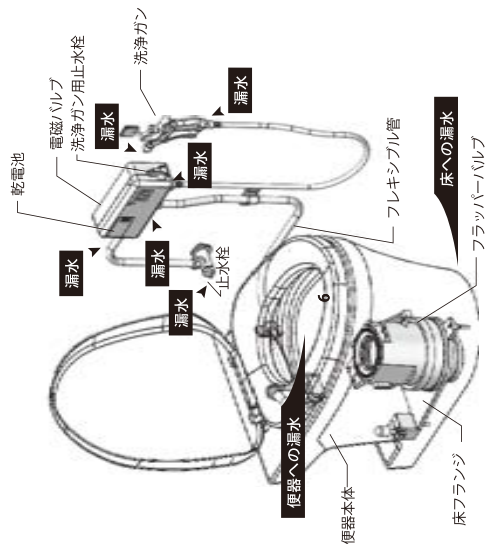
●ウォーターハンマーが発生する場合は、はいずれかの処置を行ってください。

- ① 水道配管の固定箇所を増やしてしっかり固定する。
- ② 便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る。
- ③ ウォーターハンマー防止器を取り付ける。

●洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して

- ① 洗浄ガンの水の出口
- ② 各部の漏水の有無

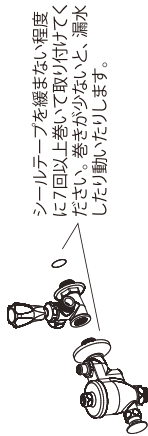
※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず開めてください。



FA8-CFG

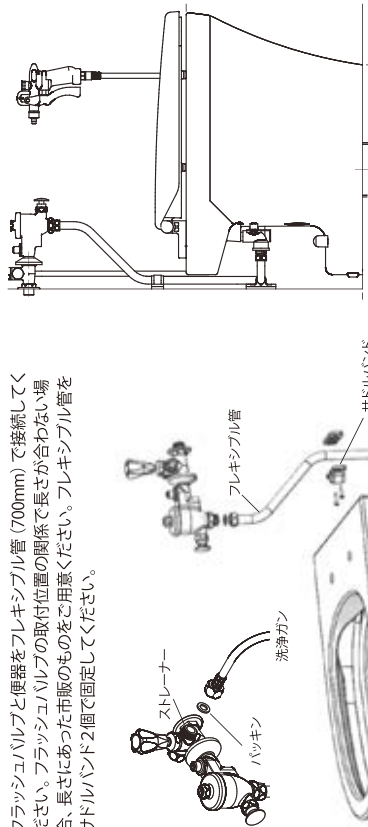
4. 分岐栓とフラッシュバルブの取付

分岐栓とフラッシュバルブにシールテープを巻いて取り付けてください。



5. フレキシブル管と洗浄ガンの接続

フラッシュバルブと便器をフレキシブル管 (700mm) で接続してください。フラッシュバルブの取付位置の関係で長さが合わない場合、長さにあった市販のものをご用意ください。フレキシブル管をサドルバンド2個で固定してください。



【注意】
ストレーナーとバックンは両方とも併用してください。
片方だけではネジが締め上からず漏水します。

■ 便座を取り付ける場合

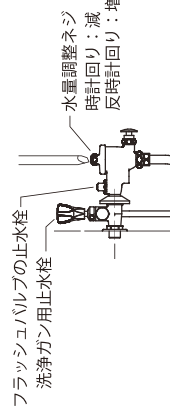
洗浄便座を取り付ける場合の給水は、分岐栓の空いている片方を使用します。その時、カクタイ製の片ナットバルブ (783-001-13) を取り付け、そこへ洗浄ガンを取り付けてください。その片ナットバルブが洗浄ガン止水栓となります。



6. 水量の調節

フラッシュバルブの水量は350cc/回にしていますが、設置場所の水圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

【注意】
ドライバーで強く押し回し、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



7. 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

● フラッシュバルブの押しボタンを押して

① 便器の洗浄状態

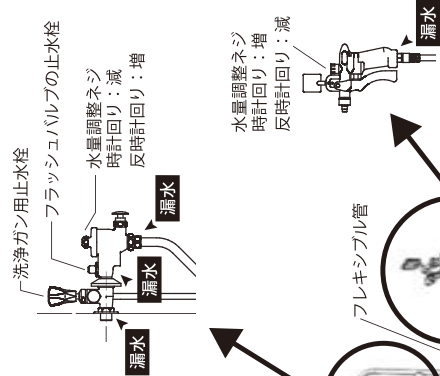
③ 各部の漏水の有無

● 洗浄ガン止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して

① 洗浄ガンの水の出力

② 各部の漏水の有無

※点検後、洗浄ガン止水栓を必ず閉めてください。



フレキシブル管

便器本体

床フランジ

フラッパーバルブ

便器への漏水

床への漏水

! 必ず実行

工事完了後、取扱説明書と保証書を必ず
お客様にお渡しください。

保証書は必要事項を記入してお渡しください。



本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
〒810-0012 TEL092 (521) 1800
サービス 福岡県大宰府市大字北谷1123
〒818-0014 TEL092 (921) 7770

取扱説明書

取扱説明書
ダウンロード

このたびは、当社商品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。



FA8-DG



FA8-CFG

- ご使用前に、この説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 本書は、必要なときすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
- 転居時に残される場合は、本書を次の入居の方へ必ずお渡しください。

もくじ

| | |
|-------------------|----|
| ● 安全にお使いいただくために | 2 |
| ● 各部の名称とその役目 | 3 |
| ● ご使用方法 | 4 |
| ● お手入れのしかた | 5 |
| ● 故障・異常の見分け方と対処方法 | 7 |
| ● 部品の点検、交換のしかた | 8 |
| ● 凍結のおそれのあるとき | 9 |
| ● 長期間使用しないとき | 9 |
| ● 仕様 | 10 |
| ● 消耗部品の取り替え、修理 | 10 |
| ● 便槽についての注意 | 10 |
| ● アフターサービスと保証 | 12 |

安全にお使いいただくために

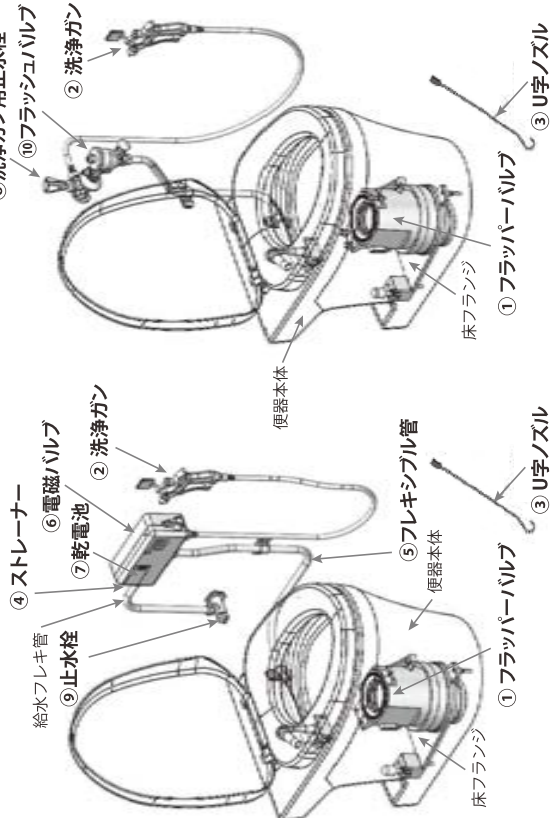
お客様に事故のないように安全にお使いいただくための注意事項を挙げております。
ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

| 用語および記号の説明 | |
|--|---|
| △ 注意 守らないと、ケガをしたり家財に損害を与えることがあります。 | △ 警告 守らないと、火災や重傷を負うことがあります。 |
| ● 必ず実行 必ず行うことを示す記号です。 | ⊘ 禁止 禁止を示す記号です。 |
| ⊘ 禁止 風呂、シャワーなどの水場での使用禁止 | |
| △ 警告 便器の中にタバコの吸ガラを捨てないでください。 火災や漏水の原因、便器の破損やコム、プラスチック部品の変形の原因となります。 | |
| △ 注意 便フタや便座を背もたれや踏台として使ったり、衝撃を加えるような開閉はしないでください。 便フタや便座が割れてケガの原因となります。 | |
| ● 洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン用止水栓）を開めてください。 洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、変形の原因となります。 | ● 洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたり、傷つけたりしないでください。 漏水して変形を招く原因となります。 |
| ● 長期使用しないときは、止水栓を開めて水抜きをしてください。 漏水しないとき、変形を招く原因となります。 | ● 掃除には中性洗剤以外使用しないでください。 トイレ用または食器用の中性洗剤を使用してください。 次のような洗剤、薬品はプラスチック、ゴム部品が変形・変質して便器や便槽の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。 ・酸性、アルカリ性の洗浄剤、漂白剤 ・塩酸、クレンザー、ペンジツ、シンナー類 ・ワックス、殺虫剤 ・その他薬品 お手入れのしかた ▶ P5 |
| ● 凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。 凍結による破損で漏水し、変形を招く原因となります。 | |
| ● 凍結の恐れがあるときは、室内暖房を考慮してください。 凍結による破損で漏水し、変形を招く原因となります。 | |
| このようなおことごとくご注意ください。 | |
| ● 電磁バルブに水をかけないでください。浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿気が多い場所では使用しないでください。 電磁バルブが故障します。また、乾電池が水に濡れると液漏れの原因となります。 | ● 簡易水洗便器は、汲み取り式です。便槽の容量を確保の上、汲み取ってください。 使用している便槽の容量と通常の汲み取り量をお確かめの上、正月やお盆など使用量が多いときは、便槽が一杯になっていないかを点検し、早めに汲み取ってください。汲み取り業務は、役場等にお問い合わせください。 |
| ● 電磁バルブの押しボタンは、強く押し操作してください。 無理に強く押すと、故障の原因となります。また、押しボタンを操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便槽を離れてください。 | ● 給水（水道）は、下記の給水条件の範囲で使用してください。 ・最低必要水圧：0.15MPa（流動時） ・給水温度：40℃以下 ・最高水圧：0.75MPa（静止時） 水圧不足は洗浄力が悪くなり、水圧が高くと機器の故障の原因となります。 ・この便器には、使用水道圧がありません。 使用水道圧範囲：1.5～7.0kg/cm ² 上記条件以下の時、便器の洗浄力が弱くなります。 特に家庭用ポンプを使用されて、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の配管に開いた配管があった場合には水道圧が低くなります。その時は、洗浄ガンを使用してください。 |
| ● 紙は必ず市販のトイレットペーパーを使用してください。 ティッシュペーパーやワディ紙、新聞紙、糊付紙などは水に溶けにくい。また、生肌用品なども便槽へ捨てないでください。 | ● 給水（水道）は、下記の給水条件の範囲で使用してください。 ・最低必要水圧：0.15MPa（流動時） ・給水温度：40℃以下 ・最高水圧：0.75MPa（静止時） 水圧不足は洗浄力が悪くなり、水圧が高くと機器の故障の原因となります。 ・この便器には、使用水道圧がありません。 使用水道圧範囲：1.5～7.0kg/cm ² 上記条件以下の時、便器の洗浄力が弱くなります。 特に家庭用ポンプを使用されて、ポンプから便器までの距離が遠かったり、他の配管に開いた配管があった場合には水道圧が低くなります。その時は、洗浄ガンを使用してください。 |
| ● 長年使用して水が出なくなったら、電磁バルブのアリカリ乾電池を交換してください。 電磁バルブはアリカリ乾電池で稼働しており、乾電池が消耗すると水が出なくなります。乾電池の交換 ▶ P8 | ● 便器の中に酸液をかけないでください。 コム、プラスチック部品の変形の原因となります。 |
| 幼児、お年寄り、身体のご不自由な方が使用するとき、周知の方が常に注意をしてください。 | |

各部の名称とその役割

FA8-DG

FA8-CFG



| | |
|------------|---|
| ① フラップバルブ | 汚物の排出弁と水を溜めて便槽からの臭気を遮断する役目をします。フラップバルブは、オモリのバランスで開閉します。 |
| ② 洗浄ガン | 洗浄水だけでは流れにくい汚物やトイレペーパーを流す役目と掃除のとき使うと便利です。 |
| ③ U字ノズル | 洗浄ガンの先端のストレートノズルを交換してフラップバルブの裏の掃除をします。 |
| ④ ストレナー | 水道管内のゴミや砂を取り除いてボールタップやロータंकに水を送る役目をします。 |
| ⑤ フレキシブル管 | 電磁バルブから出た水はここを通って便器に流れます。 |
| ⑥ 電磁バルブ | 押しボタンを押すと、電磁弁が開いて洗浄水を流す役目をします。 |
| ⑦ 乾電池 | 電磁バルブは、乾電池で動作します。単3アルカリ乾電池×4本 |
| ⑧ 洗浄ガン用止水栓 | 洗浄ガンの元栓の役目をします。洗浄ガン使用後は必ず閉めてください。 |
| ⑨ 止水栓 | 便器の元栓の役目と水勢を調整する役目をします。水を止めるときに、この止水栓を閉めてください。 |
| ⑩ フラッシュバルブ | ボタンを押すと、一定量の洗浄水を流して止まります。 |

ご使用方法

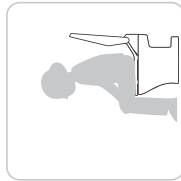
ご使用前に

便器を取り付けて最初に使用されるときは、「止水栓が開いている」ことを確認してください。



禁止
必要以上に水を使わないでください。
便器から排出された洗浄水や汚水は、便槽に溜まります。必要以上に洗浄水を使ったり、便器から雑排水等を捨てるとその分排水量が増えますのでご注意ください。

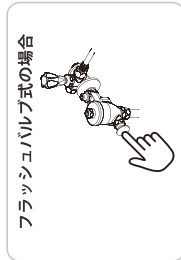
便器の使い方



便座に座って用を足してください。



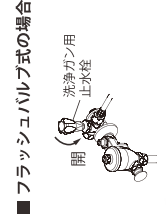
ご使用後、電磁バルブの押しボタンを軽く押してください。洗浄水が流れてきます。洗浄水だけでは汚物やトイレペーパーが流れないときは、洗浄ガンを使用してください。



フラッシュバルブのボタンを押して直ぐに離してください。洗浄水が止まるのを確認してから便器を離してください。

洗浄ガンの使い方

- ① 洗浄ガン用止水栓を反時計回りに回して開いてください。
- ② 洗浄ガンを持ってください。
- ③ 洗浄面をめがけ、押しボタンを押して洗浄してください。
- ④ 洗浄ガン使用後は、必ず洗浄ガン用止水栓を締めてください。
- ⑤ 洗浄ガンを一度空打ちして水を抜いた後、元に戻してください。



ご使用後に



注意 押しボタン操作後、洗浄水が止まるのを確認してから便器を離れてください。

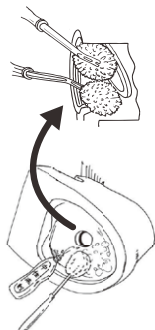


必ず実行
暖房便座や温水洗浄便座付の場合は、それぞれに付いている説明書をよく読んでご使用ください。

お手入れのしかた

1. 便器とフラッパーのお手入れ

中性洗剤を使って便器とフラッパーを掃除してください。



2. 便座のお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。

汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず固く絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



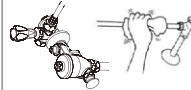
3. 電磁バルブのお手入れ

柔らかい布で水拭きしてください。汚れのひどいときは、100倍程度に薄めた中性洗剤をつけ、固く絞ってから拭いてください。そのあと必ず絞った柔らかい布で水拭きして洗剤を拭き取ってください。



4. フラッシュバルブや金具のお手入れ

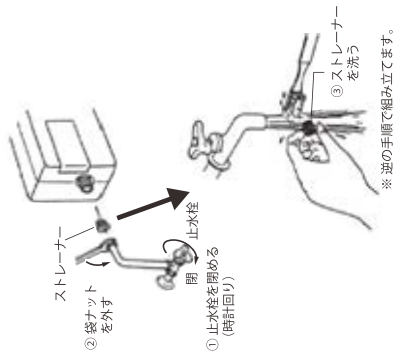
フラッシュバルブや金具はステンレスやメッキをしています。放っておくとサビが生じます。柔らかい布で拭いてください。



5. ストレーナーの掃除

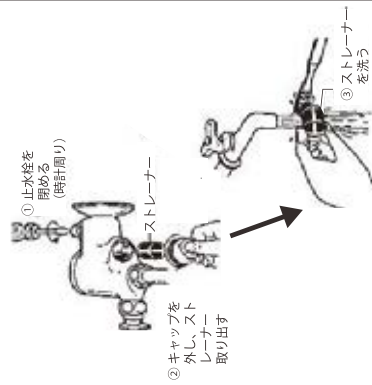
■ 電磁バルブ式の場合

電磁バルブにゴミや異物が入らないように、給水口にストレーナーを付けています。電磁バルブの押しボタンを押しても洗浄水の出が悪いときは、次の要領でストレーナーを掃除してください。



■ フラッシュバルブ式の場合

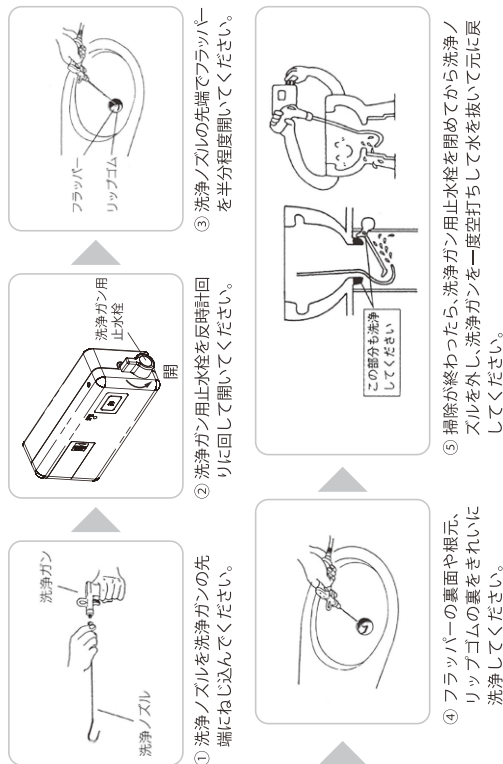
フラッシュバルブにゴミや異物が入らないようにストレーナーを付けています。洗浄水の出が悪いときは、止水栓を止めてからストレーナーを掃除してください。



お手入れのしかた

6. 便器のお手入れ

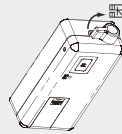
フラッパーの裏面や回転部分に汚物が付着すると、フラッパーのバランスが悪くなり、フラッパーの開き放しや開かなくなる原因となります。洗浄ガンと洗浄ノズルを使って週に1〜2回程度掃除してください。



[注意] 洗浄ガンのボタンを押すとノズルの先端から水が出ますので、水がかからないように注意してください。

△ 注意

洗浄ガン使用後は、必ず元栓（洗浄ガン止水栓）を閉めてください。洗浄ガンが破損したり、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。



故障・異常の見分け方と対処方法

| 現象 | 型式 | 原因 | 処置方法 | 参照 |
|--------------------|--------|--------------------------|--|----|
| 便器に水が出ない | 共通 | 断水している。 | 近くの蛇口で確認してください。 | P8 |
| | 共通 | 止水栓が閉まっている。 | 止水栓を開いてください。 | |
| 床に水漏れしている | 共通 | ストレーナーがゴミ詰まりしている。 | ストレーナーの掃除をしてください。 | P5 |
| | FA8-DG | 乾電池が切れている。 | 新しい単3アルカリ乾電池を交換してください。 | P8 |
| | FA8-DG | 電磁バルブ内の配線が接続されていない。 | 配線を接続してください。 | P8 |
| 便器への水が止まらない | 共通 | - | 止水栓を閉めてメンテナンスを依頼してください。 | P8 |
| | FA8-DG | 乾電池が＋－逆向きに付いている。 | すぐに止水栓を閉めてください。 正しい向きで単3アルカリ乾電池を取り付けてください。 | |
| 床に水漏れしている | 共通 | 小便が飛び散っている。 | 床を拭いて小便がどうかの確認してください。 | P8 |
| | 共通 | 便槽が一杯になっている。 | 便槽のマンホールを開けて確認し、汲取り業者に依頼してください。 | |
| フラッパーから汚物を排出しない | 共通 | 便器と便槽の配管詰まり。 | 市販のパイプクリーナー等で詰まりを取り除くか、お買い上げ店又は専門業者に連絡してください。 | P6 |
| | 共通 | 導尿管の空気の逃げ道がない。 | 臭突が付いていない、付いていても塞がっていない。無臭便槽からの改造のとき臭突を取り外しているなど、臭突を設けて導尿管の空気の逃げ道を作ってください。 | |
| フラッパーが開きっぱなしになっている | 共通 | フラッパーの裏面や回転部分に汚れが付着している。 | 洗浄ガンにU字ノズル（洗浄ノズル）を付けて掃除してください。 | P6 |
| | 共通 | 風量の大きい排気扇(臭突ファン)が付いている。 | 排気扇の電源を抜いて使用しないか、風量を70m³/h以下のものに切り替えてください。 | |
| フラッパーが開かない | 共通 | フラッパーの裏面や回転部分に汚れが付着している。 | 洗浄ガンにU字ノズル（洗浄ノズル）を付けて掃除してください。 | P6 |
| | 共通 | 水だけでは開きません。 | 正常：汚物やトイレトベーパーがあるとき開きます。 洗浄に影響のない程度に止水栓を絞ってください。 | |
| 洗浄後に大きな音がする | 共通 | 水壁作用（ウォーターハンマー） | 水道配管の固定が少ないと発生しやすいため、施工業者に依頼してください。 | |
| | 共通 | | | |

- 上記処置で直らない場合は、**止水栓を閉めたまま**にしてお買い上げ店または当社アフターサービスまでご連絡ください。
- 処置や修理が終わるまでの間は、**止水栓を閉めたまま**にして、ご使用を控えてください。
やむを得ず使用する場合は、バケツ等で便器に直接流してください。

部品の点検、交換のしかた

止水栓の開閉方法

電磁バルブ内の配線の接続

乾電池の交換

止水栓の調整

乾電池の交換

止水栓の調整

乾電池の交換

止水栓の調整

注意 上記の部品交換以外の修理、分解、改造は、修理技術者以外絶対に行わないでください。

凍結のおそれのあるとき



注意 トイレ室内が0℃以下になると、水が凍結して機器が破損する恐れがあります。次の中から適切な処置を選んで実施してください。

1. 室内暖房

トイレ室内を暖房してください。
温水洗浄便座については、付属の取扱説明書をご確認ください。

2. 電磁バルブ、フラッシュバルブの水抜き

電磁バルブ、フラッシュバルブの水抜きを次の手順で行ってください。

- ① 止水栓を開めてください。止水栓の開閉方法▶P8
- ② 電磁バルブ、フラッシュバルブの押しボタンを2～3回押し水抜きをしてください。
- ③ 洗浄ガンのボタンを2～3回押し水抜きをしてください。

3. 凍結防止ヒーターの利用

給水管等は、市販の水道凍結防止ヒーター（テープヒーター）を巻きつけてご使用ください。

凍結した場合

まず、トイレ室内を暖めてください。

- **便器が凍結した場合**
40℃程度のぬるま湯を注ぎ、徐々に解凍してください。
熱湯を注いで急激に暖めると陶器が破損したり、プラスチックが破損、変形しますのでご注意ください。
- **電磁バルブ、フラッシュバルブが凍結した場合**
トイレの室内を暖めてください。
- **洗浄ガン、給水管が凍結した場合**
お湯に浸した雑巾等をあてて解凍してください。

長期間使用しないとき



注意 旅行や長期間不在するときは次のことを行ってください。
不在中に漏水等が起こった場合、水浸しになり家財を濡らす原因となります。

長期間使用しないとき

- ① 止水栓を開めてください。止水栓の開閉方法▶P8
- ② 電磁バルブ、フラッシュバルブの押しボタンを押して水抜きをしてください。
- ③ 洗浄ガンのボタンを押して水抜きをしてください。
- ④ 洗浄ガン用止水栓を開めてください。洗浄ガンの使い方▶P4

再び使用する場合

- ① 止水栓を開いてください。止水栓の開閉方法▶P8



暖房便座、温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気製品をご使用の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

仕様

| | FA8-DG | FA8-CFG |
|--------|--|----------|
| 便器寸法 | 幅375mm×奥行550mm×高さ370mm | |
| 排水芯 | 250mm以上 | |
| 洗浄方式 | 電磁バルブ | フラッシュバルブ |
| 重量 | 25.5Kg | |
| 材質 | 便器本体：衛生陶器 | |
| 給水条件 | 最低必要水圧：0.15MPa(流動時) 最高水圧：0.75MPa(静水時) 給水温度：40℃以下 | |
| 周囲使用温度 | 0～40℃ | |
| 洗浄水量 | 約350～500cc | |
| 電源 | 単3アルカリ乾電池×4本 | - |

消耗部品の取り替え、修理

長年のご使用やお手入れが不十分な場合、部品の取り替え、修理が必要となります。

【FA8-DG（電磁バルブ式の場合）】単3アルカリ乾電池…乾電池は、乾電池交換ランプ点灯、もしくは1年を目安に交換してください。

※保証期間内でも消耗部品の取り替え、および注意事項をお守りいただけなかった場合の修理は有料となります。

- 部品の保有期間 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
最低保有期間経過後については、当社までご相談ください。

便槽についての注意



マンホールのフタは、必ず閉めてください。
また、ロック機構のあるものは、必ずロックをしてください。
転落事故の原因となります。また、お子様にはさわらないでください。



注意
通常の埋設工事を行った便槽の上には、車などの重量物をのせないでください。
車などがのる場合は、特殊工事が必要となりますので専門の工事業者にご相談ください。
便槽に圧力がかかり破損したり、マンホールが割れて転落事故の原因となります。
便槽の中へ薬品類、殺虫剤（うじ殺し含む）、洗浄剤、芳香剤等を投入しないでください。
便槽に変形、亀裂が発生して漏水の原因となります。

【カラン式】 洗浄水が小便器から飛び出すときは元栓を飛び出さないように調整するか、飛び出さないように回してお使いください。

ストローレ小便器 GT-5 (中型)・3 (小型)・2 (幼児用) 取扱説明書

安全にお使いいただくために

お客様に事故のないよう安全にお使いいただくための注意事項をあげておきます。使用前に、この説明書をよくお読みください。

小便器の中にタバコの吸殻を捨てたり、酸液をかけないでください。
小便器が詰まって汚水があらふ床を濡らしたり、小便器の破損やゴム、プラスチック部品の変形の原因となります。

構造には中性洗剤以外使用しないでください。
構造に、アルカリ性洗剤、漂白剤、塩酸、シンナー、ベンジン、シンナー、油、うがい剤、殺菌剤、その他薬品は、部品が変形や変質して故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

長期間使用しないときは、止水栓を閉めてください。
漏水したとき、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れがあるときは、室内暖房、水抜きなどを行ってください。
凍結による破損や漏水し、家財を濡らす原因となります。

電磁バルブ式の場合、押しボタンは強く押してください。
また、操作後、洗净水が止まることを確認してください。

電磁バルブ式とセンサー式の場合、バルブに水をかけないでください。
バルブが故障したり乾電池が液漏れする恐れがあります。

センサー式の場合、センサー部（センサー）にタバコを押し付けたり、汚したキズ付けたりしないでください。
誤動作して水が放出しになります。

簡易水洗として使用する場合は、便槽の容量を確認の上、汲み取ってください。
使用量が多いときは、便槽が一一杯になつていないかを点検し、早めに汲み取ってください。汲み取り業者は、役場等にお問合せください。

所定の使用水道圧範囲内でご使用ください。
器具の故障や水の放出しの原因となります。

ご使用方法

フラッシュバルブ式



止水栓
止水栓で水の勢いを調整してください。
特に洗净水が小便器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

水量調整
水量調整
反時計回り増
時計回り減
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

【注意】
押しボタンを押さずにください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

電磁バルブ式

止水栓
止水栓で水の勢いを調整してください。
特に洗净水が小便器から外に飛び出すときは出ないように調整してください。

水量調整
水量調整
反時計回り増
時計回り減
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

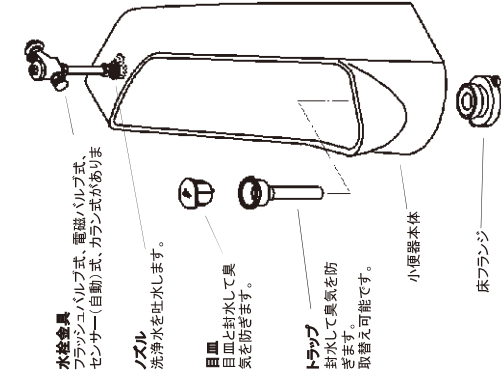
【注意】
押しボタンを押さずにください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

水量調整
水量調整
反時計回り増
時計回り減
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

水量調整
水量調整
反時計回り増
時計回り減
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

水量調整
水量調整
反時計回り増
時計回り減
押しボタンを連続して押さないでください。
連続して押すと、洗净水が出なくなることがあります。
これは、異常ではありません。
5秒経ってから押すと流れます。

各部の名称とその役目



水栓金具
フラッシュバルブ式、電磁バルブ式、センサー（自動）式、カラン式があります。

ノズル
洗净水を出水します。

目皿
目皿と封水して臭気を防ぎます。

トラップ
封水して臭気を防ぎます。

小便器本体
床フランジ

床フランジ
小便器本体

目皿と封水して臭気を防ぎます。

トラップ
封水して臭気を防ぎます。

小便器本体
床フランジ

故障・異常の見分け方と処置方法

まず、故障や異常に気付いたらすぐに止水栓を閉めてください。

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|-------------------|---|---|
| 水が出ない | 止水栓が閉まっている ホタンを連続して押している ストレーナーの掃除 乾電池切れ（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続していない（電磁バルブ・センサー式の場合） センサー式の場合は、早く立ち去ってください。 | 止水栓を開く 5秒以上間隔を空けて押すようにする ストレーナーの掃除 乾電池が切れると、電磁バルブ式はLEDランプ点滅、センサー式はLEDランプ点滅します。乾電池を交換 配線を接続 センサーの前に7秒以上立ってください。 |
| 水が止まらない | 水圧が低い（フラッシュバルブ式の場合） 小穴詰り 乾電池が＋－逆についている（電磁バルブ式の場合） バルブのバネのゴミ詰り 排水トラップの詰り、汚れ | 0.04MPa以下の場合、カラン式にしてください。 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 正しく乾電池を取り付ける 分解掃除が必要。止水栓を閉めメンテナンスを依頼 目皿とトラップの交換 |
| 汚水を排水しない 臭気かする | 小便の飛び散り 水響作用（ウォーターハンマー） | 床を拭いて小便かどうかの確認 洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る 水道配管の固定が少なく発生しやすいため点検する |

部品の点検、交換のしかた

乾電池の交換方法 電磁バルブ式

左右のネジを外してバルブケースを開け、新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。



（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

（＋）ドラバールでネジを外してください。
ネジを外すと、中の電池ボックスを取り出し、乾電池の（＋）（－）を逆についている乾電池を交換してください。新しい単3アルカリ乾電池×4本と交換してください。

仕様

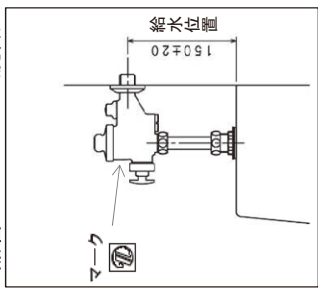
| 品名 | ストローレ小便器/中型 | ストローレ小便器/小型 | ストローレ小便器/幼児用 |
|--------|------------------|------------------|------------------|
| 品番 | GT-5FJ | GT-5DS | GT-5SS |
| 水栓のタイプ | GT-5FJ | GT-5DS | GT-5SS |
| 本体の材質 | プラスチック | プラスチック | プラスチック |
| 本体の大きさ | 幅380×奥行380×高さ920 | 幅380×奥行380×高さ920 | 幅380×奥行380×高さ920 |
| 排水構造 | トラップ構造 | トラップ構造 | トラップ構造 |
| 電源 | - | 単3アルカリ乾電池 | - |

小便秘器用

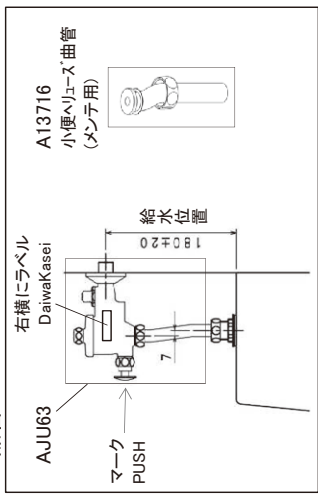
既設フラッシュバルブから品番:ASD63への交換

フラッシュバルブの品番をマーク・ラベルで確認し、陶器から給水管中央までの給水位置高さを計測してください。

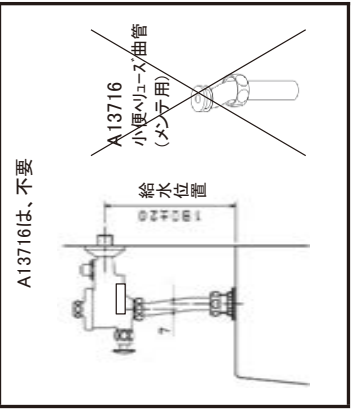
品番:AUF-3-SD (廃番)



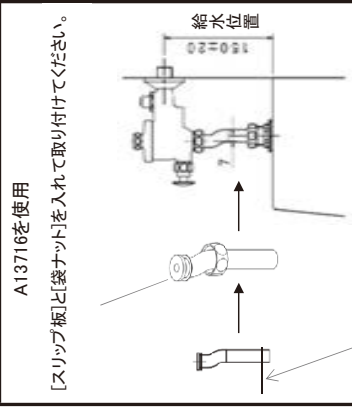
品番:ASD63 =JU63+A13716



給水位置が180±20mmの場合



給水位置が150±20mmの場合



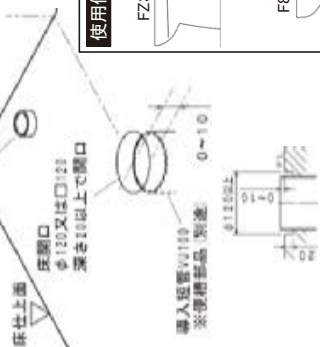
長いときは、下をカットしてください。
A13716は、黄銅メッキパイプ、ゴム部品、

カット方法は、パイプカッターや金切りノコを使用してください。

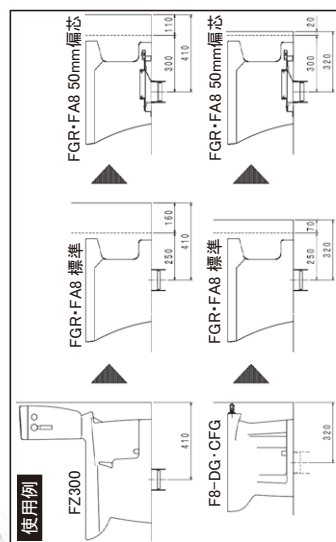
給排水管の位置決めと改造フランジの取付

止水栓(元栓)を確実に締めてください。
 導入短管・給水管の位置を決めてください。

FGR用オーバーフロー排水管
 (FA8にはありません)



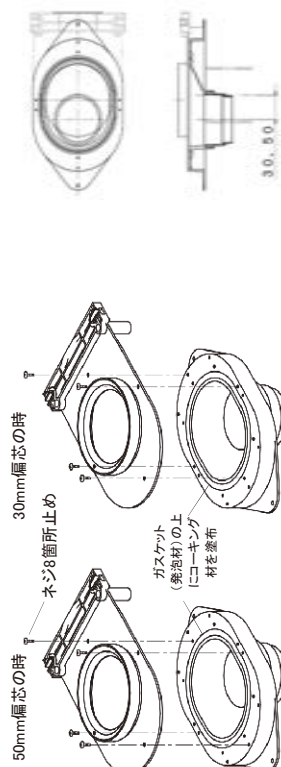
〔注意〕
 ・便器設置後の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。
 平らでない便器のガタツキの原因となります。



-10~0は、床仕上面より
 下に立下る寸法です。

改造フランジの偏心量決め 工場出荷時は、50mm偏心で組み立てています。

偏心量を決めた後、漏水防止としてフランジ上と下の間にコーキング材(シリコンシーラント)を充填してからネジを止めてください。床の平面が出ていないときフランジが戻って漏水する恐れがあります。



改造フランジの取り付け



〔注意〕
 ・フランジの取付向きにご注意ください。
 ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。
 不十分だと漏水の原因となります。

改装部品ジャバラセット

施工説明書

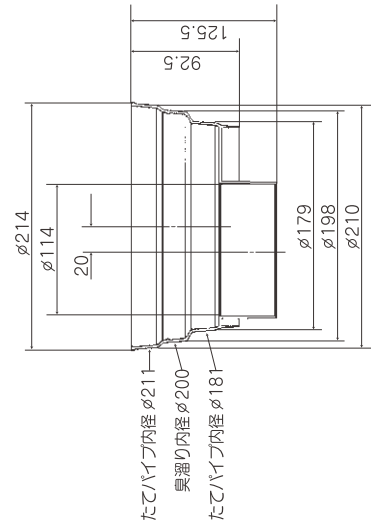
BCV-24

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

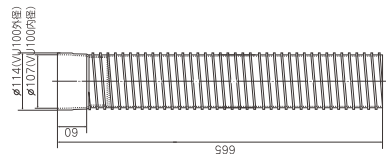
この説明書をよく読んで正しく施工してください。

部品寸法

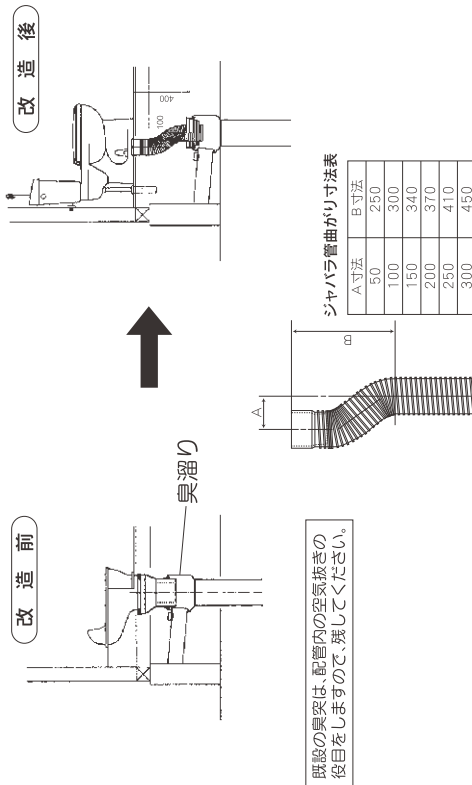
改装用ソケットB



改装用ジャバラ管



施工例



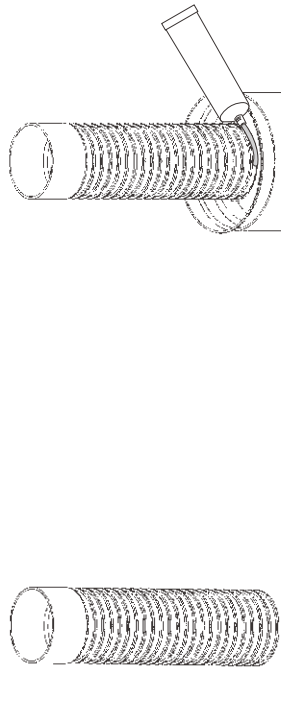
既設の臭突は、配管内の空気抜き役目をするので、廃してください。

ジャバラ管曲がり寸法表

| A寸法 | B寸法 |
|-----|-----|
| 50 | 250 |
| 100 | 300 |
| 150 | 340 |
| 200 | 370 |
| 250 | 410 |
| 300 | 450 |

施工の手順

- 1 接着せずに仮組みしてください。そのとき、便器と同梱の床フランジも使ってください。
ジャバラ管の長さ、改装用ソケットBの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
※改装用ソケットBは臭い溜りの中へ入れて取り付けもできます。
- 2 ジャバラ管を必要な長さに切断してください。
[注意] ジャバラ管の抜け防止のため、改装用ソケットBに100mm程度差し込むようにしてください。
- 3 改装用ソケットBを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。
- 4 改装用ソケットBにジャバラ管を差し込んでください。
[注意] ジャバラ管と改装用ソケットBの間を必ずコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。
行わないと、臭気の原因となります。
- 5 便器と同梱の床フランジを取り付けるとき、床フランジとソケット(ジャバラ管)の間をコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。臭気の原因となります。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】
臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が悪くなったり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がることがあります。
そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。



Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL 092(521)1800

改装部品ジャバラセット

施工説明書

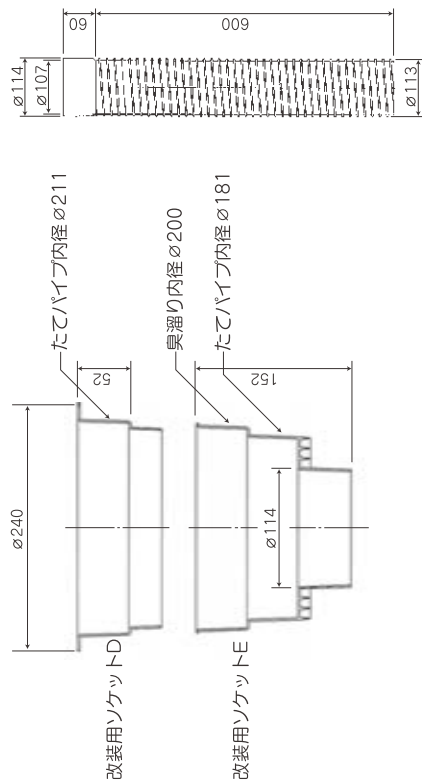
BCV-25

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

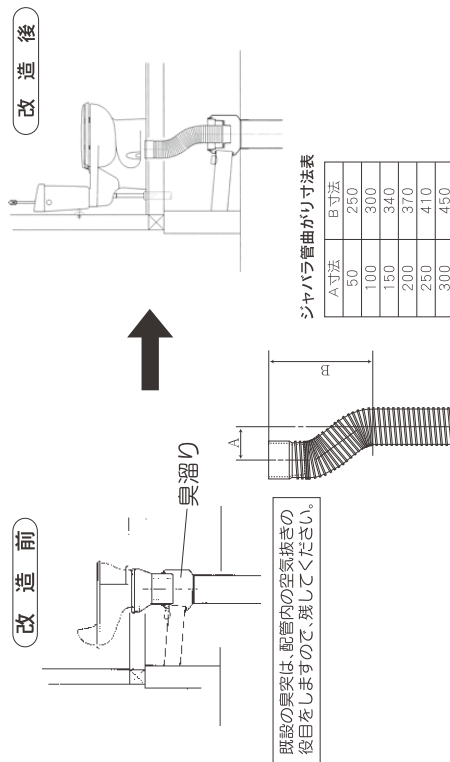
この説明書をよく読んで正しく施工してください。

部品寸法

改装用ジャバラ管

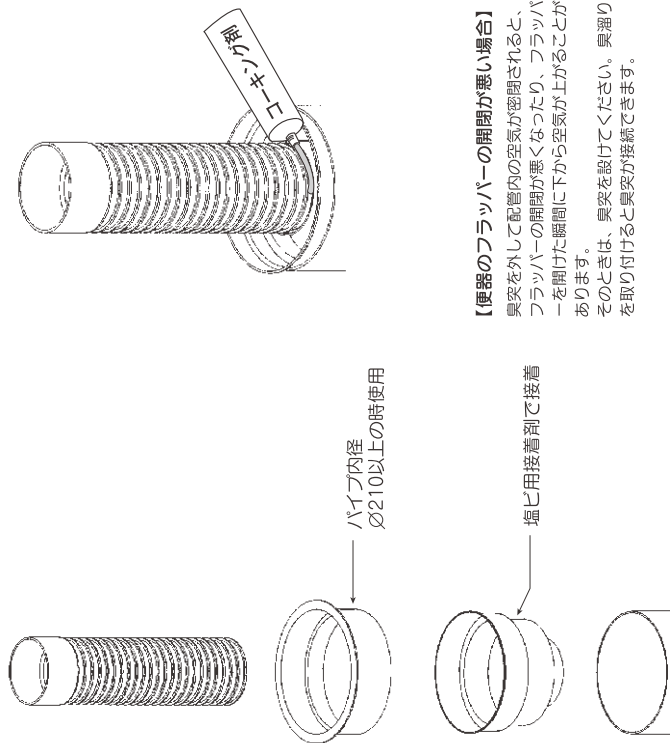


施工例



施工の手順

- 1 接着せずに仮組みしてください。そのとき、便器に同梱の床フランジも使ってください。
【注意】 ジャバラ管の長さ、改装用ソケットの取付箇所(臭溜りまたは、たてパイプ)を決めてください。
- 2 ジャバラ管を必要な長さに切断してください。
【注意】 ジャバラ管の抜け防止のため、改装用ソケットに100 mm 程度差し込むようにしてください。
- 3 改装用ソケットを臭溜りまたは、たてパイプに接着取付してください。
- 4 改装用ソケットにジャバラ管を差し込んでください。
【注意】 ジャバラ管と改装用ソケットの間を必ずコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。
行わないと、臭気の原因となります。
- 5 便器に同梱の床フランジを取り付けるとき、床フランジとソケット(ジャバラ管)の間をコーキング剤(シリコーンシーラント)でシールしてください。臭気の原因となります。



【便器のフラッパーの開閉が悪い場合】
臭突を外して配管内の空気が密閉されると、フラッパーの開閉が悪くなったり、フラッパーを開けた瞬間に下から空気が上がることがあります。
そのときは、臭突を設けてください。臭溜りを取り付けると臭突が接続できます。



Daiwa Kasei
ダイワ化成株式会社
本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
〒810-0012 TEL 092(521)1800

洗 浄 ガ ン 取 扱 説 明 書

このたびは、洗浄ガンをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
本製品は便器の洗浄用として使用するものです。



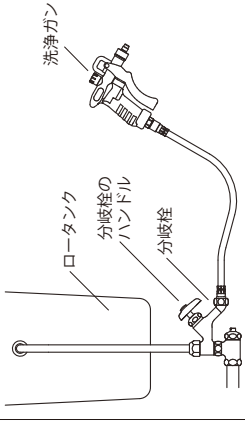
APH-190B
洗浄ガン(分岐栓付き)



APH-190N
洗浄ガン(分岐栓なし)

□ 安全にお使いいただくために

洗浄ガン使用後は、必ず分岐栓のハンドル
を閉めてください。
洗浄ガンが破損し漏水した場合、
家財を濡らす原因となります。
分岐栓が確実に止水していることを確認し
てください。ゴミ噛みなどで分岐栓から漏
水がある、洗浄ガンに水圧がかかり、凍
結破損する恐れがあります。



洗浄ガンのホースを無理に引っ張ったり
ねじったり、曲げたり、傷つけたりしな
いでください。漏水して家財を濡らす原
因となります。

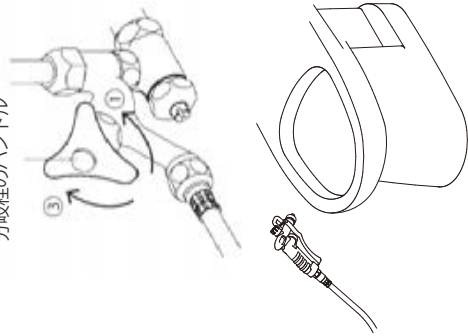


水道圧 0.7MPa 以上の場所では
使用しないでください。
漏水して家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、破損防止のため、
分岐栓のハンドルを開けてトリガーを押し
て洗浄ガン内の水抜きをしてください。

□ トイレ使用後の洗浄に使用するとき

分岐栓のハンドル

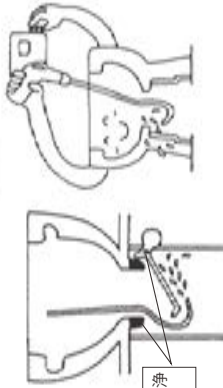
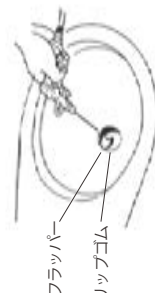
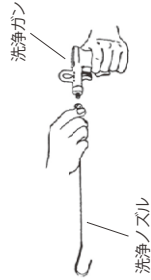


- ① 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して開いてください。
- ② 洗浄ガンのトリガーを押して洗浄してくだ
さい。
- ③ 使用後は、必ず分岐栓のハンドルを閉め
てください。
- ④ 洗浄ガンを一度空打ちして水抜きをした
あと、もとに戻してください。

□ 便器の掃除に使用するとき

ご 使 用 方 法

- ① 洗浄ノズルを洗浄ガンの先端にねじ込
んでください。
- ② 分岐栓のハンドルを反時計回りに回して
開いてください。
- ③ 洗浄ノズル先端でフラップパーを半分ほど
開いて、裏面や根本、リップゴムの裏を
きれいに洗浄してください。
- ④ 掃除が終わったら、必ず分岐栓のハンドル
を閉め、洗浄ガンから洗浄ノズルを外し、
洗浄ガンの水抜きしてからもとに戻して
ください。



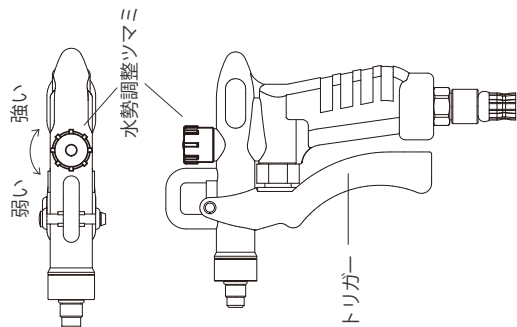
〔注 意〕 洗浄ガンのトリガーを押すと
ノズルの先端から水が出ますので、水が
かからないように注意してください。

この部分も洗浄
してください

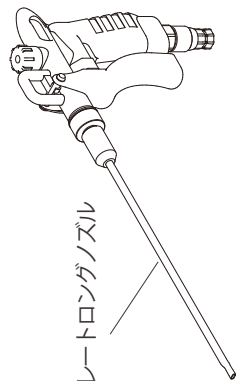
□ 使い方とオプションについて

で 使 用 方 法

で使用されるところの水圧に合わせて、水勢の調節を行ってください。
水勢は、時計回りに回すと強く、反時計回りに回すと弱く調節することができます。



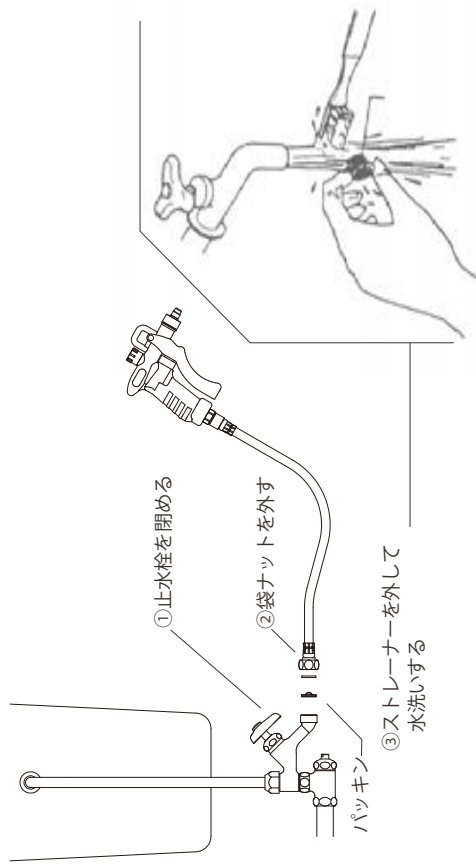
ストレーロングノズル



□ お手入れ方法

で 使 用 方 法

洗浄ガンの中にゴミや異物が入らないように、ストレーナーを付属しています。洗浄ガンの水の出が悪いときは、次の要領で掃除してください。



□ 特に注意していただくこと

接続部からの漏水がないことを確認してください。
漏水すると、床が水浸しとなります。

□ 取付方法

- ① 止水栓に分岐栓を取り付ける。
- ② 給水し管を必要な長さに切って分岐栓とボールタップに接続する。
- ③ 洗浄ガンを分岐栓に接続する。
- ④ 洗浄ガンを引っかけるフックを適切な場所に取り付ける。
- ⑤ 止水栓と分岐栓のハンドルを開き、漏水の有無や洗浄ガンのトリガーを押して異常の有無を点検する。
洗浄ガンの水の出方が強いときは、水勢調節ソマミを絞って調節する。

※水栓が電磁/バルブ式の場合は、電磁/バルブの説明書をお読みください。

本書は、必要なときにすぐに取り出せるところに大切に保管してください。
また、紛失された場合は、当社までご請求ください。

販売

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金 1-13-1

TEL 092 (521) 1800

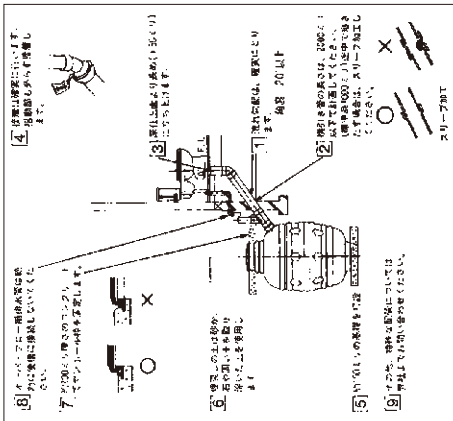
1502 A66142

便槽施工上の注意事項

施工上の注意

1. 埋設場所の確認
(1) 地下湧水がないか
(2) 重や重物が近づくにないか
(3) 車や通る場所、駐車する場所でないか
(4) 基礎下にないか
2. 配管勾配より埋設深さの確認
(1) 配管勾配は通常3.5°で計画してください。弊社フリンラッシュとの組合せなら配管の配20.0°まで可能です。
～弊社フリンラッシュ水溜め機構による排水状態を確認～
(2) 敷地形状や土かぶり深さを参考に機構の固定、設置場所やその他大きな荷重が想定される場合はそれぞれの保護をともに、より強い便槽をおすすめします。
3. 基本的な施工上の注意
(1) 基礎スラブは必ず打設してください。
(2) 便槽は落下しないように持ちも等を使用してゆっくり降ろしてください。
(3) シンナーなど工事用の溶剤等を便槽の中に捨てないでください。
(4) お客様には必ず取扱説明書をお渡しください。
※詳しくは施工説明書をお読みください。

■施工のポイント



配管相立の注意

- 組立作業の前に、槽の水平面および槽の中に異物が落ちていないことを確認してください。
- 配管を接続し、槽本体に取り付け、長さおよび取り付け角度を確認（合印）してください。
- 接筒部塗布部分が汚れてしまうと、接着効果がうすれ、漏水の原因になります。必ず布できれいに拭き取ってください。
- 接筒部は「ヘラ」等で必ず両面に均等に引きのばしてください。樹化ビニル用接着剤は速乾性ですので、作業を迅速に行ってください。
- 導入口を使用しない箇所は、キャップを取りはずし、接筒部を塗布しキャップを戻してください。
- 基礎の穴（導入口パイプを通した箇所）をモルタルで補填し導入口パイプを確実に固定してください。
- 埋め戻しの場合は接筒箇所が確実に固まらなければ行ってください。
- 槽本体の上に100mmの厚さでコンクリートを敷き、マンホールの枠を確実に止めてください。
- 槽の中に半分以上の水を入れて、埋め戻し土砂が落ちつき固まるまで槽本体の浮き上がり防止してください。

使用上の注意

- タバコの火を消さないでください。
- 有機溶剤系の洗浄剤、殺虫剤、芳香剤はパイプを浸しますので使用しないでください。
- 槽内込み取り後は曲リパイプ内に「ケツ」5杯分の水を入れてください。（無臭トイレ）
- 汲み取りは月に1度行ってください。
- ご使用前に取扱説明書をご一読ください。

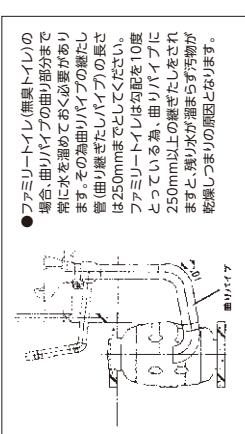
配管上の注意

- 施工にあたっては、「施工説明書」に従ってください。
施工説明書の内容と異なる施工をされずと建物の建築確認がおりない場合がありますので十分ご注意ください。
- 配管材料は、JS K6741に準じた硬質塩ビ管としてください。
 - 肉厚汚水管（導入口）2ミリ以上（ブロー機手前1.6ミリ以上）排気管（臭突管）1.5ミリ以上（ブロー機手前1.2ミリ以上）
 - 導入口管が長くなる場合、導入口管の長さには1500ミリ以内でご検討ください。補引管内でのエルボの使用は避けてください。
 - 下配の場合、必ず臭突を設置してください。
 - ① 汚水たて管の長さが1.5メートル以上になる場合（2階配管等）
② 小便器を取り付ける場合
 - 排気管の先端には、排気トップ（排気扇、ベンチレーター）を設け、その下端は窓や換気口の開口部の上端から5600ミリ以上の高さに取り付けてください。
 - 汚水管、排気管の接続部は確実に接続し、十分な耐久性及び気密性を保つように施工してください。工事完了後は約100ℓの水を流し、配管からの漏水がないか通水検査を確認してください。
 - 無臭トイレの曲リパイプの延長は、250ミリ以上にならないように、計画してください。（フアミリートイレ）
- ※その他、特殊な配管については、弊社までお問い合わせください。

※寒冷地対策

- 特に寒気のきびしい所で、導入口管が屋外配管になる場合は、立管上部の曲り部分が凍結することがあります。保温断熱材等での保温対策も実施してください。
 - 便槽は、凍結深さ以下になるよう深埋してください。但し、深埋に際しては、「便槽設置上の注意」を参照してください。
 - 降雪地域では、大雪量の便槽をおすすめします。
- 導入口管・導入口短管の管径は、呼び径100以上にしてください。
- 導引管の管長（実長）は、2m以内、勾配20以上にしてください。
- エルボの個数は、極力少なくしてください。
- 施工する場合、まず各部分の確認をおこない仮組し寸法を十分チェックしてから接着作業にかかってください。
- 接筒剤の塗布部分が汚れてしまうと、接着効果がうすれ漏水の原因になりますので必ず布でふき取ってください。
- 接筒剤はヘラ等で必ず受口、差し込み口両面に均一に引き伸ばし作業は迅速に行ってください。

■タンク埋設上の注意



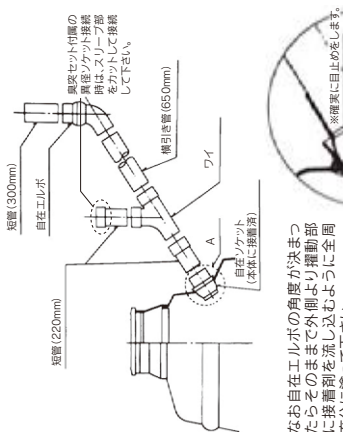
簡易水洗トイレ専用便槽NV-R 工事説明書

1 位置決めと穴掘り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、円形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。

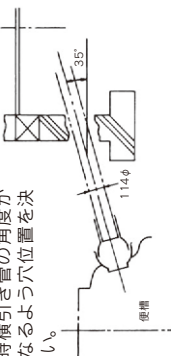
●埋め込み寸法

| 型式 | L (mm) | H (mm) | D (mm) |
|------|--------|--------|--------|
| 500 | 1300 | 1200 | 1200 |
| 600 | 1450 | 1350 | 1350 |
| 800 | 1570 | 1450 | 1450 |
| 1000 | 1600 | 1600 | 1600 |



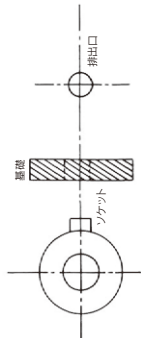
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



3 便槽の据えつけ

便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。



4 ワイ、横引き管、短管の接続

ワイ (220mm S付き短管を現場で接着して下さい) 横引き管 (650mm) 自在エルボ、短管 (300mm) を自在ソケット (本体に接着済) に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。

短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも、接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りますから寸法に注意して下さい。

注) 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
便室内に注意書を貼って下さい。

7 注意事項

- 工事は専門工事店におまかせ下さい。
- 工事説明書通り工事をして下さい。
- 工事前に槽に割れないか、部品の不足がないか確認して下さい。
- 接続部分はよれをよくふきとり接着剤を両方に十分付けて下さい。
- 便器取り付け前に横引き管内の異物を全部取り除いて下さい。

簡易水洗トイレ専用便槽VE-R 工事説明書

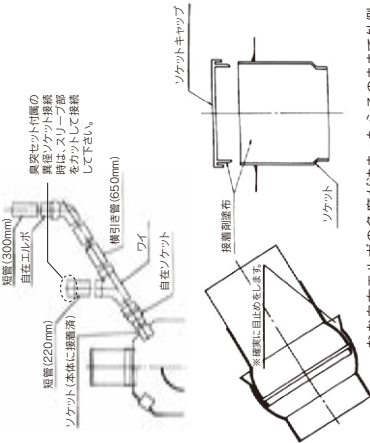
1 位置決めと穴掘り

便槽と便器との配置を決め第1図のように、長方形の穴をほります。穴の底に厚み100mm程度コンクリートを水平に打ってください。

●埋め込み寸法

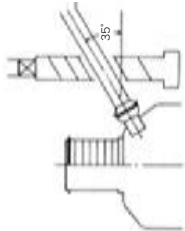
| 型式 | L (mm) | D (mm) | H (mm) |
|------|--------|--------|--------|
| 600 | 1,550 | 900 | 1,180 |
| 800 | 1,850 | 900 | 1,180 |
| 1000 | 2,300 | 900 | 1,180 |

※横引き管を通すため、図のように基礎に穴をあける。



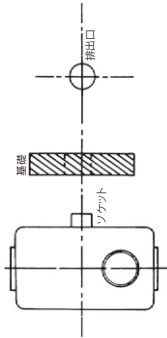
2 横引き管貫通のための基礎穴あけ

横引き管の通路に基礎がある場合、基礎に穴をあけます。その時横引き管の角度が35度になるよう穴位置を決めて下さい。



3 便槽の据えつけ

便槽本体を穴の中へおろし、ソケットの方向が便器の排出口の中心に一致するように槽を水平に保ちながら、位置を決めます。



4 ワイ、横引き管、短管の接続

自在ソケット、ワイ (220mm S付き短管を臭突管接続方向へ現場で接着して下さい)、横引き管 (650mm)、自在エルボ、短管 (300mm) をソケット (本体に接着済) に仮接続し、便器との位置を確認して必要な所に印をつけ切断します。短管の長さも同様にして切断します。

短管の寸法は、簡易水洗便器洋式、和式により異なりますので注意して下さい。仮接続した時よりも、接着剤を塗って接続した時の方が若干深く入りますから寸法に注意して下さい。

注) 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
便室内に注意書を貼って下さい。

5 埋めもどし

便槽及び横引き管部は、直接石等硬い異物が当たらないように注意して、軟い土で周囲を固め、掘り土をもどしてゆきます。便槽と横引き管の下側にも十分土がはいるよう注意して下さい。また横引き管には力がかからないようにして下さい。(埋もどしは出来れば砂を使用して下さい。)

6 仕上げ

全部の部品を接続し終ると、便槽の上にマンホール蓋をはめ周囲を厚さ100mm程度にコンクリートで固めて仕上げます。地盤の軟弱な所や地下水の高いところに設置される場合は、施工が終ったら、槽の1/2程度まで水を入れて槽の浮上りを防止して下さい。短管には、簡易水洗便器を取付けるまで、セメント・モルタル・レンガなどが入らないようにカバーをかかして下さい。

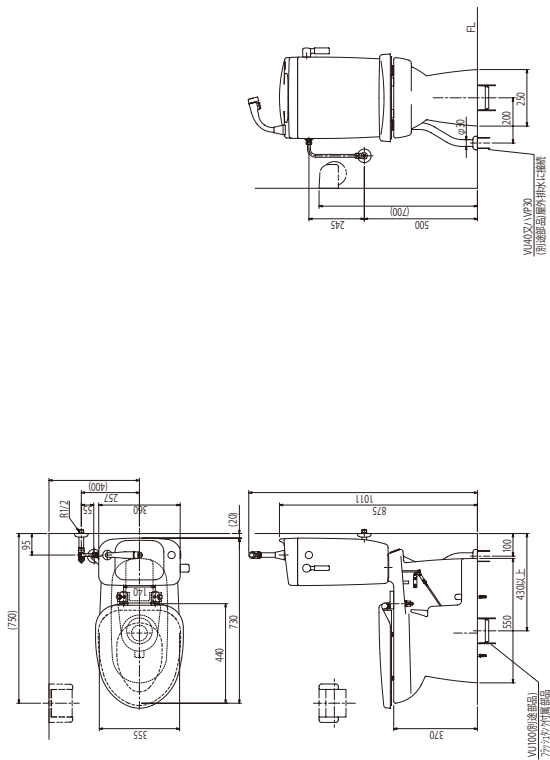
7 注意事項

- 工事は専門工事店におまかせ下さい。
- 工事説明書通り工事をして下さい。
- 工事前に槽に割れないか部品の不足がないか確認して下さい。
- 接続部分はよれをよくふきとり接着剤を、両方に十分付けて下さい。
- 便器取り付け前に横引き管内の異物を全部取り除いて下さい。

注) 施工する前に水張り検査を必ずして下さい。
便室内に注意書を貼って下さい。

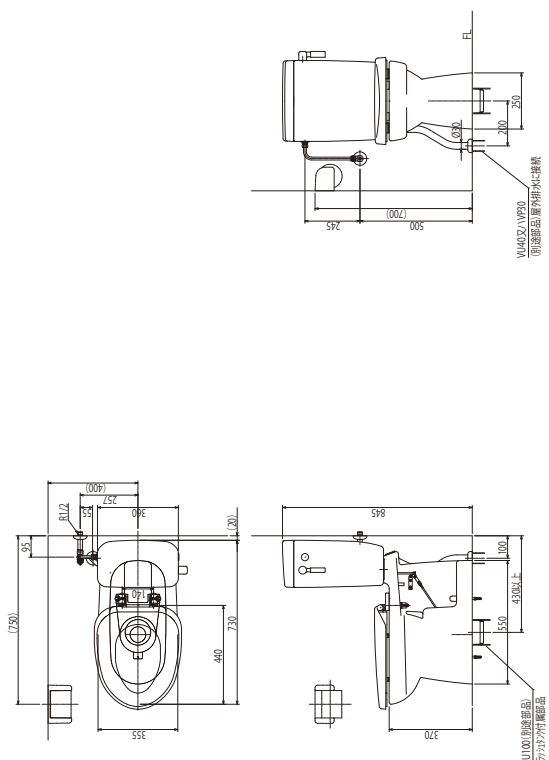
FZ400-H07

手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



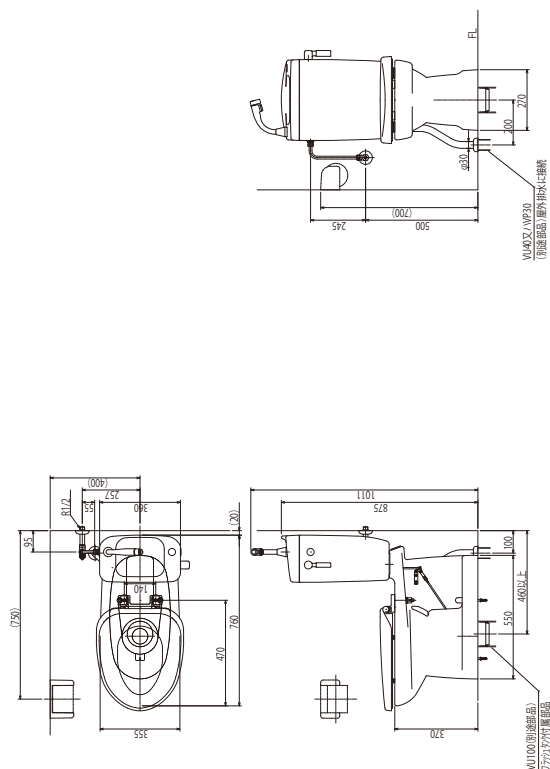
FZ400-N07

手洗なし 普通便座(57付) 陶器製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



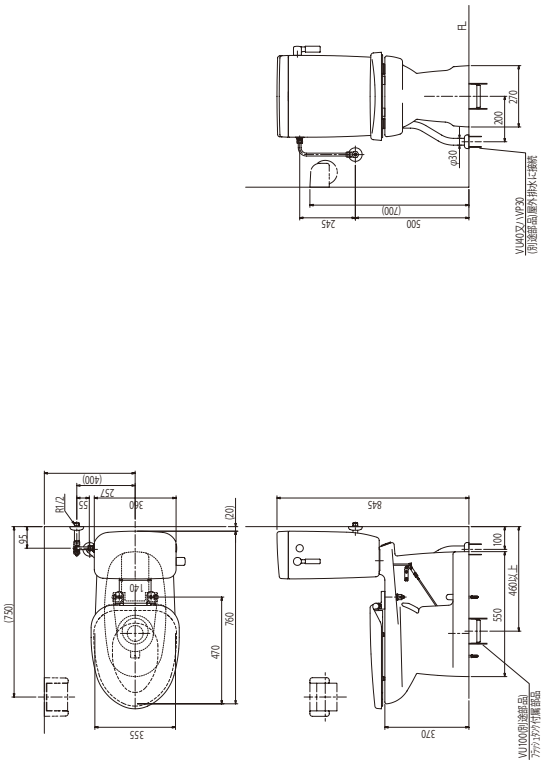
FZ500-H07

手洗付 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



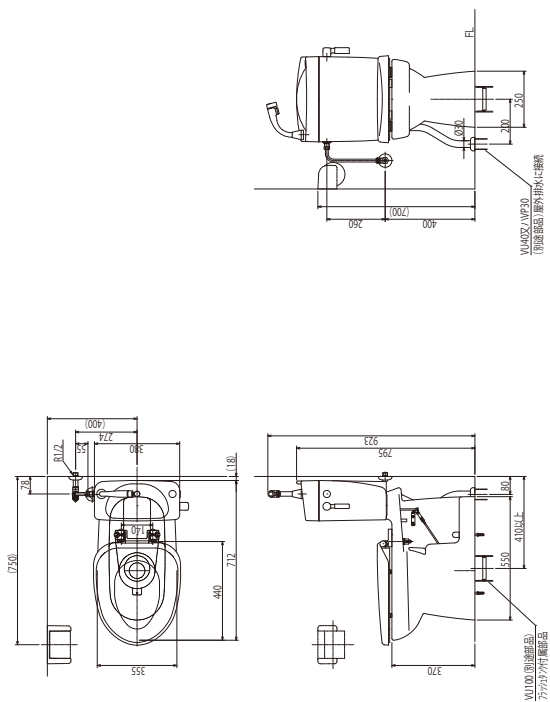
FZ500-N07

手洗なし 普通便座(57付) 陶器製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
※ペーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



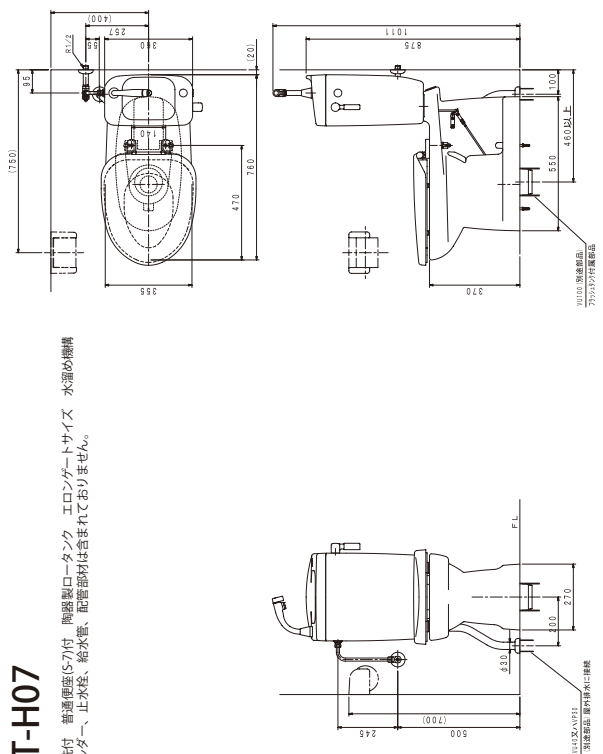
FZ300-H07

手洗付 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



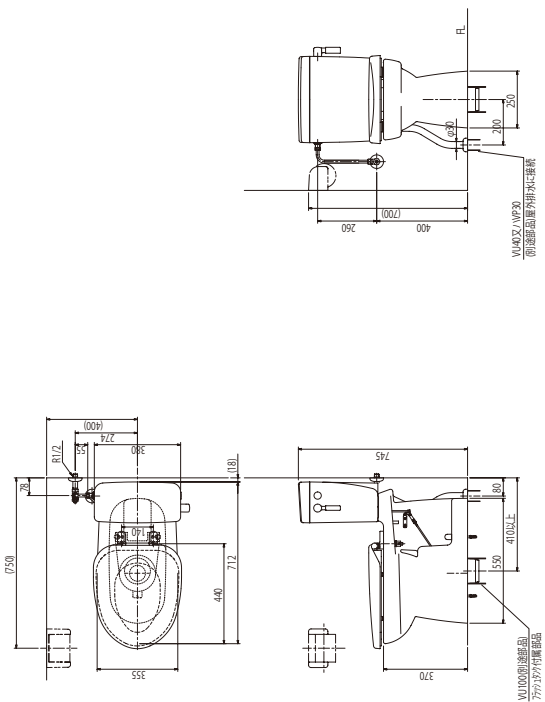
FZ50T-H07

定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶製ロータンク エロンゲートサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



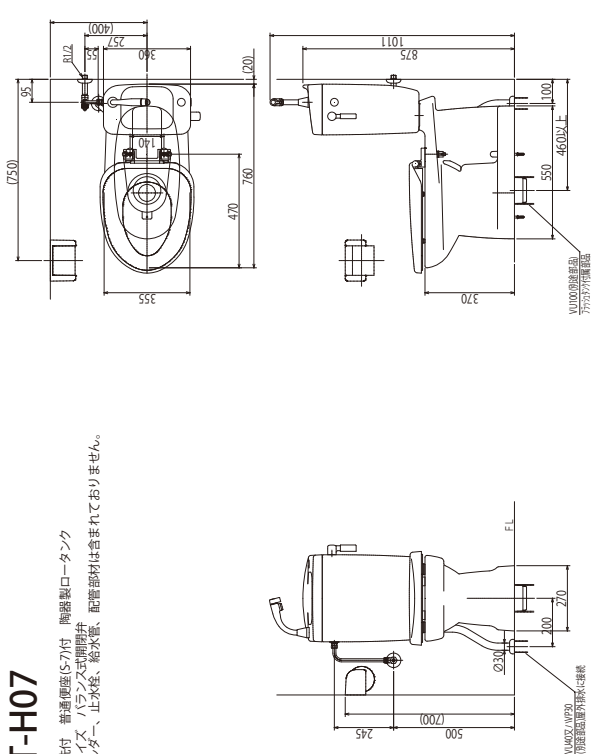
FZ300-N07

手洗なし 普通便座(57付) 樹脂製ロータンク レギュラーサイズ 水溜め機構
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。

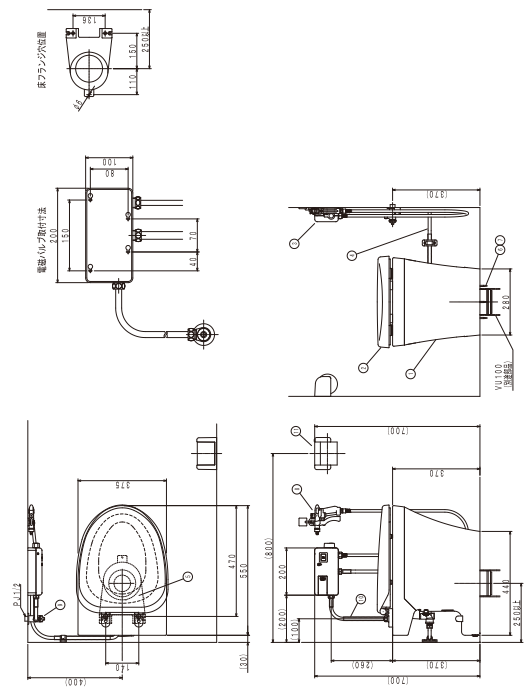


FA-5T-H07

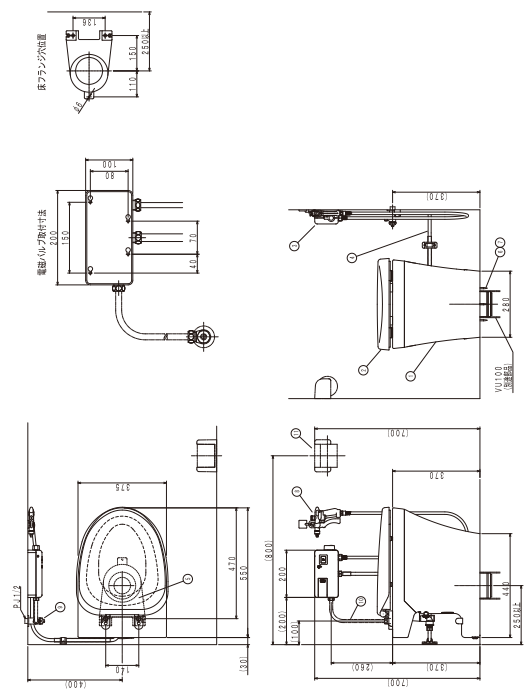
定置洗浄 手洗付 普通便座(57付) 陶製ロータンク
エロンゲートサイズ バランス式開閉弁
※ベーパーホルダー、止水栓、給水管、配管部材は含まれておりません。



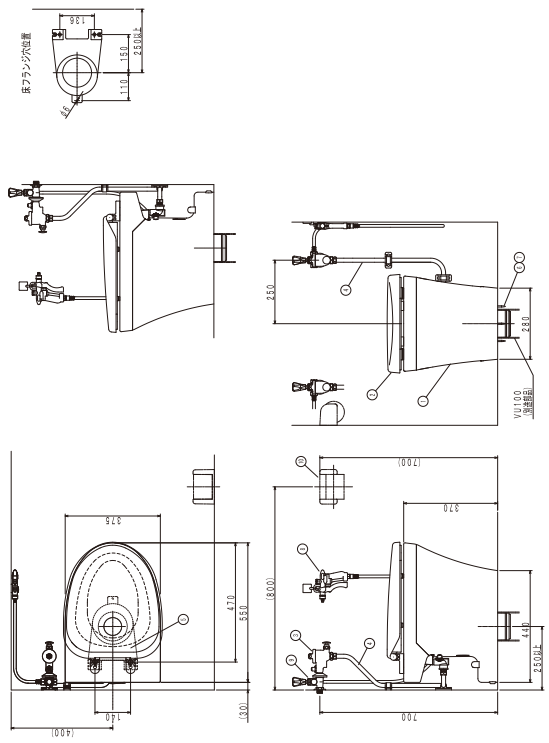
FA8-DG07-ST 電磁バルブ式 洗浄ガン付 普通便座 (S-7)付 エロンゲートサイズ バランス式 開閉弁 止水栓・ペーパーホルダー付 属 ※配管部材は含まれておりません。



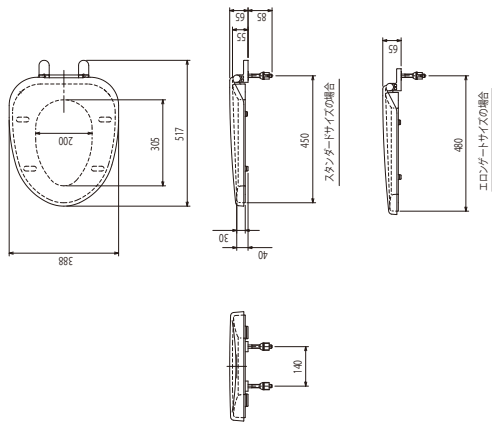
FA8-DG07-LT 電磁バルブ式 洗浄ガン付 普通便座 (S-7)付 エロンゲートサイズ バランス式 開閉弁 ※配管部材は含まれておりません。



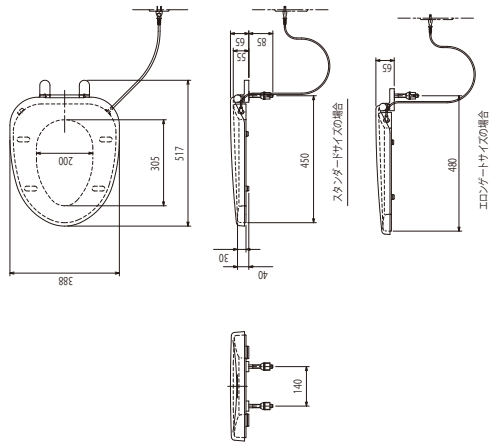
FA8-CFG07 フラッシュバルブ式 洗浄ガン付 普通便座 (S-7)付 エロンゲートサイズ バランス式 開閉弁 ※配管部材は含まれておりません。



S-7 普通便座

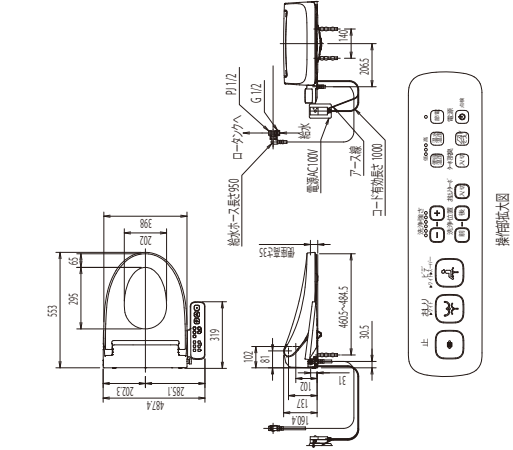


SW-7 暖房便座



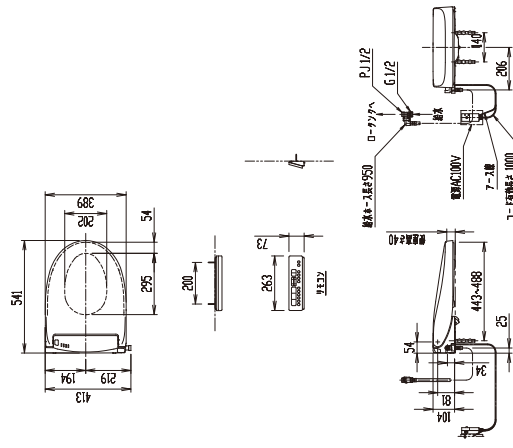
DCW-KB32A

温水洗浄便座



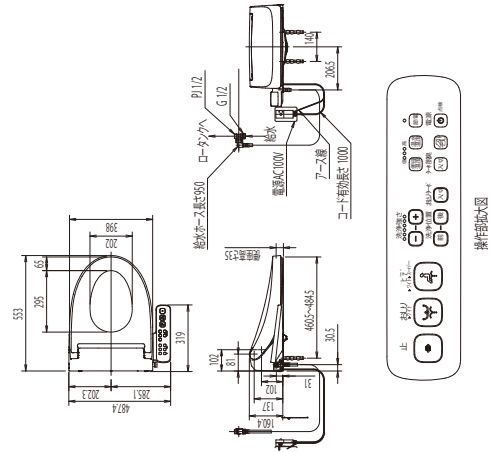
DCW-EA24A

温水洗浄便座



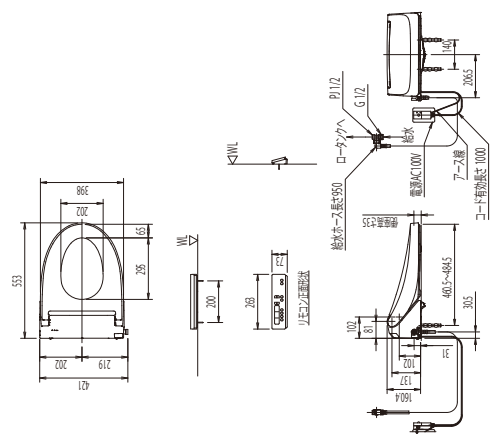
DCW-KB31A

温水洗浄便座



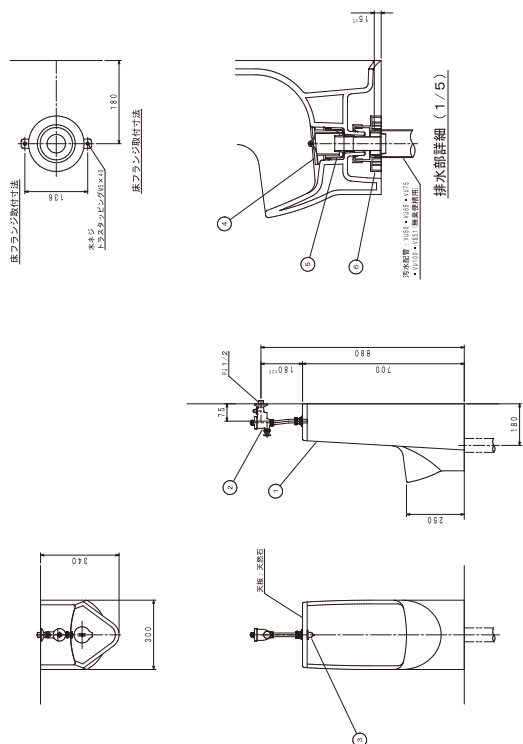
DCW-KA31A

温水洗浄便座



GT-2FJ

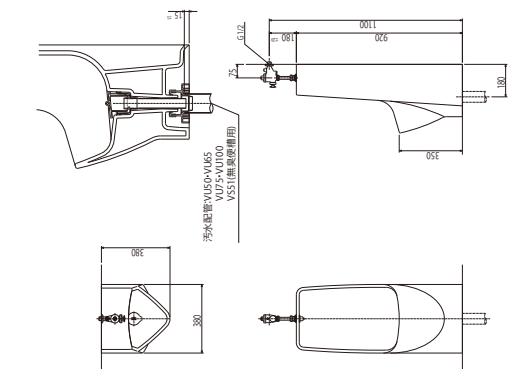
幼児用ストロー小便器
フラッシュバルブ式



GT-5FJ

ストロー小便器 (中型) フラッシュバルブ式

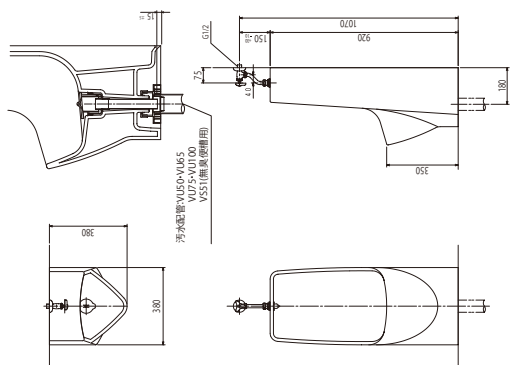
※配管部材は含まれておりません。



GT-5K

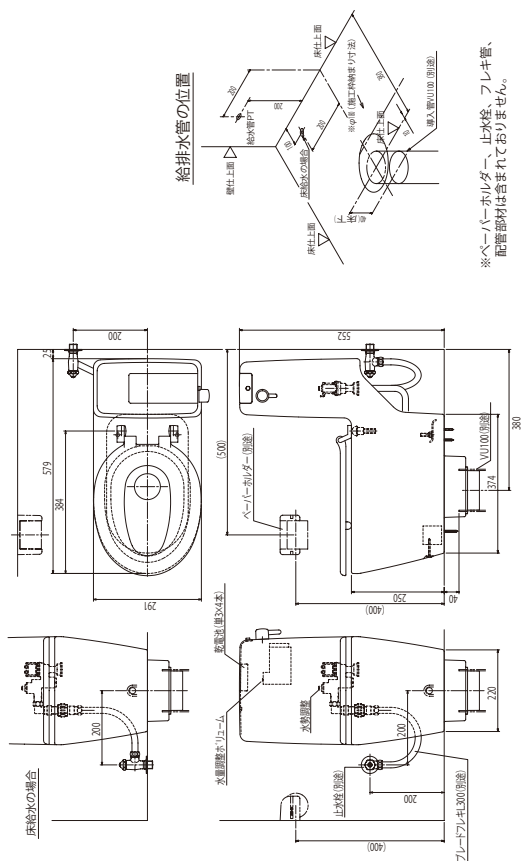
ストロー小便器 (中型) カラン式

※配管部材は含まれておりません。



FC7

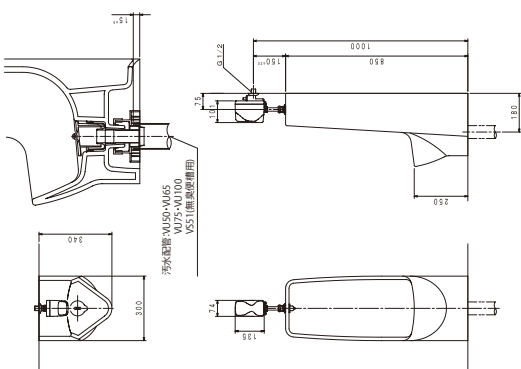
幼児用洋風簡易水洗トイレ
普通便座付 樹脂製ロータリー バランス式開閉弁



GT-3SS

ストロー小便器 (小型)
センサー式自動水栓

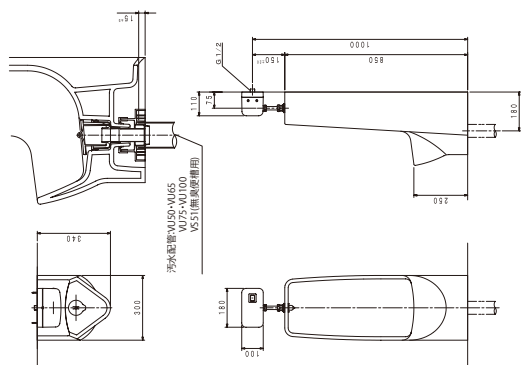
※配管部材は含まれておりません。



GT-3DS

ストロー小便器 (小型)
電磁バルブ式

※配管部材は含まれておりません。

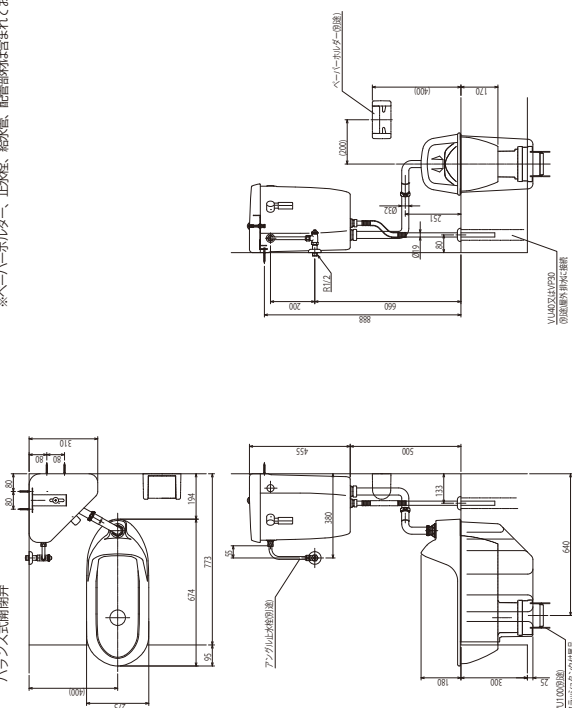


※ペーパーホルダー、止水栓、フレイキ管、配管部材は含まれておりません。

JT-N-L

定量洗浄 手洗なし 陶器製開付ロータンク・フタ固定
バランス式開閉弁

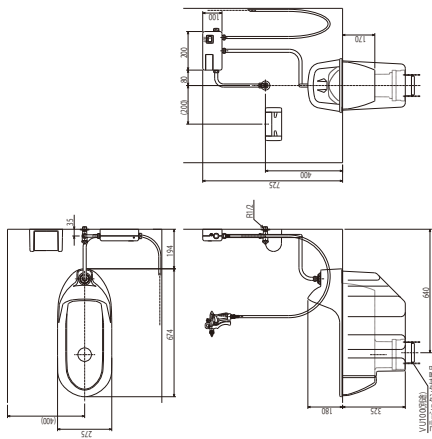
※図は兼用式です。
※ペーパーホルダー、上水栓、給水配、配管部分は含まれておりません。



J8-DG

電磁バルブ式 洗浄ガン付 バランス式開閉弁

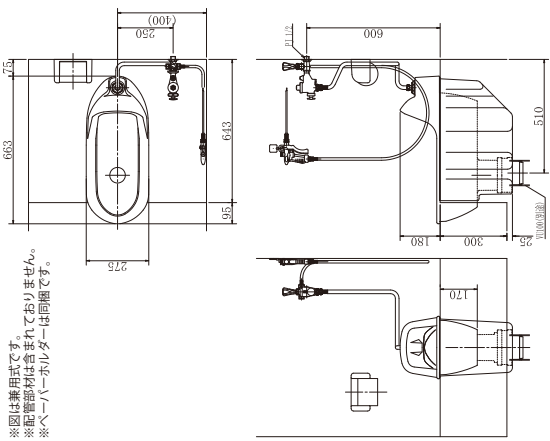
※図は兼用式です。
※配管部分は含まれておりません。
※ペーパーホルダー、アンクル止水栓、フレキ管は別添です。



J8-CFG

フラッシュバルブ式 洗浄ガン付 バランス式開閉弁

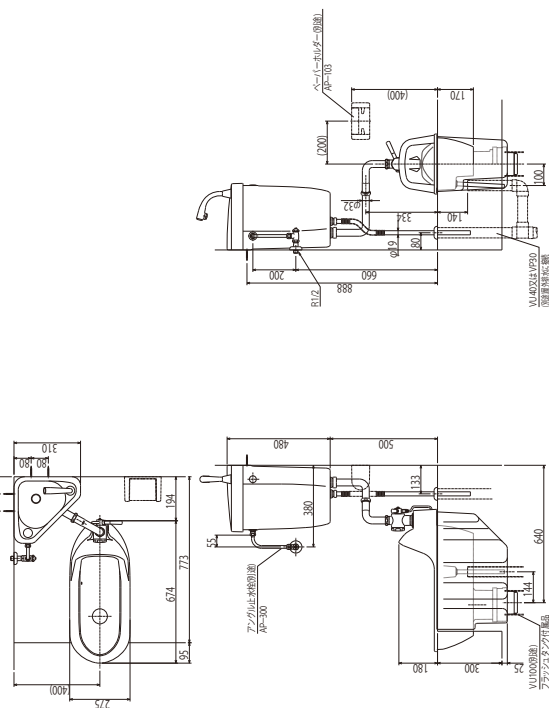
※図は兼用式です。
※配管部分は含まれておりません。
※ペーパーホルダーは別添です。



JZ-K

手洗付 陶器製開付ロータンク
水道め機構

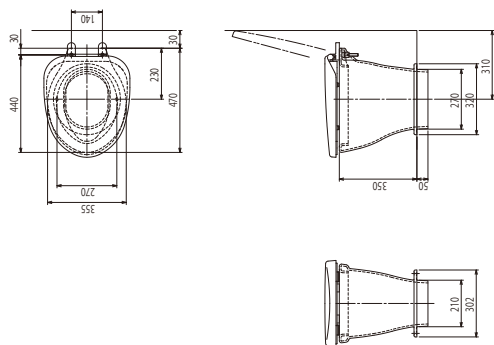
※図は兼用式です。
※ペーパーホルダー、上水栓、給水配、配管部分は含まれておりません。



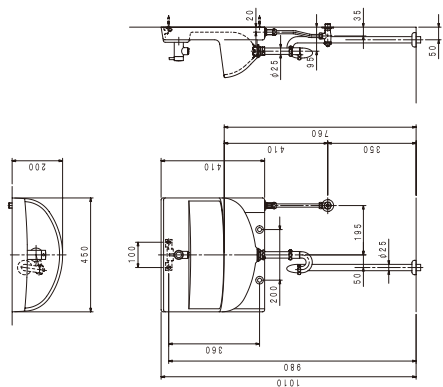
DC-166-07

非水洗トイレ（懸掛式）
普通便座（S・F）付

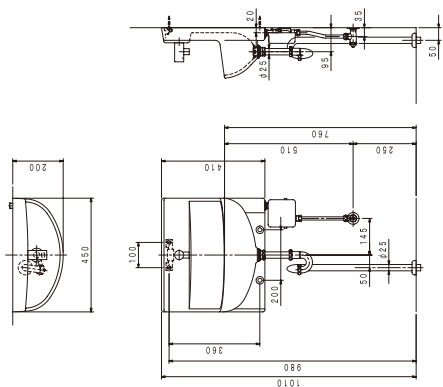
※配管部材は含まれておりません。



HW-5LC-S

壁掛手洗器（中型）
レバー式 Sトラップ

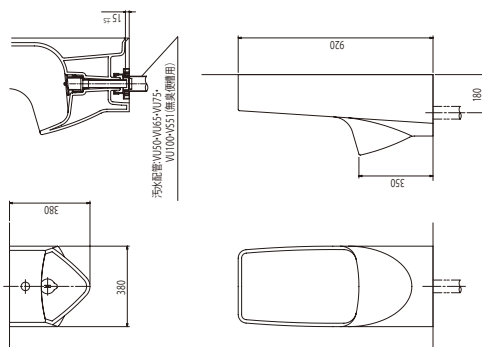
HW-5SS-S

壁掛手洗器（中型）
センサー自動水栓 Sトラップ

GU-5

非水洗小便器（中型）

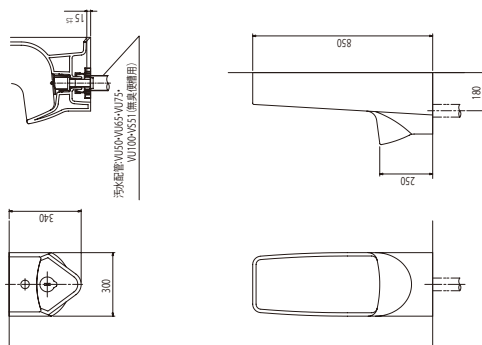
※配管部材は含まれておりません。



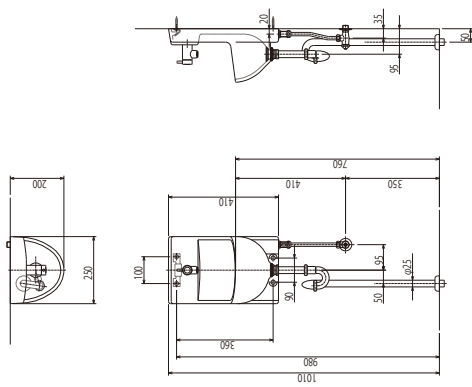
GU-3

非水洗小便器（小型）

※配管部材は含まれておりません。

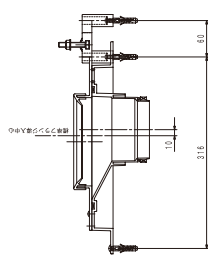
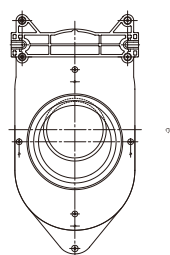


HW-3LC-S

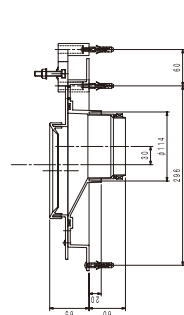
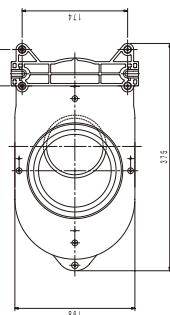
壁掛手洗器（小型）
レバー式 Sトラップ

APH-Z80 改造フレンジ13

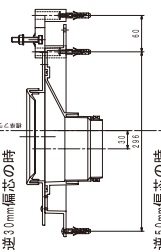
10mm偏芯の時



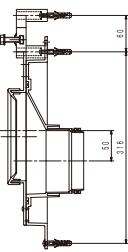
30mm偏芯の時



逆30mm偏芯の時

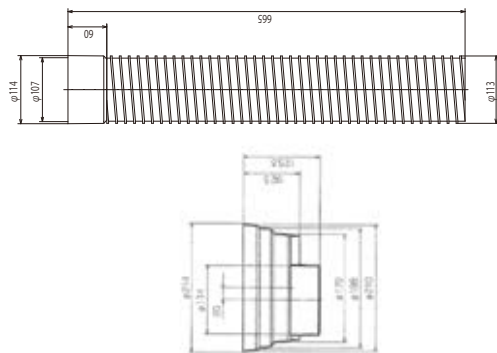


逆50mm偏芯の時



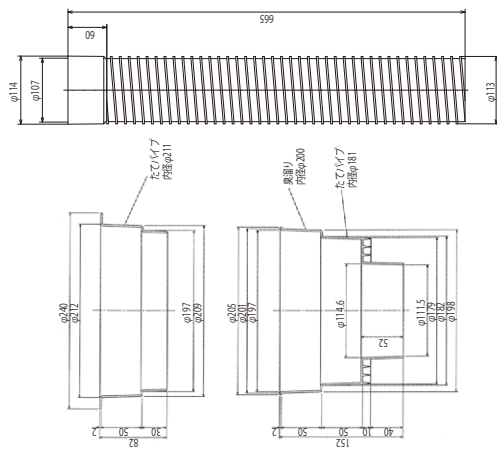
BCV24

改造部品ジャバラセットB
偏芯タイプ



BCV25

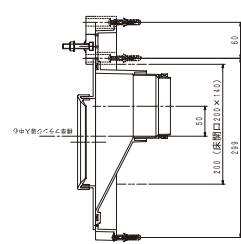
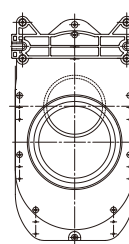
改造部品ジャバラセットC
分動タイプ



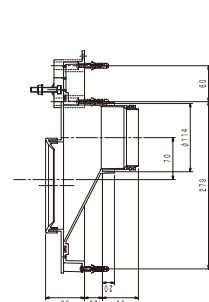
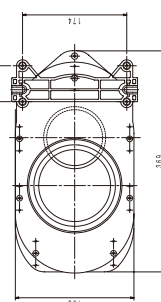
APH-Z81

改造フレンジ579

50mm偏芯の時



70mm偏芯の時



90mm偏芯の時

